

令和4年度 事業報告書

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

尾道市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催	2
(2) 役員・評議員・監事研修会	4
(3) 福祉基金の運用	5
(4) ボランティア基金の運用	5
(5) 金山基金の運用	6
(6) 社協会員の加入促進	6
(7) 寄付金の受付	7

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業	8
(2) ふれあいサロン事業	13
(3) 生活福祉資金貸付事業	19
(4) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」	19
(5) 法人後見事業	20
(6) 認知症高齢者見守り事業	21
(7) 認知症サポーター養成事業	22
(8) 認知症カフェ推進事業	28
(9) 住民参加型ふれあいサービス事業	32
(10) 介護器具等の貸し出し事業	32
(11) 福祉総合相談事業	32
(12) 生活困窮者自立支援事業	33
(13) 生活支援体制整備事業	38
(14) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催	40
(15) 広報啓発活動	42
(16) 民生委員児童委員協議会との連携	42
(17) 福祉まるごと相談窓口事業	42
(18) 尾道市ひきこもり支援ステーション事業	45

3. 福祉人材養成事業

(1) 地域人材確保推進体制整備事業	49
(2) 大学、専門学校等社会福祉援助技術実習生等の受け入れ	50
(3) 日本赤十字社講習会	50

4. 福祉教育推進事業	
(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育	51
5. ボランティア活動推進事業	
(1) ボランティアセンターの運営	54
(2) ボランティア養成事業	58
6. 高齢者福祉事業	
(1) 第48期尾道いきいき大学	62
(2) 敬老会	64
7. 障害者福祉事業	
(1) 障害者社会参加促進事業	67
(2) 障害者当事者団体への支援・協力	70
8. 児童福祉事業	
(1) 子育て支援	70
(2) 子どもの居場所づくり	73
9. 母子・父子福祉事業	74
10. 尾道市総合福祉センター等の管理	
(1) 尾道市総合福祉センターの管理	75
(2) 向島福祉支援センター（愛あいセンター）の管理	76
(3) 因島総合福祉保健センターの管理	77
11. 尾道市総合福祉センター事業	
(1) 障害者福祉センター事業	77
(2) 老人福祉センター事業	78
(3) 児童センター事業	80
(4) 母子・父子福祉センター事業	81
(5) 福祉センター事業「よりあい広場」	82

12. 共同募金事業	84
13. 災害支援事業	
(1) 被災者生活サポートボラネット推進事業	85
14. 地域包括支援センター事業	
(1) 総合相談・支援業務	86
(2) 介護プラン作成件数	86
(3) 介護予防普及啓発事業	86
(4) 地域活動	88
(5) 認知症地域支援推進員の活動	90
(6) 包括支援センター担当者会議	93
(7) 研修等	96
15. 介護保険事業	
(1) 居宅介護支援事業	101
(2) 訪問介護事業	106
(3) 訪問入浴介護事業	109
(4) 通所介護事業	110
16. 障害福祉サービス事業	
(1) 障害者訪問介護事業	115
(2) 障害者訪問入浴介護事業	115
(3) 障害者通所介護事業	115

令和4年度 事業報告

我が国は、少子・高齢化による人口減少、労働力人口の減少という大きな課題に直面しております。加えて令和2(2020)年初頭に始まった新型コロナウイルス感染症によるパンデミックや令和4(2022)年2月から続くロシアによるウクライナ侵攻によって、市民生活にも大きな影響が生じています。福祉分野においても、人材不足や担い手不足の問題は深刻ですし、コロナ禍によって社会活動や経済活動が長期にわたって制限され、国際情勢の変化により生じた物価高や為替・金融問題などが市民生活の困窮に一層の拍車をかけています。

地域住民が抱える生活課題も多様化、複雑化しています。公共サービスだけで課題を解決することが困難となり、地域で暮らす全ての人がいきいきと幸せな生活を送るためには、住民同士の支え合いやセーフティネット機能の強化がますます重要になっています。

令和4年度においては、お盆前後を中心に新型コロナウイルスの感染拡大が何度も生じ、社会的に大きな影響が生じました。しかし、尾道市社会福祉協議会(以下、「本会」という。)では、地域のつながりを大切にし、住み慣れた地域で安心して生活できることを目指して事業を継続実施致しました。

6月には「尾道市ひきこもり支援ステーション(みらサポ)」を開設し、ひきこもりに関する相談対応を行っており、新規相談32件に対応しました。また、関係機関とのネットワーク構築を目的とした「みらいネット会議」を5回開催し、地域住民にひきこもりについて正しく理解していただくことを目的とした「ひきこもりサポーター」の養成検討委員会を実施しました。

生活支援体制整備事業では、北部・中央・西部・南部(因島)・南部(瀬戸田)地域包括支援センターの各圏域において事業を実施し、因島地域では第2層協議体「ケアネットフォーラム因島」が活動されています。他の地域においても地区社協と設立に向けた協議を進めた結果、第2層協議体を北部圏域の2地区で設立できました。

小地域ネットワーク推進事業では、新たに日比崎地区社協をモデル地区に指定し、合計3地区において地域の実情にあった「支え合いの地域づくり」に取り組みました。

生活困窮者自立支援事業(くらしサポートセンター尾道)では、生活困窮者の早期発見を図り、自立した生活を行えるよう関係機関と連携して総合的なサポートを実施しました。新規相談受付件数264件(前年度422件)、延べ対応件数で4,797件(前年度8,192件)と対応件数は少し落ち着きをみせているものの、物価高等の影響で新たな生活課題を持つ世帯への支援に努めました。

生活福祉資金貸付事業では、通常の貸付事業に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)に令和4年9月末まで取り組みました。生活困窮者施策として実施された、住居確保給付金(通常・コロナ特例支給)・自立支援給付金とあわせ、本会が窓口となった支援については、総額約2,253万円にのぼりました。

ボランティア養成事業では、各種ボランティア養成講座の開催に努め、更なる地域ボランティアの育成を図りました。

ふれあいサロン事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で開催期間は限られていましたが169カ所で開催され、その内、常設型（週1回以上開催）サロンも23カ所で開催されました。

子育て支援事業では、子育てサロンやブックスタートを通して子育て中の親子の支援を行い、他機関と連携して、子育て支援ネットワークづくりの推進に努めました。

認知症の人にやさしいまちづくり事業では、認知症の方や家族を支援するため支援員を派遣するとともに、地域で認知症に対する正しい理解を深めるため、認知症サポーターの養成や認知症カフェ推進事業等に取り組みました。

介護保険、障害福祉サービス、介護予防・日常生活支援総合事業では、各事業所で感染症及び自然災害に関する業務継続計画（BCP）を作成し、新型コロナウイルスの感染防止については、「密を避ける」、「マスクの着用」、「手洗い(消毒)の励行」といった基本的な対策を実施の上、その対応力強化を図りました。

しかし、感染力の強い変異株の影響により通所介護事業所では一時的に営業を休止せざるを得ない期間があり、その他の事業所でも感染への不安による利用控えや、職員の感染などもありましたが、BCPによる早期対応を行ったことで影響を最小限に抑え、利用者に対して必要な介護サービスを安定的に提供することが出来ました。

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催

理事会、評議員会等を開催し、適正な運営に努めた。

① 理事会の開催

開催日	主な議題
第1回 6月10日(金) 出席者 15名	議案第1号 令和3年度事業報告について 議案第2号 令和3年度一般会計決算について 議案第3号 評議員候補者の推薦について 議案第4号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第5号 育児・介護等休業規程の一部改正について 議案第6号 表彰規程の一部改正について 議案第7号 介護事業所運営規程の一部改正について 議案第8号 定時評議員会の開催について 報告事項 職務執行状況報告について 報告事項 介護事業所運営規程の一部改正（専決事項）について 報告事項 社協事務局体制について

第2回 11月11日(金) 出席者12名	議案第9号 令和4年度一般会計補正予算(第1号)について 議案第10号 評議員候補者の推薦について 議案第11号 評議員選任・解任委員会の決議の省略について 議案第12号 評議員会の招集について 報告事項 職務執行状況報告について その他1 尾道市総合福祉センターの使用について
第3回 3月17日(金) 出席者14名	議案第13号 令和4年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第14号 令和5年度事業計画について 議案第15号 令和5年度一般会計収支予算について 議案第16号 表彰規程の一部改正について 議案第17号 役員等賠償責任保険契約について 議案第18号 評議員会の招集について その他1 尾道市総合福祉センターの使用について

② 評議員会の開催

開催日	主な議題
第1回 6月27日(月) 出席者27名 (Web会議)	議案第1号 令和3年度事業報告について 議案第2号 令和3年度一般会計決算について その他 尾道市総合福祉センターの使用について
第2回 11月28日(月) 出席者25名 (Web会議)	議案第3号 令和4年度一般会計補正予算(第1号)について その他1 「尾道」ナンバー導入を求める請願書について その他2 尾道市総合福祉センターの使用について
第3回 3月27日(月) 出席者30名 (Web会議)	議案第4号 令和4年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第5号 令和5年度事業計画について 議案第6号 令和5年度一般会計収支予算について

③ 監事会

開催日	主な議題
5月27日(金) 出席者3名	(1) 令和3年度事業監査について (2) 令和3年度一般会計監査について

④ 評議員選任・解任委員会

開催日	主な議題
6月13日(月) 出席者 4名	議案第1号 評議員の選任について
11月18日(金) 同意者 4名 (決議の省略)	議案第2号 評議員の選任について

⑤ 表彰審査委員会

開催日	主な議題
10月12日(水) 出席者 5名	(1) 令和4年度社会福祉活動功労者及び介護者表彰について 市社協会長表彰として、社会福祉協議会関係者 13名、民生委員児童委員 81名、社会福祉施設・団体関係者 43名、ボランティア(個人) 16名、特別功労者 36団体、介護者 9名を決定した。

(2) 役員・評議員・監事研修会

福祉活動の推進に役立てるため、研修会へ参加した。

開催日	主な内容
11月30日(水) ～	第67回 「広島県社会福祉夏季大学」 講義「ケアラー・ヤングケアラーの現状と支援」、「ごちゃまぜによるまちづくり」により、全ての世代が活躍できる場の事例を学んだ。
1月31日(火) (視聴期間) [※オンラインにて開催。 参加者 35名]	講義1 「ケアラー・ヤングケアラーの現状と支援 ～ケアラーの語りを踏まえて～」 講師：(一社) 日本ケアラー連盟 代表理事 堀越栄子さん 講義2 「ごちゃまぜによるまちづくり ～福祉が核になる地域共生～」 講師：(社福) 佛子園 Share 金沢 施設長 清水愛美さん

(3) 福祉基金の運用

福祉基金の利息等を法人運営費として有効に活用した。

(単位 円)

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
① 積立状況	160,866,573	155,388,673	155,388,673
② 利息収入	1,504,147	1,522,438	1,522,497
③ 国債売買収益	2,212,100	0	0
④ 前期繰越金収入	0	24,934	22,437
⑤ 使途 法人運営事業	3,648,000	1,547,372	1,520,000
⑥ 次期繰越金	68,247	0	24,934

(4) ボランティア基金の運用

ボランティア基金の利息等を福祉大会、ボランティア養成、子育て支援などへ有効に活用し各種事業の充実を図った。

(単位 円)

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
① 積立状況	364,813,208	352,276,008	352,276,008
② 利息収入	5,043,028	4,345,421	4,343,739
③ 国債売買収益	20,549,320	0	0
④ 前期繰越金収入	4,487,040	2,523,756	354,576
⑤ 使途の内訳 (合計)	3,124,742	2,382,137	2,174,559
ア 認知症高齢者見守り事業	2,993	0	0
イ 福祉総合相談事業	94,130	39,301	52,253
ウ 福祉大会事業	635,902	205,272	280,104
エ 福祉まつり事業	148,843	0	48,800
オ 福祉人材養成事業	56,776	0	0
カ 福祉教育事業	31,000	10,542	29,600
キ ボランティア養成事業	332,397	317,921	152,411
ク 子育て支援事業	385,919	218,101	206,391
ケ 法人運営事業	1,436,782	1,591,000	1,405,000
⑥ 次期繰越金	26,954,646	4,487,040	2,523,756

(5) 金山基金の運用

金山基金は、法人事業運営費等へ有効に活用し事業の充実を図った。

(単位 円)

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
① 基金年度末残高	97,000,000	106,074,704	112,074,704
② 利息収入	5,074	5,020	13,022
③ 基金取崩額	9,074,704	6,000,000	20,000,000
④ 前期繰越金収入	2,524,661	12,290,805	4,789,798
⑤ 使途の内訳 (合計)	8,987,929	15,771,164	12,512,015
ア 生活支援体制整備事業	0	1,873	34,702
イ ふれあいサロン事業	0	0	2,260
ウ 老人センター事業	420,796	138,101	0
エ 障害者センター事業	46,586	226,130	216,478
オ 児童センター事業	427,732	469,698	251,755
カ 法人運営事業	8,092,815	14,935,362	12,006,820
⑥ 次期繰越金	2,616,510	2,524,661	12,290,805

(6) 社協会員の加入促進

世帯会員、団体会員、賛助会員の加入をお願いし、市社協への理解に努め協力を得た。

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	27,162	4,074,350	1,995	299,250	4,924	738,600
団体会費	35	105,000	7	21,000	9	27,000
賛助会費 (事業所)	140	577,000	30	105,000	35	171,000
(個人)	162	351,696	2	8,000	2	8,000
合 計		5,108,046		433,250		944,600

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	7,916	1,187,400	3,506	525,900	45,503	6,825,500
団体会費	6	18,000	5	15,000	62	186,000
賛助会費 (事業所)	52	185,000	37	155,000	294	1,193,000
(個人)	5	17,000	7	25,000	178	409,696
合 計		1,407,400		720,900		8,614,196

(7) 寄付金の受付

福祉活動の財源として、市民の皆様の協力を得ることができた。

① 受付状況

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	93	6,006,189	26	530,000	48	725,000
地区社協指定分	80	1,797,000	12	260,000	75	1,176,000
合 計	173	7,803,189	38	790,000	123	1,901,000
(内訳)						
香典返し	148	4,574,000	36	730,000	120	1,786,000
一 般	25	3,229,189	2	60,000	3	115,000
物品寄付	2	消耗品	1	293,160	0	0

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	1	10,000	16	369,431	184	7,640,620
地区社協指定分	39	630,000	0	0	206	3,863,000
合 計	40	640,000	16	369,431	390	11,503,620
(内 訳)						
香典返し	38	530,000	14	320,000	356	7,940,000
一 般	2	110,000	2	49,431	34	3,563,620
物品寄付	0	0	1	200,000	4	493,160

② 寄付金管理運営委員会の開催

開催日	議 題
第1回 2月10日(金) 同意者9名 (決議の省略)	報告事項 (1) 令和3年度寄付金の取扱状況について (2) 令和3年度寄付金の使途について (3) 令和4年度寄付金の取扱状況について (4) 令和4年度寄付金の使途について 協議事項 (1) 令和5年度寄付金の使途について

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業

① 小地域ネットワーク推進事業

地区社協を基盤とした住民の見守りや支え合い活動の推進を目的に、令和4年度は1地区を新たにモデル指定し、指定2年目の2地区(継続)と合わせて3地区で小地域ネットワーク推進事業を展開した。助成は1地区につき年50,000円、モデル指定期間は2年間としている。

ア 小地域ネットワーク推進事業モデル指定で取り組んだ地区社協

(ア) 新規の地区社協

旧尾道地域：日比崎地区(本通第一町内会)

(イ) 継続中の地区社協

旧尾道地域：木ノ庄西地区、木頃地区

イ モデル指定地区の主な取り組み

(ア) 新規地区

a 日比崎地区(本通第一町内会)

(a) 町内会役員会の開催(5回)

(b) 町内会班長会の開催(2回)

(c) 地域住民へのアンケート調査の実施

(d) 一人暮らし高齢者等の見守り対象者の把握

(e) 「安心シート」の配付

(イ) 継続(2年目)地区

a 木ノ庄西地区

(a) 支え合い・ふれあいネットワーク推進委員会の開催(4回)

(b) 一人暮らし高齢者等の見守り活動

(c) 75歳以上の方を対象にしたアンケート調査の実施

(d) 見守り支援サポーター向け研修会の開催

(e) 町内会別に自分たちの地域に必要な支え合い活動を検討

b 木頃地区

(a) 小地域ネットワーク準備会議の開催(3回)

(b) 一人暮らし高齢者等の見守り活動

(c) 75歳以上の方がいる世帯を対象に行ったアンケート結果の分析

(d) 各種講習会(防犯、フレイル、認知症、救急救命)の開催

(e) 地域づくり講演会の開催

(f) 地区社協だよりで取り組みを掲載

ウ 全地区社協及び民生委員対象の実践報告会

小地域ネットワーク活動の啓発と普及につなげるため、モデル指定2年目の地区社協による実践報告会を行った。

開催日	場 所	内 容	参加者
3月14日(火)	総合福祉センター、御調保健福祉センター、愛あいセンター、因島総合福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターの5会場をWebで接続	◇尾道市社協の事業説明 (生活支援体制整備事業+小地域ネットワーク推進事業) ◇小地域ネットワーク活動の実践報告 ①木頃地区社会福祉協議会 「さりげない見守り～持続可能な体制づくり～」 ②木ノ庄西地区社会福祉協議会 「お互いさま、支え合い・ふれあう町づくり(自助と互助)～皆でやりゃんしょう木ノ庄西～」 ◇地域支え合い活動の事例紹介 広島県社会福祉協議会 地域福祉課	99名

【成果】

- ・モデル指定地区で小地域ネットワーク活動が展開され、地域住民同士の見守り・支え合い体制の基盤及び体制が構築された。
- ・見守り活動に取り組むことで、地域での話し合いの場ができ、地区の住民に支え合いの意識が醸成された。
- ・実践報告会を通して、小地域ネットワーク活動の啓発・普及を図ることができた。

【課題】

- ・モデル指定地区において、地区社協や自治会、民生委員、地域ボランティア等が連携して活動が進められるよう側面的支援を行っていく。
- ・見守り活動、地域住民同士の生活支援活動、交流の拠点づくりなど、地域のニーズにあった幅広い支え合い活動の展開を行っていく。
- ・新規モデル指定地区を確保していくための手法を検討する必要がある。

② 地区社協会長会議の開催

ア 旧尾道地域

開催日	内 容
7月4日(月)	・旧尾道地域地区社協会長会議の定例開催について ・生活支援体制整備事業の説明 ・情報交換
11月14日(月)	・令和4年度敬老会反省会 ・市社協の事業について ・情報交換
2月13日(月)	・市社協の事業について ・交流会

イ 御調地域

開催日	内 容
5月13日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・新地区社協会長の紹介 ・令和4年度事業計画等 尾道市社協の事業について ・生活支援体制整備事業（協議体）について
7月7日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の事務手続き等について ・生活支援体制整備事業（協議体）について
11月10日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会事業の反省等について ・御調地域における協議体の設立について

ウ 向島地域

開催日	内 容
5月11日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協会長自己紹介及び関係職員紹介 ・令和4年度世帯会費の協力依頼について
7月13日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の事務手続きについて ・敬老会委託契約手続きについて
10月14日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の反省について ・令和4年度共同募金について

エ 因島地域

開催日	内 容
4月26日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・市社協会長あいさつ ・5月の行事予定について ・令和4年度の因島支所体制について（報告） ・ケアネットフォーラム因島（第2層協議体）について ・理事会、評議員会の予定（情報提供） ・その他
5月25日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の行事予定について ・令和4年度地域福祉事業計画（因島支所）について ・令和4年度世帯会費の協力依頼について ・敬老会説明会について ・理事会評議員会への参加方法について ・その他
7月5日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・7月、8月の行事予定について ・表彰候補者の推薦について ・ケアネットフォーラム因島（第2層協議体）について ・その他
8月23日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の行事予定について ・敬老事業の実施計画について ・共同募金活動について ・生活支援体制整備事業・第3層の取り組みについて ・その他（意見交換等）

9月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の行事予定について ・共同募金の取り組みについて ・その他
10月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の行事予定について ・生活支援体制整備事業・第3層協議体の取り組み状況について ・共同募金運動について ・その他
11月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の行事予定について ・街頭募金活動について ・第3層協議体のうごきについて ・その他
12月21日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・1月の行事予定について ・共同募金の実施状況について(因島支所管内) ・生活支援体制整備事業(第2層・第3層)のうごきについて ・その他
1月25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の行事予定について ・生活支援体制整備事業(第2層・第3層)のうごきについて ・共同募金の実施状況について(因島支所管内) ・その他
2月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の行事予定について ・生活支援体制整備事業(第2層・第3層)のうごきについて ・報告事項 ・その他
3月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の行事予定について ・役員改選に伴う理事及び監事の推薦について ・その他

オ 瀬戸田地域

開催日	内容
5月30日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・尾道市社協 令和4年度事業計画について ・生活支援体制整備事業について ・地区社協関連事業について ・令和4年度世帯会費及び戸別共同募金の依頼について ・地区社協 令和3年度事業報告書・決算書及び令和4年度事業計画書・予算書の提出について ・その他
7月12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会について ・その他
9月28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の事業完了について ・共同募金(街頭募金)について ・生活支援体制整備事業について ・第51回おのみち福祉まつりについて ・令和4年度尾道市社会福祉大会について ・その他
3月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度共同募金の実績、配分状況について ・生活支援体制整備事業について

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度ふれあいサロンについて ・令和5年度敬老会のあり方について ・その他
--	--

③ 地域活動研修会

ア 向島地区まちづくり花街道整備事業

花ボランティア「ほほえみ」の協力により、「花いっぱい！笑顔いっぱい！」運動を展開した。6月と11月に花を植え、年間を通じて肥料をやり、草取りを行った。

イ 地域づくり講演会

災害について一人ひとりが自分事として捉え、災害時における支え合い活動の動機付けを図った。

開催日	場所	内容	参加者
6月14日(火)	総合福祉センター、御調保健福祉センター、愛あいセンター、因島総合福祉保健センター、瀬戸田市民会館の5会場をWebで接続	演題： 「災害時に必要な支え合い活動とは」 ～災害とボランティアについて考えよう～ 講師：尾道市総務部総務課 生活安全係 危機管理専門員 田村 斉さん	87名

④ 地区社協事業（自主事業）

コロナ禍で活動が制限される中ではあったが、尾道市内の63地区で地域住民を対象とした高齢者支援、子育て支援、防災、広報等の自主事業が取り組まれた。

- ・地域住民の交流を図るため、関係団体と協力して、58地区で健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会、清掃活動等が開催された。
- ・37地区で、地区内の高齢者を対象とした配食サービスや一人暮らし高齢者の見守り活動、勉強会の開催等、高齢者福祉に関する取り組みが行われた。
- ・26地区で、親子交流行事、生物観察会、小学生への学習支援、野菜収穫体験、絵本の配付等、児童福祉に関する取り組みが行われた。
- ・43地区で、年間を通じた防犯パトロール等の見守り活動が行われた。
- ・27地区で、地区社協だよりの発行等による広報活動が行われた。

(2) ふれあいサロン事業

ふれあいサロンは今年度 169 カ所が登録。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により、長い期間活動中止となったが、今年度は通常に近い状況で、遵守項目を守っていただきながらサロン活動を実施することができた。年度内に開催できたサロンは 164 サロンであった。サロン支援員による支援や専門講師の派遣を行った。

旧尾道地域 27,266 名、御調地域 3,365 名、向島地域 4,661 名、因島地域 7,920 名、瀬戸田地域 1,865 名、合計 45,077 名がふれあいサロンに参加した。

① 専門講師派遣事業

各サロンに対し、年 3 回の専門講師を派遣した。内訳は、音楽指導 156 回、折紙指導 16 回、栄養指導 8 回、絵手紙指導 30 回、運動指導 97 回、お手玉指導 8 回、南京玉すだれ指導 14 回、ちんどん指導 25 回、メディカルアロマ指導 7 回、バルーンアート指導 6 回、ハーバリウム指導 15 回、チョークアート指導 15 回、陶芸指導 12 回、司法書士講座 3 回の計 412 回である。これらの取組みによりサロン活動の幅が広がり、趣味や交流のプログラムだけではなく、認知症予防・介護予防に寄与することができた。

また、シルバーリハビリ体操指導士がサロンへ出向き、体操指導を行った。

種 類	講 師 名
運動指導	藤原信枝さん、杉原ともみさん、鮎本英治さん、幡地玲子さん、田中悦子さん、嶋田萌菜さん、宮地敏恵さん、田中友紀さん
認知症サポーター養成講座	尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会
音楽指導	じゃんじゃん、福山ピアノプラザ指導員 村上清美さん、シルバー人材センター民謡同好会、 宮本孝子さん、河田尚子さん、柏原美保子さん
折紙指導	仁井谷孝一さん
栄養指導	尾道市健康推進課、石川初實さん
絵手紙指導	高畦八重子さん、あおかげの会
お手玉指導	お手玉フレンド
南京玉すだれ指導	お笑いの会、笑おう会
バルーンアート指導	杉原 潔さん
メディカルアロマ指導	田中早苗さん
ちんどん指導	尾道お笑いちんどんクラブ
チョークアート指導	大原郁香さん
ハーバリウム指導	高垣亜希子さん
陶芸指導	三島 博さん
司法書士（遺言等）の講座	村上司法書士事務所

② サロンへの支援

ア 新規サロンの立ち上げ支援

日比崎地区「平原ぽかぽかサロン」、木頃地区「ふれあいサロンきごろ」が新しく立ち上がった。

イ 郊外サロンの支援

郊外サロン助成金を利用したサロンは 67 サロンとなった。

ウ 支援体制

支援員は年間に 159 回、各サロンに出向き、レクリエーション指導だけではなく、身近な情報などの発信、ニーズに応じた支援等を行った。今年度はこまめな訪問を行い、再開に対して不安を抱えているボランティア、参加者の話を伺った。また、換気や消毒等、基本的な感染対策についてアドバイスを行った。

エ ふれあいサロン研修会

ふれあいサロン研修会を 2 年ぶりに開催し、6/29 (瀬戸田)・7/1 (旧尾道)・7/4 (向島)・7/5 (御調)・7/6 (因島) で、コロナ禍での不安やよかったこと、工夫したことなど意見交換を行った。3/3 はオンラインで各支所を繋ぎ、木頃地区中野仲良しクラブで活動中の 102 歳の石井哲代さんをお迎えして、「102 歳、元気の源はふれあいサロン」と題して講演会を実施した。

【成果】

- ・ ボランティア、参加者ともサロンの必要性を再認識することができた。
- ・ サロン支援員が各サロンへ出向くことにより、地域の様子をよく知ることができ、他の職員へ連携を図り、社協事業の推進へ繋がった。

【課題】

- ・ サロン参加者が定着化する一方で、新規参加者の増加が難しい。
- ・ サロンボランティアの後継者がなかなか育たない。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛となったことで、事業展開の再検討の必要性のほか、サロン参加者のモチベーションや体調維持に懸念が生じる。

ふれあいサロンの開催状況一覧 (令和 5 年 3 月末現在)

〔旧尾道地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区・町内会	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数	
山波	全 域	いきいきサロン	山波公民館	毎月 1 回	247
	今免北	ふれあいサロンピーチ	大多志公園	毎週 1 回	328
	東 谷	ふれあいサロンきぼう	山田恵子さん宅	毎月 1 回	73
新高山全域	さくらんぼ	いきいきサロン新高山	毎月 1 回	323	
久保	全 域	さくら会	いきいきサロン久保 ・いきいきサロン防地	毎月 1 回	457
	防 地	ひだまり防地	いきいきサロン防地	毎月 1 回	229
	大 宮	フレンド大宮	いきいきサロン久保	毎月 2 回	520
	旭ヶ丘・黄谷	旭ふれあいサロン	人権文化センター	毎月 1 回	256
筒湯	旭ヶ丘	ひだまり旭ヶ丘	旭ヶ丘団地集会所	毎週 1 回	327
		筒湯ふれあいサロン	いきいきサロン筒湯	毎月 1 回	125
長江		サロンひなたぼっこ	いきいきサロン筒湯	毎月 1 回	31
	長 江	ながえの集い	長江公民館	毎月 1 回	455
	長江中	ふれあいサロン山城戸	ふれあいサロン山城戸	毎月 1 回	78
	和加礼・長江北	榎ヶ峰ふれあいサロン	いきいきサロン榎ヶ峰	毎月 1 回	188

全 域		商店街サロンどんぐりの会	もりあげ隊	毎週 1 回	442
		商店街サロンコスモス	もりあげ隊	毎月 2 回	249
		商店街サロン家族の会	もりあげ隊	毎月 1 回	141
栗 原	向 峠	向峠なかよしサロン	いきいきサロン向峠	毎月 1 回	172
	潮 見	さくらふれあいサロン	潮見会館	毎月 1 回	109
	竹 屋	竹屋ほほえみサロン	竹屋会館	毎月 1 回	157
	本通り第二	ふれあいサロンもみじ	いきいきサロン栗原	毎月 1 回	241
	川 上	川上さくらんぼ会	川上公民館	毎月 1 回	99
	向 山	いきいきサロンひまわり	向山クラブ	毎月 1 回	105
	門 田	門田ほほえみサロン	門田コミュニティセンター	毎月 1 回	296
	門 田	にこにこクラブ	門田コミュニティセンター	毎月 2 回	709
	竜王台	おはなの竜王台	竜王台集会所	毎月 1 回	87
	久山田	久山田ふれあいサロン	久山田公民館	毎週 1 回	396
	則 末	則末ふれあいサロン	栗原公民館	毎週 1 回	506
	本通り第三	ふれあいサロンわかば	いきいきサロン栗原	年間 3 回	5
栗 原 北	三美園団地	三美園団地ふれあいサロン ひだまり	いきいきサロン三美園	毎月 1 回	290
	竹屋団地	竹屋団地ふれあいサロン会	竹屋団地集会所	毎月 1 回	0
	大迫団地	大迫団地ふれあいサロン	栗北公民館	毎月 1 回	152
	三美園住宅自治会	ふれあいサロン気楽	三美園団地住宅自治会集会所	毎月 1 回	0
	松 岡	松岡サロン	いきいきサロン栗原北	毎月 1 回	117
	三成ヶ丘	ふれあいサロン三成ヶ丘	三成ヶ丘町内会集会所	毎月 1 回	0
	松岡団地	ふれあいサロン松岡団地	松岡団地集会所	毎週 2 回	780
日 比 崎	天満、下組 南 本通り第 1	ふれあいサロンさくら	日比崎公民館	年間 6 回	67
	三軒家南 ・北若宮	ふれあいサロンぼたん	日比崎公民館	年間 6 回	103
	吉浦、巖通 新浜東 西之華	ふれあいサロンクローバー	日比崎公民館	年間 6 回	63
	全 域	松ぼっくり	松ぼっくり	週 2 回	575
	全 域	モリンガ	モリンガ	週 3 回	545
	平 原	平原はつらつサロン 平原ぼかぼかサロン	平原コミュニティセンター 西願寺分所	毎週 1 回 毎月 1 回	468 65
吉 和	全 域	ふれあいサロン吉和	吉和公民館	毎月 1 回	202
	全 域	いきいきサロン吉和	いきいきサロン吉和	毎月 1 回	144
	新 浜	いきいきサロン新浜	いきいきサロン新浜	毎月 1 回	106
	高 頭	高頭ふれあいサロン	高頭公民館	毎月 1 回	168
三 成	全 域	ふれ愛サロンふじい川	才原なごみ館・大迫公民館 ・山方公民館ほか	毎月 1 回	223
	才 原	なごみサロン	才原なごみ館	毎週 1 回	485
	白 江	白江健康サロン	白江公民館	毎週 1 回	503
	下組・猪子 迫	三成なかよしサロン	いきいきサロン三成	毎週 1 回	545
木 頃	全 域	ふれあいサロンきごろ	いきいきサロン木頃	毎月 1 回	243
	中 野	仲良しクラブ	いきいきサロン木頃	毎週 1 回	360
	本郷下組	あやめサロン	いきいきサロン藤井川	毎月 1 回	98
木ノ庄西	上 中	上中ふれあいサロン	いきいきサロン木ノ庄西	毎月 1 回	203
	石 畦	石畦ふれあいサロン	石畦ふれあいクラブ	毎月 1 回	170
	畑	畑ふれあいサロン	いきいきサロン畑	毎月 1 回	149

	木ノ庄東	木ノ庄東ふれあいサロン	木ノ庄東公民館	毎月1回	38
原田	小原	ふれあいサロン小原	いきいきサロン小原	毎月1回	144
	梶山田	ふれあいサロン梶山田	J A原田支所	毎月1回	183
高須	全域	鶴羽会	東部公民館	毎月2回	316
		高須男性サロン	大田ふれあい館ほか	毎月1回	126
	太田	太田ふれあいサロン	大田ふれあい館	毎月1回	160
	横路	およねサロン	横路公民館	毎月1回	213
西藤	西藤のつどい	福田ふれあい館	毎月1回	251	
浦崎	戸崎	戸崎いきいき手城会	戸崎区クラブ	毎月1回	262
	上組	ふれあいサロン上組	上組区クラブ	毎月1回	192
	下組	サロン住吉	下組区クラブ	毎月1回	249
	灘	いきいきサロンなだ	灘区クラブ	毎週1回	493
	満越	満越いきいきサロン	満越クラブ	毎月1回	182
	新田	新田ふれあいサロン	新田区クラブ	毎月1回	159
	海老	海月ふれあいサロン	海老公民館	毎月1回	92
	高尾	いきいきサロン高尾	高尾公民館	毎月1回	155
向東	矢立	ふれあいサロン矢立	矢立クラブ	毎週1回	724
	彦ノ上一区	ふれあいサロン彦一	彦一コミュニティセンター	毎月1回	276
	彦ノ上二区	ゆうゆうサロン彦二	向島リーフ	毎月1回	25
	彦ノ上三区	ふれあいサロン彦の上三区	彦ノ上三区公民館	毎週1回	705
	肥浜	ふれあい、いきいき「サロン」ひばま	肥浜公民館	毎月1回	178
		ふれあいサロンスマイル	肥浜公民館	毎月1回	110
	谷水	ふれあいサロン谷水	谷水公民館	毎月1回	178
	堤	ふれあいサロン堤	堤区集会所	毎週1回	701
	森金	ふれあいサロン森金	森金公民館	毎月1回	186
	寺内	寺内ふれあいサロン	寺内公民館	毎月1回	189
	新開	ふれあいサロン「しんがい」	新開公民館	毎週1回	840
	天女浜	ゆうゆう天女	天女浜公民館	毎月1回	248
	歌	ふれあいサロン歌	歌公民館	ほぼ毎日	4,149
	大町	コミュニティ大町	大町公民館	毎月1回	224
	古江奥	古江奥ふれあいサロン	古江奥公民館	毎月1回	123
	才越	才越ふれあいサロン	才越公民館	毎月1回	164
	古江浜	ふれあいサロンひといき	古江浜公民館	毎月1回	741
百島	「やすらぎのつどい」	いきいきサロン百島	年間7回	115	

〔御調地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
菅野	菅野地区ふれあいサロン	菅野公民館	年間6回	115
	仁野ハッピースマイル会	仁野福祉会館	毎月1回	42
	大塔タンポポ	大塔集会所	毎月1回	152
上川辺	上川辺地区ふれあいサロン	上川辺公民館	概ね月1回	207
	ふれあいサロン三郎丸	三郎丸集会所	毎月1回	124
	大蔵ふれあいサロン睦会	大蔵集会所	毎月1回	166
市	市地区ふれあいサロン	市公民館	概ね月1回	246
	平なごみ会	平集会所	概ね月1回	89
	すみれ会江国	江国公会堂	毎月1回	244
河内	河内地区ふれあいサロン	河内公民館	概ね月1回	250
	大田ふれあいサロンひまわり	いきいきサロン大田	毎月1回	192
	丸河南ふれあいサロンなごみ	丸河南集会所	毎月1回	291
今津野	きらく会	今津野公民館	概ね月1回	105
	サロンうぐいす	川西集会所ほか	毎月1回	136
綾目	綾目ふれあいサロン	綾目公民館	概ね月1回	162
大和	大和地区ふれあいサロン	大和公民館	毎月1回	105
	下山田ふれあいサロン	下山田集会所	毎月1回	86
全域	にこにこサロン	市公民館	毎週1回	653

〔向島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
兼吉	兼吉サロン	兼吉やすらぎ荘他	毎月1回	242
江奥	文化サロン	ひだまり交流館	毎週1回	1,076
	イキイキ広場	ひだまり交流館	毎月1回	208
	紫竹会の集い	柏原公民館・奥山公民館 ・鳥帽子公民館	概ね月1回	42
東富浜	東富浜1・2区にこやか ふれあいサロン	東富浜公民館	年間6回	199
	東富浜3区いきいきサロン	東富浜3区コミュニティ センター	毎月1回	127
小歌島	さざなみ	サロンおかじま	毎月1回	253
中富浜	ふれあいいきいきサロン 「なかよし会」	中富コミュニティセンター	毎月1回	386
西富浜	西富浜ふれあいサロン	西富浜ふれあい交流センター	毎月1回	286
田尻	田尻いきいきサロン和楽	田尻公民館	毎月1回	63
土井	いきいきサロン土井	土井公民館	毎月1回	27
宇立	宇立いきいきサロン	宇立公民館	毎月1回	172
	サロンなかよしこよし	宇立公民館	毎月1回	144
有道	有道ふれあいいきいきサロン	有井公民館	毎月1回	162
津部田	津部田地区ふれあいいき いきいきサロン	津部田コミュニティセンター	毎月1回	187
岩子島	めだかの学校	めだかの学校	月火水金	950
立花	立花いきいきサロン	いきいきサロン立花「和」	毎月1回	137

〔因島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
土 生	へんろ茶屋	へんろ茶屋	ほぼ毎日	1,718
	脳刺激さくら会	土生公民館	毎月1回	232
	語ろう会	安郷区民館	毎月1回	135
	塩東すみれ会	いきいきサロン土生南	毎月1回	153
	すずの会	郷区会館	毎月1回	240
	ふれあいサロン・ニコニコ会	江の内区県営住宅集会所	毎月1回	286
	土生健康サロン	土生公民館	毎月2回	633
田 熊	さわやかホーム	田熊公民館	毎月1回	344
	ひよこ会	竹長区民会館	毎月2回	440
	サロン絆	金山区民館	毎月1回	137
	サロンなごみ	西区区民館	毎月1回	164
三 庄	三庄サロン	三庄公民館	毎月1回	244
	サロン棕浦	いきいきサロン棕浦	毎月1回	139
	千守サロン	千守地蔵堂	毎月1回	273
	8区愛互会サロン	8区会館	毎月1回	0
	九区サロン	九区会館	毎月1回	197
中 庄	ふれあいサロン「たんぼぼ」	中庄公民館	毎月1回	508
	ふれあいサロンあじさい	中庄町新開研修所	偶数月	286
	西浦地区ポプラの会	因島西浦ふれあい館	毎月1回	74
	ふれあいサロンコスモス会	蘇功区民館	偶数月	181
	ふれあいサロン丸池	丸池集会所	偶数月	148
	サロン外浦	外浦町集会所	偶数月	185
	サロン室陣	室陣集会所	毎月2回	432
重 井	喜楽会	重井公民館	毎月1回	158
	つどいの家	重井公民館	毎月1回	184
	すこやかサロン	因島ふれあいセンター	毎月1回	92
大 浜	ラビット	大浜公民館	毎月1回	61
東生口	東生口地区カモメ会	因島洲江ふれあい館	毎月1回	71
	レディサロン	いきいきサロン東生口	毎月1回	106
	ドリームサロン	いきいきサロン東生口	毎月2回	99

〔瀬戸田地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
名 荷	いきいきサロン名荷	名荷公民館	毎月1回	147
林	いきいきサロン	林公民館	毎月1回	173
中 野	つくし会	中野集会所	毎月1回	114
鹿田原	鹿田原ふれあいサロン	鹿田原集会所	毎月1回	78
沢	沢ふれあいサロン	沢公民館	毎月1回	47
瀬戸田	微助っ人	瀬戸田光照苑	毎月1回	210
高 根	高根ふれあいサロン	高根潮香園	毎月1回	130
福 田	港福いきいきサロン	福田たちばな荘	毎月1回	273
垂 水	なでしこ会	垂水垂幸園	毎月1回	182
田高根	ふれあいなぎさサロン	田高根なぎさ園	毎月1回	107
荻	荻 福々会	荻南風園	毎月1回	144
宮 原	ほのぼの会	生口島開発センター	毎月1回	101
御 寺	レインボー	御寺集会所	毎月1回	159

(3) 生活福祉資金貸付事業

広島県社会福祉協議会との連携により、低所得者、高齢者、障害者等の自立を目的として、必要な相談支援及び生活福祉資金の申請を受け付けた。また、複合的な課題を抱え、貸付のみでは解決に至らない相談者に対しては、生活困窮者自立支援事業と連携し、相談者に適切な支援を提供することに努めた。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長引く中、支援策の一つである、「生活福祉資金特例貸付」の相談・受付を令和4年9月末まで実施した。相談者に対しては、状況の聞き取りや手続きなど丁寧に対応し、制度の適切な運用に努めた。また、貸付申請時の相談だけでなく、貸付期間中及び貸付終了後も、コロナ禍生活支援通信の発信や貸付終了者向け相談会を実施するなど、一定期間の状況確認や制度の周知に取り組んだ。

令和4年12月より、特例貸付償還開始に向けた手続き支援及び生活状況の聞き取りをはじめとした相談支援を実施した。令和5年3月より、特例貸付利用世帯の借入後の生活状況を把握し、支援を必要とする世帯に応じたフォローアップ支援をおこなうため「コロナ特例貸付フォローアップセンター」を開設した。開設後は、特例貸付の償還が開始した世帯に対し、現況報告を含めた文書を発行した。

相談件数	618件 (400件)
決定件数	47件 (47件)

() 内はコロナ特例貸付分の件数

(4) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

障害などによって判断能力が不十分な方に対して、福祉サービス利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理の援助や通帳の預かり等の支援をした。

県社協主催の研修会に2日間参加し、専門員及び生活支援員のスキルアップに努めた。

また、コロナ禍での生活支援員の訪問に際し、「訪問にあたっての遵守項目」を提示し、訪問前の健康チェックと感染防止対策等を講じた上で訪問していただくよう周知徹底した。

関係機関にこの事業が周知され、役割の重要性が期待されてきており、今後も複雑な課題を抱えた相談や世帯支援の必要性も考えられるため、一人ひとりにあった支援を迅速に提供し、関係機関との情報交換や支所との連携を深め、契約締結審査会等も有効に活用して相談機能を強化していく。

① 相談・支援状況

(令和5年3月末現在)

問い合わせ・契約者対応件数・・・5,866件			
契約終了者	新規契約者	利用者 (内生活保護)	生活支援員
9名	10名	60名 (17名)	27名
利用者内訳	認知症12名、知的障害29名、精神障害16名、その他3名		
	旧尾道地域32名、御調地域7名、向島地域4名、因島地域13名、瀬戸田地域3名、福山市1名		

② 研修会等

ア 職員研修等

開催日	内 容	参加者
6月23日(木)	令和4年度かけはし・法人後見担当者会議(広島県社協主催)	2名
3月8日(水)	令和4年度かけはし・法人後見担当者会議・オンライン(広島県社協主催)	2名

イ 支援員研修

開催日	内 容	参加者
①12月9日(金)	令和4年度生活支援員等養成研修・2日間開催(広島県社協主催)	22名
②1月27日(金)		

(5) 法人後見事業

法人後見人として3件受任。成年被後見人が安心した生活が送れるよう支援を進めている。

① 受任件数 (令和5年3月末現在)

補 助	保 佐	後 見	法人後見支援員
0名(件)	0名(件)	3名(件)	6名
利用者内訳	認知症高齢者2名、知的障害者1名 尾道地域1名、向島地域1名、因島地域1名		
延べ支援回数	専門員：銀行支援回数19回、訪問回数22回、電話対応回数170回、ケア会議・同行・窓口対応等106回、死後事務0件 支援員：銀行支援回数24回、訪問回数7回、電話対応回数4回、ケア会議・同行・窓口対応等2回		

② 新規受任件数・終了件数

内訳	後見等新規受任件数(件)				後見等終了件数(件)				終了理由
	後見	保佐	補助	計	後見	保佐	補助	計	
	0	0	0	0	0	0	0	0	

③ 研修会等への参加

関係機関との連携やスキル向上のため、次の研修会や会議等に参加した。

- ・ 令和4年度かけはし・法人後見担当者会議(県社協主催)
- ・ 令和4年度中核機関体制整備に向けた市町研修会(県社協主催)
- ・ 令和4年度家事関係機関との連絡協議会(広島家庭裁判所主催)
- ・ 令和4年度成年後見制度実務者研修(県社協主催)

④ 成年後見制度の広報周知活動

成年後見制度や福祉サービス利用援助事業「かけはし」の理解を深めることを目的として、一般市民や福祉関係者を対象に、くらすボセミナーと権利擁護セミナーを合同開催した。コロナ禍においても、大勢の方に参加していただくために、開催方法も工夫し、後日セミナーを視聴できるオンデマンド配信も行った。

■ 令和4年度権利擁護セミナー

もっと身近に～知っておきたいくらしに役立つヒント～

12月23日（金）13：30～15：00

(1) 演題：成年後見制度の基礎知識～地域で安心して生活するために～

講師：亀谷司法書士事務所 亀谷昌宏さん

(2) 演題：福祉サービス利用援助事業「かけはし」について

講師：社会福祉法人 広島県社会福祉協議会 権利擁護課 寺西通子さん

（参加者 会場：33名、オンデマンド視聴：54回）

(6) 認知症高齢者見守り事業

在宅で暮らす認知症高齢者や介護している家族等に対し、やすらぎ支援員を派遣し支援する事業。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、支援を必要としている人に情報が伝わるよう事業の周知を図った。ニーズに合わせた支援を行うことで信頼関係を築き、利用者本人の生きがい感の向上、家族の心身のリフレッシュに繋がった。また、やすらぎ支援員研修会を開催し、やすらぎ支援員のスキルアップを図った。あわせて2カ月に1回偶数月に在宅介護者の集いを開催した。

訪問にあたっては、「訪問にあたっての遵守項目」を一部変更（基準緩和）した。しかし、引き続き基本的感染防止対策等を講じた上で訪問していただくよう周知徹底し、今年度は自粛することなく年間を通して事業の推進を図った。

区 分	旧尾道	向島	御調	因島	瀬戸田	合 計
年間利用者数(人)	49	12	12	17	9	99
年間活動実績回数	587	153	99	150	93	1,082
登録やすらぎ支援員(人)	51	18	17	17	11	114

① やすらぎ支援員研修会

開催日	場 所	内 容
2月17日（金）	因島総合福祉保健センター	認知症高齢者見守り事業について 認知症の基礎知識、傾聴の技法と効果について 意見交換・交流会 参加者 11名
2月21日（火）	御調保健福祉センター	認知症高齢者見守り事業について 認知症の基礎知識、傾聴の技法と効果について 意見交換・交流会 参加者 12名
2月22日（水）	総合福祉センター	認知症高齢者見守り事業について 認知症の基礎知識、傾聴の技法と効果について 意見交換・交流会 参加者 26名

② 認知症講演会

開催日	場 所	内 容
12月15日(木)	総合福祉センター	「認知症とともに自分らしく暮らすために大切なこと」 講師：県立広島大学保健福祉学部作業療法学科 学科長・教授 西田征治さん 「認知症疾患医療センターの活動について」 講師：広島県東部認知症疾患医療センター三原病院 看護師 松尾和子さん 療法士 中島美和さん 参加者 106名

③ 在宅介護者の集い

開催日	場 所	内 容	参加者
4月26日(火)	総合福祉センター	介護者同士の情報交換・交流会	22名
6月28日(火)	総合福祉センター	介護者同士の情報交換・交流会	23名
8月23日(火)	総合福祉センター	介護者同士の情報交換・交流会	25名
10月25日(火)	総合福祉センター	介護者同士の情報交換・交流会	25名
12月20日(火)	総合福祉センター	介護者同士の情報交換・交流会	20名
2月28日(火)	総合福祉センター	認知症ケアパスについて 介護者同士の情報交換・交流会	23名

【成果】

- ・ やすらぎ支援員が訪問を重ねることで笑顔のなかった利用者が支援員の訪問を楽しみに待つようになり、生きがい感の向上に繋がることのできた。
- ・ 家族の話し相手として訪問し、介護者に心の余裕が生まれ笑顔が見られるようになった。
- ・ やすらぎ支援員研修会を開催し、事業目的や成果の確認を通して、やすらぎ支援員の活動意欲の向上につながった。
- ・ 2カ月に1回「在宅介護者の集い」を開催し、介護者の日頃のストレスを発散し悩みや思いを打ち明け、自分自身の介護について振り返るよい機会となった。

【課題】

- ・ やすらぎ支援員派遣依頼件数の増加にともない、新規やすらぎ支援員を養成していく必要がある。
- ・ 認知症の基礎知識や傾聴の技法に関する研修会を継続的に開催し、やすらぎ支援員のスキルアップを図っていく必要がある。
- ・ やすらぎ支援員やケアマネジャーとの連携、情報交換を密に行い、チームの一員としての視点をもてるよう、やすらぎ支援員を多面的にサポートしていく必要がある。

(7) 認知症サポーター養成事業

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、「認知症サポーター養成講座」を開催。認知症について正しく理解し認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」が779名誕生し、市内の認知症サポーターは合計20,500名となった。また、小・中・高等学校においても認知症サポーター養成講座に取り組み、98名の学

生サポーターが新たに誕生し、市内の学生サポーターは合計 5,663 名となった。

講座開催に向けては、その講師役となる「キャラバン・メイト」の連絡会を定期的に開催し、コロナ禍の中、三密にならないなど感染防止対策を徹底した講座内容を検討した。

年間 68 講座を開催し、そのうち年間 56 講座に寸劇やロールプレイを取り入れ、「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会」「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会因島グループ」としてチームで講座を担当し、受講者の心に響く講座となるよう工夫した。特に、尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会では、寸劇「わたしのおばあちゃん」「キラキラ星の見える『ふる里』」の 2 作品を撮影し DVD にした。会場が狭く密となるため寸劇披露が出来ない所では、DVD を用いて認知症の理解を図った。

認知症サポーター養成講座終了後には、おのみち見守りネットワーク徘徊等 SOS 情報メールや尾道市認知症サポーターのステッカー等について情報発信し普及啓発に努めた。あわせて『オレンジメイト』への登録を呼びかけ、年間 75 名の登録があり累計 429 名となった。

講座開催にあたっては、引き続き基本的感染防止対策等を講じた上で開催していただくよう周知徹底し、今年度は自粛することなく年間を通して事業の推進を図った。

① 認知症サポーター養成講座

尾道市内 68 カ所で開催（参照「開催一覧表」）

② キャラバン・メイト連絡会

開催日	内 容	参加者
4 月 14 日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定、寸劇撮影、総会について	13 名
4 月 20 日(水)	寸劇撮影「キラキラ星の見える『ふる里』、私のおばあちゃん」	14 名
5 月 12 日(木)	総会、研修会「チームオレンジの取り組みについて」	19 名
5 月 12 日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定について	13 名
6 月 16 日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、寸劇撮影 DVD 確認、「チームオレンジ」の取り組みについて	15 名
7 月 14 日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、令和 4 年度認知症セミナーについて	13 名
7 月 29 日(金)	「令和 4 年度認知症セミナー」オンライン受講	6 名
8 月 18 日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、講座体制について	11 名
9 月 8 日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、令和 4 年度認知症地域支援体制推進全国合同セミナー、各地域でのキャラバン・メイトの取り組みについて	10 名
10 月 13 日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定について	11 名
11 月 10 日(木)	A-QOA 研究会映像撮影 DVD 完成報告、活動の振り返り、今後の活動予定、見守り訓練について	16 名
12 月 8 日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定について	10 名

1月12日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定、第5回認知症カフェ連絡会（講演会）への参加協力について	14名
2月9日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、令和5年度ふれあいサロンへの講師派遣依頼、第5回認知症カフェ連絡会（講演会）への参加協力について	12名
3月9日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定、認知症サポーターキャラバン令和4年度表彰式・報告会動画配信について	11名

【因島グループ】

開催日	内 容	参加者
7月27日(水)	活動の振り返り、今後の活動予定、活動者募集について	9名
9月29日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、相談窓口の周知について	10名
11月24日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、認知症講演会、各認知症カフェの開催状況について	8名
1月26日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、学校への啓発、認知症カフェ連絡会（講演会）について	9名
3月17日(金)	活動の振り返り、今後の活動予定等について	6名

③ キャラバン・メイトのスキルアップ研修

開催日	内 容 等	参加者
7月29日(金)	令和4年度認知症セミナー 場所：尾道市総合福祉センター（オンライン開催）	6名
9月22日(木)	令和4年度 認知症地域支援体制推進全国合同セミナー 場所：尾道市総合福祉センター（オンライン開催）	2名

④ 認知症啓発イベント活動

開催日	内 容 等
9月1日(木) ～30日(金)	世界アルツハイマーデー月間パネル展示啓発活動 のぼり旗、認知症啓発グッズなど提供連携 展示会場：尾道市役所、みつぎ子ども図書館、浦崎公民館、広島銀行東尾道支店、尾道市立市民病院、中央図書館、尾道市総合福祉センター、向島子ども図書館、広島銀行向島支店、サンボル尾道、因島図書館、因島総合支所、瀬戸田図書館等

⑤ 認知症関係事業への参加協力

開催日	場 所	内 容 等	参加者
7月21日(木)	いきいきサロン立花	立花地区見守り訓練（向島圏域）	20名
10月14日(金)	高須町西新涯町内会 集会所	シニア・カフェ西しんがい見守り訓練（東部圏域）	20名

10月24日(月)	小林宅	菜の花カフェ見守り訓練 (東部圏域)	20名
12月7日(水)	尾道福祉専門学校	尾道福祉専門学校1年生見守り訓練 (中央圏域)	44名

⑥ 認知症サポーター認定所

認知症サポーター養成講座を受講した小売店や事業所、認知症サポーターが経営する個人商店等を認知症サポーター認定所として登録、ホームページに掲載。

登録認定所数：200カ所

⑦ チームオレンジ立ち上げ支援

菜の花カフェを拠点にチームオレンジ立ち上げに向けた支援、及び認知症サポーター養成講座ステップアップ講座等を開催した。

開催日	場 所	内 容 等	参加者
5月23日(月)	小林宅	チームオレンジ事前説明会	16名
6月30日(木)	小林宅	第1回チームオレンジ立ち上げ検討会議	9名
7月25日(月)	小林宅	第2回チームオレンジ立ち上げ検討会議	11名
8月22日(月)	小林宅	第3回チームオレンジ立ち上げ検討会議	10名
9月26日(月)	小林宅	第4回チームオレンジ立ち上げ検討会議	10名
10月24日(月)	小林宅	認知症サポーター養成講座ステップアップ講座	22名
		第5回チームオレンジ立ち上げ検討会議	10名
11月19日(土)	個人宅1	出張カフェ	8名
11月22日(火)	個人宅2	出張カフェ	9名
12月19日(月)	小林宅	第1回チームオレンジ菜の花リーダー会	9名

【成果】

- ・ 地域や職域、学校等で認知症サポーター養成講座を年間68講座開催し、認知症について正しい理解を深めることができた。
- ・ 尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会としてチームで講座を担当し、心に響く講座を実施することができた。
- ・ 尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会として寸劇2作品を撮影し、DVDにすることができた。
- ・ 菜の花カフェを拠点とした「チームオレンジ菜の花」をモデル的に立ち上げ、活動支援をおこなうことができた。

【課題】

- ・ 町内会等、きめ細かい認知症サポーター養成講座を開催し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進していく必要がある。
- ・ 各学校での講座を積極的に働きかけ、子どもの時から認知症について正しく理解し、高齢者を敬う心を養っていく必要がある。
- ・ 「オレンジメイト」が、認知症カフェなど地域での活動に結び付くよう働きかけをしていく必要がある。

[認知症サポーター養成講座 開催一覧]

(敬称略)

回	地区	開催日	開催団体	開催場所	劇	参加人数*		キャラバン・メイト
1	因	4月8日(金)	日立造船因島生活協同組合	日立造船因島生活協同組合共同購入支所	○	20	14	連絡会(因島)
2	尾	4月23日(土)	ふれあいサロンさくら	日比崎公民館	○	37	29	連絡会
3	尾	4月24日(日)	尾道会場	尾道市総合福祉センター	×	24	17	小林富美子
4	尾	4月28日(木)	白江健康サロン	白江公民館	○	20	8	連絡会
5	尾	5月10日(火)	いきいきサロンひまわり	向山クラブ	×	15	8	小林富美子
6	因	5月10日(火)	土生健康サロン	土生公民館	○	34	18	連絡会(因島)
7	因	5月11日(水)	脳いきいきひよ子会	竹長区民館	○	21	3	連絡会(因島)
8	尾	5月14日(土)	生協ひろしま(委託会社)	生協ひろしま(新高山)	×	27	22	河原順子
9	御	5月16日(月)	御調西小学校6年生	御調西小学校3階音楽室	○	18	12	連絡会
10	御	5月24日(火)	丸河南ふれあいサロンなごみ	丸河南集会所	○	24	20	連絡会
11	因	6月3日(金)	広島銀行因島・瀬戸田支店	広島銀行因島支店	×	33	21	岡ひとみ
12	御	6月9日(木)	サロンうぐいす	川西集会所	○	21	1	連絡会
13	御	6月15日(水)	市地区ふれあいサロン	市公民館	○	42	25	連絡会
14	尾	6月15日(水)	明乳松浦	明乳松浦三成営業所	×	14	11	河原順子
15	向	6月22日(水)	サロンなかよしこよし	宇立公民館	○	22	5	連絡会
16	尾	6月23日(木)	老人クラブ(地域指導者講習会)	尾道市総合福祉センター	○	51	13	連絡会
17	因	6月24日(金)	広島銀行因島支店	広島銀行因島支店	○	21	0	連絡会(因島)
18	御	6月24日(金)	河内地区見守りサポーター	河内公民館	○	42	30	連絡会
19	瀬	6月27日(月)	高根ふれあいサロン	高根潮香園	○	29	6	連絡会(因島)
20	瀬	6月28日(火)	広島銀行瀬戸田支店	広島銀行瀬戸田支店	○	15	0	連絡会(因島)
21	尾	6月30日(木)	明乳松浦	明乳松浦三成営業所	×	10	8	河原順子
22	尾	7月1日(金)	健康づくりサロン才原	才原なごみ館	×	17	9	河原順子
23	因	7月1日(金)	すこやかサロン	因島西浦ふれあいセンター	○	12	7	連絡会(因島)
24	尾	7月4日(月)	ふれあいサロンもみじ	いきいきサロン栗原	○	28	14	連絡会
25	因	7月7日(木)	さくら会	土生公民館	○	31	1	連絡会(因島)
26	因	7月12日(火)	喜楽会	重井公民館	○	18	1	連絡会(因島)
27	尾	7月15日(金)	しまなみ信用金庫	しまなみ信用金庫尾道支店	×	14	11	河原順子
28	因	7月15日(金)	室陣サロン	室陣集会所	○	29	22	連絡会(因島)
29	尾	7月21日(木)	向東地区老人クラブ連合会	サンボル尾道会議室1・2	○	49	30	連絡会
30	尾	8月9日(火)	ふれあいサロン歌	歌公民館	×	25	4	河原順子
31	因	8月9日(火)	サロンあじさい	新開集会所	○	31	2	連絡会(因島)
32	尾	8月18日(木)	ふれあいサロン彦一	彦一コミュニティセンター	○	24	21	小林富美子
33	因	8月19日(金)	九区サロン	九区会館	○	24	1	連絡会(因島)
34	御	8月22日(月)	健康まなびあい講座	御調保健福祉センター	○	20	5	連絡会
35	尾	8月28日(日)	尾道会場	尾道市総合福祉センター	×	22	13	連絡会

36	尾	9月9日(金)	オレンジカフェ商店街	本通りもりあげ隊内	×	18	4	連絡会
37	尾	9月11日(日)	新高山地区老人クラブ連合会	いきいきサロン新高山	○	27	15	連絡会
38	尾	9月12日(月)	ふれあいサロン松岡団地	松岡団地集会所	×	14	9	松山慎太郎
39	因	9月16日(金)	塩東すみれ会	いきいきサロン土生南	○	18	10	連絡会(因島)
40	尾	9月20日(火)	新田ふれあいサロン	新田クラブ	○	10	9	連絡会
41	因	9月21日(水)	棕浦サロン(スキルアップ)	いきいきサロン棕浦	○	15	0	連絡会(因島)
42	尾	9月26日(月)	菜の花カフェ	菜の花カフェ	○	17	3	小林富美子
43	尾	9月28日(水)	いきいきサロン新浜	いきいきサロン新浜	○	15	9	連絡会
44	尾	10月3日(月)	ふれあいサロン彦ノ上3区	彦一コミュニティセンター	○	27	7	連絡会
45	尾	10月7日(金)	木ノ庄西地区社会福祉協議会(役員及びサポーター)	いきいきサロン木ノ庄西	○	36	8	連絡会
46	因	10月12日(水)	労働ともの会	労働金庫因島代理店会議室	○	27	4	連絡会(因島)
47	瀬	10月17日(月)	中野つくし会(スキルアップ)	中野集会所	○	19	0	連絡会(因島)
48	尾	10月20日(木)	ふれあいサロン矢立	矢立公民館	○	29	13	連絡会
49	尾	10月21日(金)	フレンド大宮	いきいきサロン久保	○	35	4	連絡会
50	因	10月26日(水)	因島高等学校福祉学科3年生	因島高等学校	○	18	12	連絡会(因島)
51	尾	10月28日(金)	いきいきサロン山波	山波公民館	○	30	1	連絡会
52	御	11月11日(金)	木頃地区社会福祉協議会(小地域ネットワーク事業)	農村環境改善センター	○	70	62	連絡会
53	向	11月14日(月)	サロンおかじま	サロンおかじま	○	21	10	連絡会
54	尾	11月16日(水)	コミュニティ大町	コミュニティ大町	○	23	14	連絡会
55	瀬	11月22日(火)	垂水なでしこ会	垂水垂幸園	○	20	3	連絡会(因島)
56	尾	12月7日(水)	尾道福祉専門学校1年生	尾道福祉専門学校	○	44	27	連絡会
57	御	12月16日(金)	御調中央小学校6年生	御調中央小学校3階音楽室	○	37	31	連絡会
58	因	12月18日(日)	尾道市立因島図書館	尾道市立因島図書館	○	13	8	連絡会(因島)
59	因	12月21日(水)	土生へんろ茶屋	へんろ茶屋	○	18	13	連絡会(因島)
60	因	1月10日(火)	荻福々会(スキルアップ)	荻南風園	○	22	0	連絡会(因島)
61	尾	2月2日(木)	浦崎中学校3年生	3階音楽室	○	31	24	連絡会
62	因	2月8日(水)	すずの会	郷区会館	○	27	2	連絡会(因島)
63	瀬	2月14日(火)	林いきいきサロン	林公民館	○	28	11	連絡会(因島)
64	御	2月15日(水)	ふれあいサロン三郎丸	三郎丸集会所	○	20	9	連絡会
65	尾	3月8日(水)	平原はつらつサロン	平原コミュニティセンター	○	20	12	連絡会
66	尾	3月14日(火)	サロン住吉	下組集会所	○	28	16	連絡会
67	因	3月20日(月)	サロン外浦	外浦集会所	○	36	11	連絡会(因島)
68	尾	3月27日(月)	石畦ふれあいサロン	石畦ふれあいクラブ	○	20	6	連絡会
				計		56	1,717	779

注. *参加人数の左は全数、右は内数で初めて参加した人数

(8) 認知症カフェ推進事業

認知症の人ができるだけ住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、様々な主体が地域で自主的に運営する認知症カフェの取り組みを推進する事業。今年度は、新たな認知症カフェが1カ所開設し、合計29カ所の認知症カフェが開設。主催者内訳は、地域住民主催が19カ所、介護事業所主催が5カ所、医療機関主催が5カ所となる。

年間259回の認知症カフェを開催し、合計4,887名の参加があった。その内、3,958名が実績助成金交付対象者に該当し、一人当たり100円の実績助成金を交付した。

カフェの開催にあたっては、「開催にあたっての遵守項目」を一部変更（基準緩和）した。しかし、引き続き基本的感染防止対策等を講じた上で開催していただくよう周知徹底し、今年度は自粛することなく年間を通して事業の推進を図った。

今年度開催したカフェは、市内全29カ所の内、介護事業所主催の2カ所を除く27カ所である。

① 新規認知症カフェの立ち上げ支援

開設検討会議を開催し、今年度北部圏域に「ありがとう三成」が1カ所新規開設。向島圏域のはなの苑と北部圏域のひかり苑は、新規開設に向けて検討中。

名 称	開設日	開催日	会 場
ありがとう三成	9/7（水）	第1水曜日	中国鍼灸ビル1階

② 既存認知症カフェの支援

年間60回各認知症カフェに出向き、カフェの運営や反省会等、開設運営方法等についての側面支援を行った。また、参加者の緊急時への対応として「カフェ安心カード」を紹介し、主催者や参加者の安心・安全につながっている。

③ 認知症カフェ再開に向けての支援

開催日	場 所	内 容 等	参加者
11月28日(月)	長江公民館	オレンジカフェ長江再開に向けて意見交換	15名
12月12日(月)	長江公民館	第1回再開検討会議オレンジカフェ長江	5名
1月19日(木)	長江公民館	第2回再開検討会議オレンジカフェ長江	12名
2月16日(木)	長江公民館	第3回再開検討会議オレンジカフェ長江	11名
3月16日(木)	長江公民館	第4回再開検討会議オレンジカフェ長江	9名

④ 認知症カフェ交流会

開催日	内 容 等	参加者
6月21日(火)	向島圏域オレンジカフェ交流会 内容：カフェの現状、課題について意見交換 会場：向島愛あいセンター2階 第2会議室	26名
3月20日(月)	北部圏域オレンジカフェ交流会 内容：カフェの現状、課題について意見交換 会場：尾道市御調保健福祉センター	14名

⑤ 認知症カフェ連絡会

開催日	内 容 等	参加者
3月6日（月）	第5回尾道市オレンジカフェ連絡会 内容：「認知症を理解し地域で支え合うために」 ～認知症カフェの役割について～ 会場：市民センターむかいしま こころ 文化ホール 講師：認知症介護研究・研修仙台センター研修部長 東北福祉大学総合福祉学部准教授 矢吹知之さん	156名

【成果】

- ・ 地域住民主催の認知症カフェは、認知症の方やその家族が居心地良くくつろげる場として、また虚弱・閉じこもりがちな人の居場所として、認知症をキーワードとした認知症の人にやさしい地域づくりの拠点となっている。さらに、軽度認知症と思われる人に支援者が早く出会う場となっている。
- ・ 医療介護の専門職主催による認知症カフェでは、その強みを活かした勉強会や相談機能の充実が図られている。
- ・ 認知症カフェ交流会や連絡会を通して、カフェの意義、目的の再確認とともに運営方法等について振り返ることができた。
- ・ 各圏域の地域包括支援センターとの連携が、充実した認知症カフェ開催に繋がっている。

【課題】

- ・ 各包括圏域別や主催者別の交流会を細やかに開催し、認知症カフェの意義、目的の再確認をおこなうとともに、主催者の士気向上を図っていく必要がある。
- ・ 新規カフェ開設に向けて、地域包括支援センターと連携していく必要がある。

[認知症カフェ開設一覧]

(名)

番号	カフェの名称 (主催団体)	開催日時	開催場所 (住所)	参加 人数
		参加費		
①	オレンジカフェ長江 (明德町内会・ケアホーム長江)	第3日曜日 10:00～12:00	ケアホーム長江1階 (尾道市長江二丁目7-8)	0
		100円		
②	菜の花カフェ (オレンジメイト菜の花)	第4月曜日 10:00～11:30	小林宅 (尾道市高須町3794)	196
		100円		
③	とまり木カフェ (公立みつぎ総合病院)	第4木曜日 13:30～15:00	御調保健福祉センター2階機能訓練室 (尾道市御調町市107-1)	157
		100円		
④	オレンジカフェ商店街 (尾道市認知症の人と家族の会)	第2金曜日 13:00～15:00	本通り もりあげ隊 内 (尾道市土堂二丁目3-29)	153
		100円		
⑤	オレンジカフェむかいしま♥愛あい (オレンジメイト♥愛あい)	第4木曜日 10:00～12:00	向島愛あいセンター (尾道市向島町5888-1)	417
		100円		

⑥	オレンジカフェ福祉センター・友 (オレンジメイト・友)	第2水曜日 13:30~14:30	尾道市総合福祉センター1階和室 (尾道市門田町22-5)	310
		100円		
⑦	シニア・カフェ西しんがい (高須町西新涯町内会)	第2金曜日 13:30~15:30	高須町西新涯町内会集会所 (尾道市高須町西新涯)	188
		100円		
⑧	こころカフェ (医療法人社団はっぴねす)	第2木曜日 13:00~14:30	こころ尾道駅前クリニック6階 (尾道市土堂一丁目11-6)	51
		100円		
⑨	オレンジカフェむかいひがし (オレンジメイトむかいひがし)	第3月曜日 10:00~11:00	サンボル尾道 2階会議室 (尾道市向東町8670-2)	429
		100円		
⑩	やすらぎカフェ (尾道市医師会 介護老人保健施設 やすらぎの家)	毎週火曜日 14:00~15:00 (お一人様約30分)	電話とオンライン(ZOOM)による開催 (尾道市久保町1718)	108
		無し		
⑪	レモンカフェ (ボランティアレモン)	第4金曜日 13:00~15:00	出口宅 (尾道市瀬戸田町垂水1411-1)	148
		無し		
⑫	オレンジカフェびんご俱樂部びんご茶屋 (有)ブレイクスルー びんご俱樂部)	第3土曜日 13:30~15:30	びんご俱樂部 (尾道市因島三庄町3472)	41
		100円		
⑬	因島医師会ピロードカフェ (一社)因島医師会)	第4土曜日 13:30~14:30	ピロードの丘2階研修室 (尾道市因島中庄町1955)	148
		100円		
⑭	耳をすませて (オレンジメイト茶話駄)	第2火曜日 13:30~15:00	澤田宅(元 そば処 茶話駄) (尾道市御調町貝ヶ原72-2)	161
		100円		
⑮	オレンジカフェおお〜いで (星の里・今津野の家)	第4金曜日 10:00~11:30	星の里・今津野の家 (尾道市御調町津蟹611-4)	35
		100円		
⑯	きららカフェ (きららラポール尾道)	第3水曜日 13:00~14:30	きららラポール尾道 (尾道市十四日町59-8)	0
		100円		
⑰	かぐら 浦崎カフェ (オレンジメイトかぐら)	第1火曜日 10:00~11:30	浦崎公民館 (尾道市浦崎町2102-5)	151
		100円		
⑱	しまの輪カフェ (しまの輪会)	第2土曜日 13:30~15:00	ケアホームひだまり (尾道市因島中庄町3805-1)	116
		100円		
⑲	喫茶かたふじ (オレンジメイトかたふじ)	第2月曜日 13:30~14:30	いきいきサロン高根 潮香園 (尾道市瀬戸田町高根595)	97
		100円		
⑳	オレンジカフェこれから (オレンジメイト岩子島)	第3月曜日 13:30~15:30	めだかの学校 (尾道市向島町岩子島1498-1)	259
		100円		
㉑	ひかりカフェ原田 (福)原田ヒカリ会 高齢者総合ケアセンター ひかり苑)	第3水曜日 15:00~16:00	老人介護支援センターひかり苑2階 (尾道市原田町梶山田3581-1)	127
		無し		
㉒	カフェ「集」 (医療法人社団 精彩会)	第3土曜日 13:30~15:00	地域ネットワークコミュニティ「集」 (ニチエー三成店敷地内)	152
		100円		

⑳	オレンジカフェひだまり (オレンジメイトひだまり)	第1木曜日 13:30~15:00	江奥コミュニティセンター(ひだまり交流館)	236
		100円	(尾道市向島町1919-2)	
㉑	オレンジカフェみにみに (オレンジメイトみにみに)	第2木曜日 10:00~11:00	寺内公民館	149
		無し	(尾道市向東町2621-1)	
㉒	歌声カフェ (ご近所さんカフェ)	第2火曜日 13:30~15:00	ご近所さんカフェ(村上宅)	216
		100円	(尾道市因島重井町2941)	
㉓	オレンジカフェ天女浜 (オレンジメイトはごろも)	第4火曜日 13:30~15:00	天女浜公民館	192
		100円	(尾道市向東町天女浜9225-2)	
㉔	駅かふえ (ボランティアはなみずき)	第3金曜日 10:00~11:30	東部公民館高須南分館	304
		100円	(尾道市高須町4750-2)	
㉕	オレンジカフェサンサンくぼ (久保地区社会福祉協議会)	第2火曜日 10:00~11:30	いきいきサロン久保	300
		100円	(尾道市西久保町24-23)	
㉖	ありがとう三成 (オレンジメイトありがとう)	第1水曜日 10:00~11:30	中国鍼灸ビル1階	46
		100円	(尾道市美ノ郷町三成874-1)	

※ 令和5年3月末現在/開設の早い順に記載

(9) 住民参加型ふれあいサービス事業

暮らしの中で、ちょっとした困りごとのある人（利用会員）とお手伝いできる人（サービス会員）が、近所同士で互いに会員となり、お互いさまの気持ちで支え合う地域づくりを目指し、「住民参加型ふれあいサービス」を推進した。利用会員とサービス会員が、直接利用料を授受することとし、利用料は1時間700円、登録料は年間500円である。介護保険ではカバーしきれない家事援助（掃除、調理等）、外出支援、草取り等の利用が多かった。

今年度は活動を中止することなく実施でき、少しずつコロナ禍前の状態に戻っている。

コロナ禍で新規サービス会員の養成講座は開催できなかったが、市社協だよりによりサービス会員募集記事を3回掲載したところ、新たに37名が会員登録された。

① ふれあいサービス運用状況

サービス会員登録者	155名	サービス回数	延2,563回
利用会員登録者	303名	サービス時間	延3,634時間

(10) 介護器具等の貸し出し事業

介護保険の対象にならない方や障害者福祉制度の給付対象にならない方、盆や年末年始などで一時退院される方、旅行などで一時使用される方などに介護器具等の貸し出しを行った。

【延べ貸出数】

器具の種類	本所	御調	向島	因島	瀬戸田	計
車椅子	135	33	39	23	70	300
ポータブルトイレ	12	0	10	—	—	22
チャイルドシート	19	1	9	12	7	48
杖	3	0	—	—	—	3
計	169	34	58	35	77	373

(11) 福祉総合相談事業

専門相談（弁護士、司法書士、元公証人を毎月各1回）を実施した。また、毎週月曜日に実施している傾聴ボランティア「コスモス」による「こころの悩みごと相談」では、コロナ禍に対する対応も兼ねて電話相談の受付を継続した。その他、日常的には、本会職員が本所及び各支所で、市民の困り事や福祉相談に応じている。

〔福祉総合相談の実績〕

相談事項	件数	相談件数明細	
		電話(件)	来訪(件)
暮らし・住まい	生計	0	0
	日常生活	16	0
	年金	0	0
	職業・生業	0	0
	住宅	0	0

					〔専門相談の実績〕		
家族	家族	3	0	3	内 訳	弁護士相談	25件
	離婚	2	0	2		司法書士相談	10件
健康・医療	健康、衛生	0	0	0		元公証人相談	8件
	精神保健福祉	0	0	0		合 計	43件
法律	人権、法律	23	0	23	こころの悩みごと 相談		19件
	財産	18	0	18			
	事故	0	0	0			
福祉・教育	児童福祉・母子保健	0	0	0			
	教育・青少年	0	0	0			
	心身障害者（児）	0	0	0			
	母子・父子福祉	0	0	0			
	高齢者福祉	0	0	0			
社会参加	0	0	0				
その他		0	0	0			
合 計		62	16	46			

- ① 傾聴ボランティア「コスモス」会員のスキルアップ及び新規会員の養成を目的としたこころの悩みごと相談員養成講座を全4回開催し、会員及び一般市民延べ89名の参加があった。養成講座では、傾聴の知識や技術を講義や演習から学ぶほか、ボランティアとしての意義や心構えに関する講義も取り入れた。養成講座全体を通して、参加者同士のコミュニケーションを図る機会を積極的に取り入れ、ボランティアに関心を持つ者同士の交流の場としても機能した。

日 時	内 容	講 師
1月26日（木）	傾聴について【基礎編】	臨床心理士 浮田明子さん
2月9日（木）	傾聴について【応用編】	臨床心理士 浮田明子さん
2月16日（木）	「聴く」とは	心理カウンセラー 季平博昭さん
3月2日（木）	ボランティアとは・座談会	広島県社会福祉協議会 広島県ボランティアセンター 南 裕美さん

(12) 生活困窮者自立支援事業

さまざまな理由により生活に困っている方、働きたいけど働けない等不安を抱えている方、誰にも頼ることが出来ず悩み事をひとりで抱え込んでいる方などの自立に向けた相談支援を行うため各種関係機関と連携した支援を実施した。また、経済的な困窮だけに関わらず、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方を、生活の安定と自立に向けた自立相談支援及び家計改善支援をおこなった。さらにはコロナ禍による特例措置の各種制度（住居確保給付金、生活福祉資金特例貸付及び新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金等）を活用しながら自立に向けた相談支援を実施した。

相談対応実績		年間合計
相談対応件数（延べ件数）		4,797
（内訳）	電話相談・連絡	1,275
	訪問・同行支援	544
	面談	1,245
	その他機関との会議（支援調整会議以外）	922
	他機関との電話照会・協議	811
	その他	811
所内会議		12
支援調整会議（プラン策定及び評価実施）		1
新規相談受付件数（総数）		264
プラン作成件数（総数）		1
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		5
法に基 づく事 業等 利用 件数	住居確保給付金	44
	一時生活支援事業	0
	家計改善支援事業	1
	就労準備支援事業	0
	就労訓練事業	0
	自立相談支援事業による就労支援	0
そ の 他	生活福祉資金等による貸付	47
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0
就労者数（一般就労総数）		29
うち就労支援対象プラン作成者分		2

【成果】

- ・ 今年度の新規相談対応件数は、264件であった。生活困窮者の置かれた状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。自立支援事業においては、経済的な面だけでなく、社会的孤立の方への居場所支援や、長く失業している方や働いた経験の無い不安な方へ、ハローワークや尾道しごと館、働く人全力応援ステーション（はたすて）などと連携し就労支援を行った。
- ・ 就労相談の結果、29名の就労が決定した。また、税金の滞納や債務の返済を計画的にできていない方に対して債務整理のため、弁護士事務所への同行支援や家計改善支援などのきめ細やかな支援を継続的に行った結果、家計が改善に向かうことができた。その他、家計管理が困難な方には福祉サービス利用援助事業「かけはし」へ繋ぎ、連携した支援を行い適切な家計管理につなげることができた。

- 生活困窮者支援の社協独自事業の充実を図るために、緊急食糧等一時支援事業、リサイクル事業、フードバンク事業及び代用品レンタル事業を統合した生活困窮者特別支援事業「きりふだ」として実施した。その結果、緊急的な危機状況を回避するだけでなく、就労活動などが円滑に進むなどスムーズな生活の立て直しにつながった。
- 制度や専門機関に対する理解を深め、困ったときに支援機関とつながるきっかけとなることを目的に、くらしサポートセミナーと権利擁護セミナーを合同開催した。一般市民や福祉関係者を対象に、コロナ禍においても、大勢の方に参加していただくため、開催方法も工夫し、会場参加の他、後日セミナーを視聴できるオンデマンド配信をおこなった。
- 令和4年度くらしサポセミナー
もっと身近に～知っておきたいくらしに役立つヒント～
12月22日（木）13：30～15：00
 - ① 演題：借金整理の基礎知識
講師：弁護士法人広島みらい法律事務所尾道支部 弁護士 佐藤邦男さん
 - ② 演題：くらしサポートセンター尾道の紹介
講師：社会福祉法人尾道市社会福祉協議会サポートセンター 木本 凌
(参加者 会場：24名、オンデマンド視聴：101回)
- コロナ禍による貸付制度の利用者向けにコロナ禍支援通信を作成し、定期的に発送した。コロナ禍施策を中心に掲載し、情報の貧困を防ぎ必要な施策にスムーズにつながる支援を実施した。併せて、生活保護係と連携し、貸付終了者向け相談会を毎月実施した。

【課題】

- 複合的な課題を抱えた相談者や困難な事例に対応できるよう相談員のスキル向上や相談員間での情報共有を徹底し、職員の増員に加え資質の向上を目指す必要がある。
- 相談件数が増加の一途を辿っているため、職員の負担軽減を図る必要がある。そのためには、多機関との連携体制の構築のほか、「きりふだ」をはじめとする制度の隙間を埋めるための社協ならではの取り組みの充実も図る必要がある。

【研修・その他】

- 広島県生活困窮自立支援事業従事者研修①②
- 総合相談・対応力強化研修会
- 令和4年度 地域依存症対策研修 支援者スキルアップ研修
- 令和4年度 地域生活支援を進める専門職研修
- 令和4年度 生活困窮者自立支援事業ブロック別研修
- 令和4年度 地域共生社会実現のための地域の支え合いコーディネート機能強化研修
- 令和4年度 生活困窮者自立支援事業テーマ別研修
- 令和4年度 まごころ実務者等研修会
- 令和4年度 地域共生社会推進フォーラム

(1) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、既に特例貸付の緊急小口資金や総合支援資金の貸付期間が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯に対して、就労による自立を図ることが困難な場合には、円滑に生活保護の申請につなげることを目的とした、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請の受け付けを行った。

申請件数	合計金額
42 件	3,380,000 円

(2) 生活困窮者特別支援事業「きりふだ」

令和3年度より新たな事業として、『き・り・ふ・だ』は、困窮状態により生活や生命の安全を図ることが困難である方を対象として始める。自立に対する意欲があるにもかかわらず、環境や物品が揃っていないが故に自立に向けた就労活動や家計改善、生活改善等が困難になっている方を一時的に事業で支えることで、自立に向けた生活環境（健康面含む）を整え、且つ就労活動範囲を広げるなど、生活や生命の安全を図り確実に自立へと繋げることを目的として行った。

※「き・り・ふ・だ」は「緊急食糧等一時支援事業」、「(生活用品)リサイクル事業」、「フードバンク事業」、「代用品レンタル事業」のひと文字目を取り命名した。

① 緊急食糧等一時支援事業

食べるもの等に困る一時的な生活困窮者・世帯に対して、食糧等を提供し、生活の自立に向けた緊急一時的な支援を行い、危機回避を図った。

(件)

	本所	御調支所	向島支所	因島支所	瀬戸田支所	合計
対応件数	17	3	2	8	2	32

② (生活用品)リサイクル事業

不要となった福祉(生活)用品を「譲りたい方(譲り渡し)」と「譲ってほしい方(譲り受け)」の橋渡しを行い、福祉(生活)用品の有効活用並びに生活困窮者の生活の安定を図った。

(件)

	譲りたい	譲ってほしい	合計
対応件数	12	7	19

③ フードバンク事業

スーパーや企業及びNPO団体から、フードバンクに寄付を受けた食糧等を無償提供し、生活の自立や継続的な福祉活動の実施に繋げ地域福祉の向上を図った。

(件)

提供件数	289
------	-----

④ 代用品レンタル事業

生活の維持や就労活動に必要な物を代用品としてレンタルし、生活維持と就労活動を円滑に進め、生活環境の一時的な安定を図った。

(件)

内訳 対応件数	自転車	炊飯器	電気ポット	電子レンジ	カセット コンロ	合 計
本 所	0	0	0	0	2	2
因島支所	0	0	0	0	0	0

(3) 居場所づくり事業

相談者の「自分たちの悩みを共有できる居場所がほしい。」との声を受け、コミュニケーションの機会や仲間づくりができる場（居場所）として2カ月に1回の頻度で『なごやかカフェ』を開催。また、「女性ならではの悩みや話ができる場がほしい。」という要望を受け、女性限定の「おのみち女子会『クローバー』」を毎月開催した。

① なごやかカフェ

様々な原因により社会との繋がりが希薄な状況にある方々が、「地域で自分らしく生活していくこと」を目指し、同じような状況にある人同士が集まり悩みや情報の共有を行う場を提供。幅広い年齢層のボランティアスタッフと協力して運営した。

回 数	開催日	参加者数	内 容
第1回	4月27日(水)	4名	レクリエーション、年間計画作成
第2回	6月22日(水)	2名	浄土寺散策
第3回	8月24日(水)	1名	藍染 府中市、府中市社協より視察2名 実習生1名
第4回	10月26日(水)	2名	尾道まなび村体験
第5回	12月21日(水)	0名	クリスマス会(中止)、スタッフ意見交換
第6回	2月22日(水)	2名	パステルアート

【成果・課題】

ア なごやかカフェ

室内活動では、自然とコミュニケーションが生まれる場面や集中して体験に取り組む姿が見られ、参加者一人ひとりが自分のペースで過ごし、社会とのつながりを感じられる場として機能した。外出活動では、積極的に自分の知識を発信される参加者もあり、室内では見られない参加者の様子を知ることができた。今後、参加者の継続的な支援と新規参加者が参加しやすい雰囲気づくり、受け入れ態勢を整えることが課題である。

イ おのみち女子会「クローバー」

自らの経験やつらい思い、女性特有の問題、悩みなどを女性同士で語り合い、思いを共有する。お互いの経験を「話す・聞く」をくり返しながら気持ちがふっと軽くなるつどいの場を目指した。不安の軽減や一歩を踏み出すきっかけづくり、仲間づくり

を目的として定期的を開催した。当事者スタッフとボランティアスタッフが協力し、運営した。

回数	開催日	参加者数	内容
第1回	4月8日(金)	5名	散策(桜土手～竜王台)
第2回	5月13日(金)	4名	フリートーク
第3回	6月10日(金)	1名	散策(烏須井八幡神社)
第4回	7月8日(金)	4名	フリートーク
第5回	8月19日(金)	3名	フリートーク
第6回	9月9日(金)	0名	中止 ※参加者0名のため
第7回	10月21日(金)	3名	フリートーク
第8回	11月18日(金)	3名	フリートーク
第9回	12月16日(金)	1名	フリートーク、クリスマスの飾りつけ
第10回	1月13日(金)	1名	フリートーク
第11回	2月10日(金)	3名	フリートーク
第12回	3月10日(金)	4名	フリートーク

【成果・課題】

今年度もコロナの影響が引き続きあったが、年12回開催予定の内、11回開催することができた。11回の開催の内、3回は屋外で開催し、施設の周辺を散策すると「気軽に参加しやすい。」「一人では行けなかった。」「座って向き合って話すより話しやすい。」と参加者に好評だった。また、本人、家族から問い合わせがあり、事前に担当職員と面談を重ねた新規参加者8名を迎えた。利用登録者にメールで開催のお知らせと参加の有無を2～3日前にすることで、当事者スタッフとの当日の打合せがスムーズに行え、落ち着いて新規参加者を迎えることができた。次年度は、LINE公式アカウントを開設し、SNSを活用することにより、支援情報等を必要とする当事者へ、確実に情報を発信できるようなネットワークの構築を図る必要がある。

(13) 生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活をみんなで支える地域づくりとして、尾道市は生活支援体制整備事業を地域包括支援センターの圏域毎に委託し、内5圏域を本会が受託している。

令和3年度から、尾道市が、第2層協議体設立エリアについて、旧尾道地区は地区社協圏域に見直しをされ、これにより地域への取組がしやすくなってきている。

また、各圏域に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、地域のニーズや資源等の情報の取りまとめ、情報共有に努めてきた。

西部圏域（日比崎地区社協、栗原北地区社協区域含む）では、西部地域包括支援センターと情報共有を図りながら、栗原・久山田地区社協に説明会や研修会を実施し、地域全体で情報共有や話し合いをすることの必要性を理解していただいた。また、吉和地区社協でも同様に話を進めたいと考え、働きかけをしている。

南部（因島）圏域では、第2層協議体「ケアネットフォーラム因島」の定例会を年4回開催した。コロナ禍で活動がしばらく停滞していたため、情報紙「こんにち輪（和）」を年4回発行し、地域回覧をはじめ、各種団体等に説明を行う等活動の周知啓発を行った。また、「ケアネットフォーラム因島」主催の講演会を開催し、庄原市総領町「さいたらの会」の実践発表を行い、多くの住民が参加され、活動の起爆剤となった。10月には、田熊地区、三庄地区をモデルに第3層協議体が立ち上がり、定期的な例会を開催し、それぞれアンケート調査を行うなど、地域課題について話し合い、課題解決に向けた仕組みづくりを進めている。

北部圏域（栗原北地区社協区域除く）では、御調町エリアで1つ、美木中エリアで1つと、2つの第2層協議体を設立することが出来た。御調町エリアの協議体では、交通対策について話し合い、新年度の実証実験に一役買ったように感じている。美木中エリアの協議体では、通いの場をテーマに、話し合いをすることを確認している。また、高齢者見守りネットワークにも引き続き、取り組むこととしている。

中央圏域では、久保地区社協で複数回にわたり研修会を行い、地域課題について、住民同士で話し合う機会を設けており、第2層協議体設立に向けた働きかけを行っている。

また、ふれあいサロンひだまり旭ヶ丘を始め山波地区のサロンなど5カ所で地域づくりの講話等を行い、事業推進に努めた。

南部（瀬戸田）圏域では、生活支援体制整備事業の2回目の説明会を7地区社協で行った。

その後、第2層協議体設立に向けたコアメンバー会議を4回開催し、会の名称、会則及びメンバーについて協議した。メンバーが替わる可能性が高いため、新年度に設立することを確認している。引き続き地域のニーズ把握や情報収集に努めるとともに、高根地区の買物支援もサポートしていく。

各圏域ともに、包括の介護予防・生活支援部会との合同会議を開催し、現時の取組状況や困っていることなどをお互いに報告し合い、改めて情報共有の重要性を認識したところである。

3市（三原市、尾道市、福山市）の生活支援コーディネーター会議を開催し、それぞれの課題を共有しながら、お互いのスキルアップを図っている。

【成果】

- ・ 第2層協議体を2地区で設立できた。また、新年度設立が1地区決定している。
- ・ 地域での見守り活動の意識向上が図られた。
- ・ 小地域ネットワーク推進事業を重層的に行うことで、地域への働きかけや活動がつながりやすかった。
- ・ 地域の情報の共有を図り、地区社協行事等に参加するなかで、住民のコーディネーターへの認識が高まっている。
- ・ 情報紙を発行し、地域づくりの周知啓発につなげるツールとして活用することができた。
- ・ 地域づくり講演会を開催したことで、会員相互の意識の醸成につながった。

【課題】

- ・ 旧尾道地域の現状及び課題の把握が不十分である。
- ・ 地域役員の担い手不足及び高齢化。
- ・ 参加者は、高齢者や関係団体の役員の方が大半である。若い人たちは、地域活動とは疎遠になりがちである。若い方を取り込む方策が引き続き必要である。
- ・ 本事業を進めていくにあたり、行政及び包括との連携は不可欠である。今後も各関係機関と連携し、役割分担のうえ進めていくことが求められる。
- ・ 協議体の仕組みづくりが手探りの状態であり、今後、住民主体の運営方法及び第1層協議体とのつながりを構築していく必要がある。

(14) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催

① 第51回おのみち福祉まつり

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また、総合福祉センターが新型コロナウイルスワクチン接種会場となっていたため、時間を短縮し、参加団体も制限して開催した。

日 時	10月16日(日) 9:00~12:00
場 所	尾道市総合福祉センター
内 容	<ul style="list-style-type: none">○ 開式 加納会長による挨拶、副会長の紹介○ オカリナ演奏 オカリナ同好会によるオカリナ演奏を事前に撮影し、ロビーの大型モニターで繰り返し上映した。○ 赤い羽根共同募金 各スタンプコーナーに赤い羽根共同募金の募金箱を設置し、PRと募金の協力を呼び掛けた。○ 模擬店・即売会コーナー ボランティア団体や福祉事業所等4団体が出店し、バザーやお弁当等の販売を行った。また、子ども向けにスーパーボールすくいを行った。○ 作品展 尾道市内の老人クラブが作成した絵画や陶器等を展示した。また、児童福祉、高齢者、障害者施設等の利用者が作成した作品の展示や施設紹介のパネル展示をした。○ ボランティア体験コーナー 手話、要約筆記等の体験コーナーを設けた。ハンディキャップ体験コーナーでは、車椅子体験、高齢者疑似体験により、多くの方にバリアフリーの認識を持って頂くきっかけとなった。○ 社協事業パネル展 事業ごとにパネルを作成し、社協事業の啓発を行った。○ その他

	子どもいけばな展、絵本のへや、授乳・おむつ替えコーナー、高齢者総合相談、障害者よろず相談、スタンプラリーなど
--	--

② 尾道市社会福祉大会等の開催

ア 尾道市社会福祉大会（場所：尾道市民センターむかいしま）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会は中止となり、表彰のみ行った。

永年にわたり福祉活動に功労のあった方や在宅で介護されている方を表彰した。

また、今年度から新たな表彰制度を設け、二十年以上の永きにわたり継続してボランティア活動を実践されている方を表彰した。

日 時	11月15日（火） 13:30～14:00
内 容	<p>1 福祉功労者及び介護者表彰及び感謝状の贈呈</p> <p>① 尾道市社会福祉協議会会長表彰 198名</p> <p>社会福祉協議会関係者 13名</p> <p>民生委員児童委員 81名</p> <p>社会福祉施設・団体関係者 43名</p> <p>ボランティア（個人） 16名</p> <p>特別功労者 36名</p> <p>介護者 9名</p> <p>② 尾道市社会福祉協議会会長感謝状</p> <p>高額寄付者 8名 3団体 匿名3名</p> <p style="text-align: right;">（参加者 86名）</p>

イ 広島県社会福祉大会（場所：JMS アステールプラザ）

日 時	10月25日（火） 13:30～15:40
内 容	<p>福祉活動功労者表彰状の贈呈</p> <p>広島県社会福祉協議会会長表彰 32名</p>

ウ 全国社会福祉大会

内 容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会は中止となり、表彰のみ行われた。</p> <p>全国社会福祉協議会会長表彰 4名</p>
-----	---

③ 第38回御調地区健康福祉展への参加

日 時	10月29日（土）
場 所	公立みつぎ総合病院、御調保健福祉センター

内 容	手話サークル「ひよこ」、朗読録音ボランティア「ひばり会」、おはなしラッコ、子育てほっとサポート、介助ボランティア「どんぐりの会」の5グループが、障害者体験コーナー・ボランティア体験コーナーを設け参加を呼びかたけた。また、ふれあいサロンや学校の活動状況のパネル展示を行った。
-----	--

④ むかいしま健康福祉まつりへの参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(15) 広報啓発活動

① 市社協だより

偶数月に、市社協だより第 281 号～第 286 号を発行し、全世帯に配布して、地域福祉に関する情報の発信、各種行事の案内やボランティア活動等の啓発を行った。

② ホームページ

各種行事や教室の案内、コロナ特例貸付に関するお知らせ、職員募集など、必要に応じてタイムリーな情報発信を行った。

(16) 民生委員児童委員協議会との連携

民児協会長会議に出席し、新人・新任職員のあいさつ、市社協事業の説明、共同募金の協力依頼と実績報告等を行った。また、連携強化を図るため、令和 4 年 12 月の民生委員児童委員の改選に伴って、尾道市内 18 区の単位民児協会に各地域担当職員が出席し、市社協の事業説明を行った。

(17) 福祉まるごと相談窓口事業

どこに相談すればいいかわからない、8050 問題やダブルケアなど多くの課題を抱えて悩んでいらっしゃる方に相談員が寄り添い、関係機関へつなぐなど、解決に向けて取り組んだ。

単一機関だけでは解決が困難な複合化した課題の解決を図るために、多機関協働の円滑化を目的とした尾道市地域共生包括化推進会議（重層的支援体制整備移行準備事業）を設置し、本会議、実務者会議、個別ケース会議、課題解決会議等を開催した。

福祉まるごと相談窓口実績

相談件数	相 談 内 容
43 件	201 項目（例示は次のとおり。） 病気、けが、障害（手帳有）、障害（疑い）、自殺企図、その他メンタルヘルス、住まいの不安定、経済的困窮、債務、家計管理の問題、就職活動困難、就職定着困難、生活習慣の乱れ、社会的孤立（ひきこもり含む）、家族関係、介護、子育て、不登校、中卒・高校中退、ひとり親、DV・虐待、外国籍、刑余者、コミュニケーションが苦手、本人の能力の課題、その他（ごみ屋敷、8050 問題など）

令和4年度 尾道市地域共生包括化推進会議 実績

	本会議	実務者会議	個別ケース会議	課題解決会議	事務局会議
4月				第2回	開催
5月	第4回	第6回			
6月			1ケース		開催
7月		第7回		第3回	開催
8月		第8回	1ケース		開催
9月				第4回	
10月					開催
11月	第5回	第9回			
12月			1ケース	第5回	開催
1月		第10回			
2月			2ケース	第6回	開催
3月		第11回			

■包括化推進会議

月日・会議名	内 容
5月16日(月) 第4回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・尾道市地域共生包括化推進会議の概要について ・意見交換(地域共生包括化推進会議について)
11月4日(金) 第5回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度実務者会議の取り組み状況(中間報告)について ・尾道市福祉ネットワーク関係図作成について

■実務者会議

月日・会議名	内 容
5月30日(月) 第6回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・尾道市地域共生包括化推進会議の概要について ・個別ケース会議の事例報告及び検討 ・グループ協議(研修交流会について)
7月15日(金) 第7回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケース会議の事例報告及び検討 ・福祉まるごと相談会 ・研修交流会について
8月29日(月) 第8回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケース会議の事例報告及び検討 ・福祉まるごと相談会 ・研修交流会について
11月7日(月) 第9回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生推進セミナーについて ・福祉まるごと相談窓口の相談状況分析について ・福祉まるごと相談会について

1月16日（月） 第10回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生推進セミナーについて ・個別ケース会議の事例報告及び検討 ・事例研究について
3月23日（木） 第11回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生推進セミナーについて ・事例研究 ・多機関ヒアリングの結果について

■個別ケース会議

開催月・地区ケース	参加団体
6月 尾道2人世帯	市社会福祉課（保護係、障害係）、市健康推進課、市高齢福祉課、西部地域包括支援センター、はなはな、市社協（かけはし）
8月 因島1人世帯	市因島福祉課、市健康推進課、南部地域包括支援センター、向島地域包括支援センター、市社協かけはし、くらしサポートセンター
12月 瀬戸田1人世帯	市社会福祉課保護係、南部地域包括支援センター、因島はなはな、居宅介護支援事業所、市社協瀬戸田支所
2月 ①御調2人世帯 ②瀬戸田3人世帯	<p>①市社会福祉課（保護係、障害係）、ケアマネジャー、はなはな、司法書士、市社協（かけはし）、福山市社会福祉協議会、くらしサポートセンター</p> <p>②市因島福祉課、南部地域包括支援センター、因島はなはな、コミュニティケアセンターじゃんぷ、三原わいわい工房、瀬戸田交番、民生委員児童委員、市社協瀬戸田支所</p>

■課題解決会議

令和4年度は、尾道市ひきこもり支援ステーション事業の「みらいネット会議」と合同開催で実施した。

開催月・会議名	内容
4月25日（月） 第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生包括化推進会議について ・ひきこもりの定義について ・ひきこもり支援の現状と課題の整理
7月11日（月） 第3回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援ステーションみらサポについて ・ひきこもりの定義について ・ひきこもり支援の現状と課題の整理 ・ひきこもり支援フローの体系図について

9月20日（火） 第4回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・みらサポ開設記念フォーラム開催結果報告 ・尾道市におけるひきこもりの定義や考え方について ・ひきこもり支援のアセスメントシートについて ・傾聴支援員養成検討委員会の立上げについて
12月6日（火） 第5回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴支援員養成検討委員会の経過報告 ・傾聴支援員の養成やひきこもり支援について（グループ協議）
2月6日（月） 第6回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援フローについて（グループ協議）

■その他

開催月	内 容
1月 【研修参加】 場所：Web 開催	「尾道市孤独・孤立フォーラム」 報告：尾道市地域共生包括化推進会議事務局（市、社協） 内容：地域共生包括化推進会議の取り組みについて紹介

(18) 尾道市ひきこもり支援ステーション事業

ひきこもりに関する相談対応、課題整理を行ない、ひきこもり状態にある当事者やその家族と一緒に、本人のペースを大切にしながら、寄り添った支援に取り組んだ。

また、高齢者福祉、障害福祉、保健医療及び教育委員会等の行政機関や公共職業安定所、包括支援センター、基幹相談支援事業所、若者サポートステーション、民生委員連合会及び学識経験者等の様々な関係者との連携によるネットワーク会議や、当事者や家族会などピアによる力を活かした活動についても検討を行った。ひきこもりに関する理解啓発として民生委員児童委員会会合への参加や、チラシ及び周知用カードを作成し、公共・民間機関等多くの方が手に取りやすいように各所に配置し、地域の理解や相談先の周知が広がるよう取り組んだ。

地域でのひきこもりに関する理解啓発をより深めていけるよう、サポーター養成や支援員養成についての検討会を立ち上げ、次年度実施に向けた協議を行った。

活 動 実 績		年間合計
相談対応	実件数	32
相談対応	延べ件数	330
(内訳)	電話相談・連絡	118
	訪問・同行支援	96
	来所面談	80
	メール	7
	その他他機関との調整・連携 他機関との電話照会・協議その他	29

課題解決会議（みらいネット会議） ※会議内容については、課題解決会議を参照。	5
尾道市民生児童委員（児童福祉部会）研修（講師参加）	1
男女共同参画課関係職員会議（講師参加）	1
因島中庄町サロン交流会（講師参加）	1

●開設記念フォーラム

開催日時：9月11日（日） 13：30～16：00

会 場：尾道市民センターむかいしま文化ホール（尾道市向島町 5531-1）

来場者申込者：会場 160 名

（内訳：当事者本人・家族：19，一般住民：49，支援者 18，民児協 49，その他 25）

オンライン：22 件

オンデマンド：85 件（配信期間 10 月 1 日から 12 月末） 視聴回数 268 回

※尾道ケーブルテレビでもフォーラム放映。

内 容：尾道市長開会挨拶

講師等：KHJ 全国ひきこもり家族会連合会本部事務局 上田理香さん
 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 ひきこもり支援専門官 松浦拓郎さん
 ノートルダム清心女子大学准教授 中井俊雄さん
 福山ばらの会 ひきこもり親の会代表 当事者家族 中村友紀さん
 尾道市ひきこもり支援ステーションみらサポ 高橋 望

●ひきこもり傾聴支援員養成検討会 全5回

【構成委員】

（敬称略）

所 属 機 関	役 職	委 員 名
ノートルダム清心女子大学	人間生活学科 准教授	中井俊雄
広島県ひきこもり相談支援センター東部サテライト	精神保健福祉士	得能千佳
ふくやま地域若者サポートステーション	キャリアコンサルタント	中村友紀
NPO 法人 尾道まなび村	事務局長	加藤千政
傾聴ボランティア「コスモス」	会長	新谷 恵
尾道市健康推進課	保健師	野坂有里子 （藤木美香）
広島県社会福祉協議会	地域共生社会推進室長	河内広行
尾道市ひきこもり支援ステーションみらサポ		林原・高橋・宮川

【協議結果】

傾聴支援員の養成目的として、ひきこもり状態にある当事者（本人・家族）とフラットな立場で、傾聴のスキルを身につけた地域における理解者や専門職と連携しながら当事者とかわり、居場所支援を通し、支援者と一緒に活動するなどの伴走的な支援を行うことを目的とする。当事者（ピア）の傾聴支援員においては、当事者会の立ち上げ、運営を担っていくことも目的

とする。

支援員については、広くひきこもりについての理解啓発を目的としたサポーター養成講座と、養成講座受講者からひきこもり支援として活動していく支援員養成研修の2段階で実施する。名称は「ひきこもり支援サポーター」と「みらいサポーター（傾聴支援員）」とする。

養成に伴うカリキュラムも検討した。

開催日	内容
第1回 10月13日	協議事項：傾聴支援員の役割・理念について 傾聴支援員の活動対象について
第2回 10月27日	協議事項：傾聴支援員の役割・位置づけ、理念について：前回会議内容のまとめ 傾聴支援員の活動について 傾聴支援員養成プログラムについて
第3回 11月17日	協議事項：傾聴支援員の活動について 傾聴支援員養成プログラムについて
第4回 12月1日	協議事項：傾聴支援員の活動について 傾聴支援員養成カリキュラムについて 要綱及び図案について
第5回 12月15日	協議事項：前回までの会議内容のふりかえり 傾聴支援員養成について：養成カリキュラムの修正／要綱／サポーター及び傾聴支援員の名称

【成果】

- ・ 6月6日に開所し、今年度の相談対応件数は330件であった。ひきこもり状態にある本人や、その家族に継続的な相談支援を実施した。
- ・ ひきこもりに関する相談窓口の周知の一環として、開設記念フォーラムを開催したことで、これまで相談することに悩んでおられた複数の家族からの相談につながり、民生委員を通して相談につながった家族など、相談できる場所があることへの周知を図れた。フォーラムの講演内容は、尾道ケーブルテレビでも放映され、自宅で観ることができる状況を作ることが出来、外に出にくい状況の方や、知られることへ抵抗がある方へも安心して情報を得られる形で周知した。
- ・ チラシだけでなく、気軽に手に取りやすいようカード型の広報資料も作ったことで、様々な場所へ設置され、周知につながった。
- ・ 地域の理解者を増やすためのひきこもりサポーターや、支援員の養成について検討し、ネットワーク会議における多機関でも必要性を共有し、協働して自分たちの地域で養成していくことを検討できた。

【課題】

- ・ 従前から、ひきこもりの相談者等を対象とした「なごやかカフェ」や「女子会クローバー」が居場所支援のひとつとしてあるが、実施頻度や、開催場所（地域）に限りがあり、居場所支援の拡大や運営も含めた検討が必要である。

- ・ ひきこもりは障害福祉サービスの対象ではないが、他者とのコミュニケーションや社会とのつながりに様々な課題がある。制度に明確にのれない状況にある場合でも、必要に応じたサービスの活用ができる制度づくりも必要である。
- ・ 限られた社会経験となっている場合や、他者に対しての恐怖心や不安などから働くことへの踏み出すことが難しい人も多い。働く体験ができる場や企業の協力を得られるような仕組みづくりが必要である。
- ・ 相談件数は増加していく中で、長期の支援を必要とするものでもあることから、職員の心的負担の軽減を図る必要がある。その為に、多機関との連携体制の確立と維持が必要である。
- ・ ひきこもりの状態であっても、本人や家族が負い目を感じず安心して生活できる環境となるよう、地域の理解者をつくっていく取り組みの継続と、新たな取り組みも必要である。

【研修・その他】

- ・ ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修（フォローアップ2日間研修）オンライン研修
- ・ 令和4年度 ひきこもり支援関係者研修会
- ・ 地域におけるひきこもり支援について～発達障害との関連等の基礎理解から長期化問題まで～
- ・ 2022年度ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会 基礎編 2日間オンライン研修
- ・ 2022年度ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会 実践編 4日間オンライン研修

3. 福祉人材養成事業

(1) 地域人材確保推進体制整備事業

行政、ハローワーク、尾道福祉専門学校、福祉施設、高等学校等と連携して尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会会議を開催した。コロナ禍でも対応できるよう、オンラインやリモート形式を取り入れながら事業を展開した。また、今年度の新規事業として、人材定着率の向上を目的に「福祉・介護職員の管理職向け人材育成研修会」を開催した。

ア 尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会会議

年2回（6月、2月）を開催し、協議会の実施事業について、協議及び報告を行うとともに、委員同士の情報交換と交流を図った。

開催日	場 所	内 容	参加者
6月24日（金）	総合福祉センター	①令和3年度事業報告及び収支決算 ②おのみち福祉ツアー2022 Online について ③介護施設の管理者向け研修会（仮称）について ④委員改選について ⑤情報交換	16名
2月27日（月）	総合福祉センター	①令和4年度実施事業について ②令和5年度事業計画及び収支予算について ③情報交換	12名

イ 福祉・介護職理解促進説明会（福祉出前授業）の実施

福祉・介護を取り巻く現状を伝えるとともに、介護職のやりがい・魅力を発信した。

開催日	場 所	内 容	参加者
9月28日（水）	御調高等学校	演題：福祉出前講座 講師：尾道福祉専門学校 専任教諭 重岡秀和さん	1年生 45名
2月16日（木）	尾道商業高等学校	演題：絶対介護時代～この時代を生きる全ての人たちへ 講師：トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 学科長 吉岡俊昭さん	1年生 200名

ウ 「おのみち福祉ツアー2022 Online」の開催

高等学校の生徒、保護者及び教員に福祉職場に関する情報を発信することで、実情や魅力について理解を深めて頂き、一人でも多くの生徒が福祉職を進路の一つとして考えて頂けるよう開催した。

開催日	開催方法	内 容	参加者
7月27日(水)	オンライン	「高齢者・障害・保育の3分野の施設」と「介護職員を養成する専門学校」について紹介し、職場の現状、仕事の魅力・やりがい、職員の声などを発信した。 【発表施設】 ①高齢分野：社会福祉法人新生福祉会 ②障害分野：社会福祉法人尾道のぞみ会 ③児童分野：社会福祉法人 MONDEN 会 ④専門学校：社会福祉法人尾道さつき会 尾道福祉専門学校	17校24名 (生徒10名、教員14名)

エ 「福祉・介護職員の管理職向け人材育成研修会」の実施

人材定着率向上のため、管理職に求められる人材育成マネジメントについて、学びや気づきを促した。

開催日	開催方法	内 容	参加者
11月22日(火)	オンライン	講義：管理職の役割とは 人材育成のポイント 事例検討会 自分の職場で明日からできること 講師：介護労働安定センター広島支部 介護人材育成コンサルタント 中村恵美さん	尾道市内の 高齢者および 障害者施設・ 事業所の 管理職または 管理者 36 名

(2) 大学、専門学校等社会福祉援助技術実習生等の受け入れ

新見公立大学から、1名の実習生を受け入れた。

期間：6月20日(月)～8月26日(金)

(3) 日本赤十字社講習会

ア 旧尾道地域…2月9日(木)に高須地区で、幼児安全法講習会を行い、子育てサロンの親子が受講した。もしもの事故や怪我に備え、AEDの使用方法や応急処置について学ぶことができた。10月に栗原北地区でも幼児安全法を行う予定にしていたが、参加人数が集まらなかったため中止した。

イ 向島地域……9月21日(水)に、向島町はなみずき赤十字奉仕団と共催で救急法講習会を行い27名が受講した。また、2月22日(水)に、日本赤十字社広島県支部調整監 脇谷孔一さんによる防災活動とまちづくり講座を行った。ボランティア団体と奉仕団の共催により、一般参加者も含め31名が受講した。

ウ 因島地域……7月15日（金）に、因島ボランティア連絡協議会の研修会として赤十字健康生活支援講習会を行い、16名が受講した。また、7月19日（火）には「因北子育てサロンうきうき」の参加者15名を対象に、赤十字幼児安全法講習会を行った。コロナ禍の中ではあるが、久しぶりの講習会が開催でき、実践を通して良い学習機会となった。

4. 福祉教育推進事業

(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育

① ボランティア活動実践校事業

ア 指定校

各指定校は、コロナ禍でも工夫をしながら、清掃活動や花植え、地域住民との交流、共同募金活動などを行った。

(指定校)

小学校(18校)	長江小、土堂小、栗原小、吉和小、山波小、日比崎小、三成小、美木原小、西藤小、浦崎小、栗原北小、御調中央小、御調西小、高見小、向島中央小、三幸小、因島南小、瀬戸田小
中学校(8校)	栗原中、日比崎中、高西中、浦崎中、向東中、御調中、向島中、瀬戸田中

イ ボランティア実践校会議

(ア) 計画発表会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議は開催せず、各指定校の計画書を冊子にまとめて配付した。

(イ) 報告会

オンライン形式で実施した。会議内で、グループワークを行い、取り組み成果や課題の共有等を行った。

② 出前福祉教室の開催

ア 旧尾道地域

(ア) 浦崎中学校（2月2日（木））

高齢者や障害者の思いについて考え、福祉への関心を高めることを目的として、生徒（3年生22名）を対象に、2グループに分かれ車イス・高齢者疑似体験とアイマスク（白杖）体験を行った。

イ 御調地域

障害者・高齢者への支援を行うボランティアを多く体験し、介護、福祉への関心を高めることを目的に、ボランティアを講師として、手話、朗読録音、アイマスク（白杖）、車椅子操作などの体験を、感染対策を徹底し、スタンプラリー形式で行った。

- (ア) 御調中央小学校 (12月16日(金))
4グループに分かれ、6年生(29名)が体験した。
- (イ) 御調西小学校 (5月16日(月))
2グループに分かれ、6年生(8名)と先生が体験した。

ウ 向島地域

- (ア) 向島中学校 (8月24日(水))
生徒(1年生81名)を対象に向島地域の福祉ボランティアについて知ろうというテーマにより向島で活躍している6ボランティア団体から活動内容を報告した。
福祉総合学習は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年ぶりにボランティア活動内容を説明した。
- (イ) 三幸小学校ボランティア体験学習 (10月24日(月))
児童(4年生14名)を対象に、朗読録音、手話、点字ブロック、車椅子の4つのコーナーをスタンプラリー形式による体験をし、ボランティア意識の高揚と啓発を図った。
- (ウ) 向島中央小学校ボランティア体験学習 (12月6日(火))
児童(3年生78名)・保護者を対象に、朗読、点字、手話、点字ブロック、車椅子の5つのコーナーを親子で体験し、人のやさしさや温もりを感じ取り、誰にでもやさしく接しようという意欲をもつとともに、社会の一員としてともに生きる社会を実現していこうとする態度を育てる目的でボランティア体験事業を行った。

③ 夏休みヤングボランティアスクール

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対象者を高校生以上に限定して規模を縮小し、社協事業の行事運営スタッフとしてボランティア体験を実施した。

日 時	場 所	行 事	参加者
7月26日(火) 10:00~12:00	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「キッズダンス」	2名
7月27日(水) 10:00~12:10	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「ひねろー陶芸」	2名
8月3日(水) 10:00~12:10	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「ボッチャをたのしもう！」	4名
8月5日(金) 10:00~12:00	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「紙ねんどハンコを作ろう！」	2名
8月8日(月) 9:20~12:00	総合福祉 センター	「フードバンク体験」	3名

8月12日(金) 10:00~12:00	総合福祉 センター	三世代交流「夏祭りだ おみこし “ワッショイ”」 事前準備	2名
8月13日(土) ①9:10~12:00 ②12:40~15:30	総合福祉 センター	三世代交流「夏祭りだ おみこし “ワッショイ”」	①9名 ②5名
8月18日(木) 9:30~11:30	河内公民館	保育体験ボランティア 乳幼児の保護者の勉強会時、同室のホ ールで託児を行った。	10名

④ 「地域まるごと福祉教育推進事業」指定終了後の取り組み

3年ぶりにまるごと事業を展開した。高見小学校（児童、保護者、教員）と地域（江奥地区社協、立花地区社協）の協働開催で防災の心構えについては、命を守ることと防災意識を高めることを学んだ。広島県社会福祉協議会指定事業を3年間実施し、自主事業を15年間推進してきた。この地域まるごと事業は、食のイベントを中心に展開してきたが、コロナ禍が続き、参加者も減少したことで令和4年度をもって事業を終了することにした。

日時	場所	内容	参加者
10月22日(土) 10:00~11:30	高見小学校	「災害から命を守るために～備えよう～」 ◆児童（動画）発表 6年生防災ポスターによる意見発表 4年生自作安全マップの紹介 ◆「防災への心構え」 講師 防災士 杉原 潔さん	30名

⑤ Let's 食育！御調グループの取り組み

御調地区の関係団体（尾道市地域おこし協力隊、御調保健福祉センター、子育て支援センターみっけ、みつぎ子ども図書館「すくすく」、第11区主任児童委員、子育てオープンスペース 0123、尾道市社会福祉協議会）の協働開催で1～3歳児までの親子を対象に「食」についての大切さを伝えた。

日時	場所	内容	参加者
11月29日(火) 10:00~12:00	河内公民館	Let's チャレンジ飾り切り！ ～お誕生日メニューを華やかに彩ろう～	8組

5. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動を推進するため、地域の実情に応じた相談対応を行い、交流会の開催や情報発信等を通じてボランティアの育成や新規会員確保に取り組んだ。

(1) ボランティアセンターの運営（相談・派遣・ネットワーク・広報等）

① ボランティアの相談・情報提供

ボランティアの新規活動希望や派遣依頼等の対応を行うとともに、ボランティア団体に向けた各種ボランティア情報の発信や助成金、研修会等の情報提供を行った。

② ボランティア依頼への対応

登録ボランティア数 1,142 名で、団体、個人の依頼により派遣した。依頼件数は託児 26 件、手話 12 件となっている。また、点訳と朗読録音依頼については次のとおりである。

区 分	内 容	利用者
点訳依頼	市役所の各課や身障協会からの通知など公的な依頼が 21 件、個人的な依頼が 24 件あった。公的書類の通知文書、バスや電車の時刻表、川柳作品など、視覚障害者の生活に必要なものや生活の充実につながるものを点訳した。	12 名
朗読録音 依頼	広報おのみち、市社協だより、市議会だよりをはじめ、新聞の社説、身障通信などを朗読した CD を視覚障害者の希望で送付した。	23 名

③ 各地域ボランティア連絡協議会の活動

ア 尾道ボランティア連絡協議会（参加サークル 13 団体、個人ボランティア 1 名）

定例会を毎月 1 回開催し、意見や情報の交換、ボランティア同士の交流を図りながら、次の活動を行った。

- ・ 定例会の開催（毎月第 4 木曜日）
 - ※ 9 月の定例会は市役所で開催し、市長、社会福祉課、政策企画課の職員に出席していただいた。
 - ※ 11 月の定例会では、ハーバリウムづくりを行い会員の親睦を深めた。
- ・ 共同募金運動への協力。
- ・ 会員に書籍の寄付を募り、尾道市総合福祉センターボランティア室内に自由に貸出できる書籍コーナーを設置。

イ 御調地区ボランティア連絡協議会（参加サークル 4 団体）への協力

町内で活動するボランティア団体が相互交流や研修、実践発表を行い、福祉の増進を図っている。具体的には、次のような活動を行った。

- ・ 共同募金街頭募金への協力 10 月・12 月 1 日、2 日
- ・ 御調中央小学校ボランティア体験学習 12 月 16 日
- ・ 御調西小学校ボランティア体験学習 5 月 16 日
- ・ 御調地区ボランティア連絡協議会会議実施（年 8 回）

- ・ IT研修会の実施 8月31日
 - ・ 御調健康福祉展 ボランティア体験コーナー 10月29日
 - ・ 尾道市ボランティアネットワーク会議への参加
 - ・ 活動展示パネルの掲示（御調保健福祉センター・公立みつぎ総合病院）
- ウ 向島ボランティアグループ連絡会「花あかり」（参加サークル 6団体）への協力
- 「花あかり」は6団体が参加。毎月1回役員会を開催し、ボランティアグループ同士の情報交換を行った。このほか、次の活動を行った。
- ・ 「花あかり」役員会……毎月第1金曜日
 - ・ 尾道ボランティアネットワーク会議……毎月第4月曜日（3カ月に1回）
 - ・ 小学校による総合学習体験と活動紹介
三幸小学校4年生にスタンプラリーによるボランティア体験学習
向島中央小学校3年生にボランティア体験学習
 - ・ 花いっぱい！笑顔いっぱい運動
 - ・ 認知症にやさしいまちづくり講演会（12月15日（木））
認知症は誰でもなり得ることで、元気な時から人にやさしく接し、人を支えることの大切さ等について研修を行い、4名が参加した。
 - ・ 防災活動とまちづくり講座（2月22日（水））
コロナ禍の中で、日赤活動やボランティア活動が計画どおりに実施できないため、今回も向島町はなみずき赤十字奉仕団とボランティア団体の共催により、防災活動とまちづくり講座を開催した。災害時への意識を高め、日頃からコミュニケーションを図り、お互いさまのつながりと支え合いの大切さについて研修を行い、一般参加者も含めて31名が参加した。
 - ・ 平成7年に、向島町はなみずき赤十字奉仕団を結成した。その後、尾道市社会福祉協議会と合併後も奉仕団を継続してきた。今年度で27年目の活動を実施してきたが、団員の減少と高齢化に伴い、この度、はなみずき赤十字奉仕団を解散することになった。介助ボランティアはなみずきの会も、高齢化により会員1名まで減少しボランティア活動の存続が難しくなり、解散することになった。
 - ・ 街頭募金への協力
- エ 因島ボランティア連絡協議会（参加サークル 7団体）への協力
- 原則2カ月に1回、定例会を開催し、尾道市ボランティアネットワークの報告及び因島ボランティア連絡協議会の活動内容の検討、各サークルの情報交換を行った。今年度は少しずつではあるが、コロナ禍前の活動ができるようになった。毎年恒例となっていた「大浜しまなみビーチ清掃活動」は、2年ぶりの開催となった。7月に「赤十字健康生活支援講習会」を実施。「災害時高齢者生活支援講習」を受け、災害時にボランティアとして何ができるか、とても参考になった。日本赤十字社を通じて、ウクライナ支援募金、トルコ・シリア大地震支援募金を行った。活動計画にあげていた「渚の交番 SEA BRIDGE を見学し話を聞く会」は、先方の都合により実施に至らなかった。
- 今後も、コロナ禍が完全に落ち着いていない中でもできるボランティア事業を提案し、ボランティア同士の活動が活性化するような取組みを進めていきたい。

オ 瀬戸田ボランティア連絡協議会（参加サークル 3 団体）への協力

尾道市ボランティアネットワーク役員会を受けて、報告及び活動内容の検討、各サークルの情報交換を定期的に行った。

瀬戸田ボランティア連絡協議会で交流会を企画し、焼き芋、生け花、散策等を通して各団体同士の交流を行った。

来年度も参加サークルの活動がより活性化できるよう支援していきたい。

④ 尾道市ボランティアネットワーク事業

尾道市ボランティアネットワークを立ち上げてから 15 年目となり、加入ボランティア団体数は 33 団体となっている。年 4 回の定例会を開催し、各ボランティア連絡協議会の活動の共有や意見交換を行いながら交流を深めた。

また、「おのみちボラネット研修会」では、コロナ禍でも多くの方に参加していただけるよう、5 会場を Web でつなぎ、参加人数を分散して開催した。

その他、市社協だよりを活用して情報発信を行った。

ア 尾道市ボランティアネットワーク会議の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
4 月 11 日（月）	総合福祉センター	・ 2022 年度新役員候補の決定 ・ 2022 年度地域づくり講演会&尾道市ボランティアネットワーク総会について ・ 2022 年度 おのみちボラネット研修会について ・ 各 V 連の情報交換	12 名
6 月 27 日（月）	総合福祉センター	・ 地域づくり講演会&ボラネット総会のふりかえり ・ 2022 年度 おのみちボラネット研修会 ・ ボランティア応援ブックについて ・ 各 V 連の情報交換	10 名
9 月 30 日（金）	総合福祉センター	・ 2022 年度おのみちボラネット研修会について ・ 各 V 連の情報交換	9 名
2 月 24 日（金）	尾道市役所	・ 尾道市ボラネットの取り組み紹介 ・ 2022 年度ボラネット研修会の振り返り ・ 2023 年度市社協だよりの担当 V 連について ・ 2023 年度地域づくり講演会&尾道市ボランティアネットワーク総会について ・ 尾道ボラネット交流会 2023 について ・ 各 V 連の情報交換	17 名

イ 尾道市ボランティアネットワークの活動

開催日	場 所	内 容	参加者
6月14日(火)	総合福祉センター、御調保健福祉センター、愛あいセンター、因島総合福祉保健センター、瀬戸田市民会館の5会場をWebで接続	◆2022年度地域づくり講演会&ボランティアネットワーク総会 【講演会】 演題「災害時に必要な支え合い活動とは」～災害とボランティアについて考えよう～ 講師：尾道市総務部総務課 生活安全係 危機管理専門員 田村 斉さん 【総会】 ①2021年度事業報告及び2022年度事業計画 ②2022年度役員	87名
11月1日(火)	総合福祉センター、御調保健福祉センター、愛あいセンター、因島総合福祉保健センター、瀬戸田市民会館の5会場をWebで接続	◆2022年度おのみちボラネット研修会 演題：「SDGs とは」 講師：環境活動家 谷口たかひさ さん	102名

ウ 市社協だよりの記事提供

尾道市ボランティアネットワークや各ボランティア連絡協議会の取り組み、行事のお知らせ、ボランティアの活動紹介や募集など、尾道市民に向けて情報の発信を行った。

エ 人道的活動（寄付実施）

ボラネット総会&地域づくり講演会の開催に合わせて日本赤十字社の募金箱を設置し、ウクライナ人道危機救援金、29,067円の寄付を行った。

【成果】

- ・ 定例会で各ボランティア連絡協議会の活動や課題を共有することで、各地域の状況を理解し、今後の活動を考える機会となった。また、市役所で定例会を開催したことで、市長、市の職員に各ボランティアの取り組みや思いを知って頂く機会となった。
- ・ 研修会を通して、世界で起きている環境問題について知り、SDGsについて学んだ。自分たちの活動の中で何ができるかを考える機会となった。

【課題】

- ・ 多くの団体でボランティアの高齢化や担い手不足が課題となっている中で、新規ボランティア会員の確保及び後継者の育成、既存活動の見直しなど新たな取り組みを検討していく。
- ・ ボランティアの存在や活動を幅広く市民に周知できるよう、尾道市や各種団体との連携を図りながら、情報発信の手法を検討していく。
- ・ ボランティア活動者同士の交流や親睦を図りながら、活動の悩みや成果を共有し、尾道市全体でボランティアの課題解決に向けて考えていく。

⑤ ボランティア活動保険・行事用保険などの受付

安心してボランティア活動をしてもらうために、研修会や民児協定例会などでボランティア保険の周知を行い、加入の促進と事故への対応を行った。

区 分	本所	御調	向島	因島	瀬戸田
ボランティア活動保険加入者数	2,529名 事故3件	272名	818名 事故2件	450名 事故0件	602名 事故1件
ボランティア行事用保険加入件数	73件 事故2件	13件	20件 事故1件	3件	0件
送迎サービス補償保険加入件数	0件	2件	—	—	—
福祉サービス総合補償保険加入件数	6件 事故3件	1件	—	—	—
社協の保険（ふれあいサロン・社協行事障害補償保険）加入件数	212件 事故1件	—	—	—	—

⑥ 福祉活動機材等の貸し出し

車椅子や高齢者疑似体験グッズ、パネル、テントなどを貸し出し、地域行事や学校での福祉教育、各種イベントで活用された。

(2) ボランティア養成事業

ボランティア養成のために各種講座を実施した。

① 保育ボランティア養成講座

ア 旧尾道地域

9月16日（金）に助産師、利用者支援専門員による講座を行い、新規申込者2名、おのママサポーターズ23名が参加された。1名が新規登録され、翌月から活動に参加された。

イ 御調地域

6月30日、7月14日、7月21日の全3回、助産師、おのみちわらべによる講座と保育体験を行い、「子育てほっとサポート」へ2名が新規登録された。

ウ 瀬戸田地域

9月6日、9月15日に、保育ボランティア養成講座と実習体験を行い、9名が受講し

た。保育ボランティア「ほっとレモン瀬戸田」へ3名の新規登録があった。ブックスタート事業や子育てサロンなど地域の子育て支援で活動を行う。

② 読み語りボランティア養成講座

ア 旧尾道地域

9月28日（水）～11月30日（水）までの全5回の読み語りボランティア養成講座を行い、10名が受講した。内3名は、ブックスタート読み語りボランティアなのはなに入会し、来年度より活動する予定である。

イ 御調地域

9月29日（木）に府中市立図書館館長田中いづみさんを講師に迎え絵本の読み語りボランティア入門を、10月13日（木）にブックスタートの見学を行い、「おはなしラッコ」へ1名が新規登録された。

③ お掃除ボランティア「さわやか」活動

お掃除ボランティア「さわやか」を立ち上げてから12年目となった。隔月で年5回の定例会を開催し、活動についての情報共有をおこなった。

活動依頼に対しては、事前の現地確認をはじめ、ボランティアを調整しスムーズな活動につなげた。また、民生委員や地域包括支援センター等に協力支援を図った。

環境ウォーキングは、御調地区で3グループに分かれて清掃活動を実施した。活動後に屋外で昼食を食べながら交流を行った。

ア お掃除ボランティア「さわやか」定例会の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
5月18日（水）	愛あいセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア「さわやか」総会 ・令和3年度事業報告及び収支決算について ・令和4年度事業計画及び収支予算について ・役員改選について ・交流会 	26名
7月20日（水）	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画、収支予算、会員名簿について ・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和4年度環境ウォーキング&交流会について ・ビブスの購入について ・会員募集チラシについて 	9名

9月21日(水)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和4年度環境ウォーキング&交流会について ・ビブスの購入について ・会員募集チラシについて 	8名
1月18日(水)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度環境ウォーキング&交流会の振り返り ・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和5年度総会及び交流会について(案) ・令和5年度環境ウォーキングについて ・令和5年度定例会開催日程(案) 	7名
3月15日(水)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和5年度役員改選について ・令和5年度総会及び交流会について(案) ・令和5年度環境ウォーキングについて 	8名

イ お掃除ボランティア「さわやか」因島グループ定例会の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
7月21日(木)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(7/20)の報告 ・因島地域の活動について意見交換 ・その他「こんにち輪(和)」の説明 	8名
9月22日(木)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(9/21)の報告 ・令和4年度環境ウォーキング&交流会について ・会員募集について ・その他(意見交換) 	8名
1月20日(金)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(1/20)の報告 ・令和5年度総会及び交流会について(案) ・令和5年度環境ウォーキング&交流会について ・その他 	6名
3月16日(木)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(3/15)の報告 ・令和5年度総会及び交流会について(案) ・令和5年度環境ウォーキング&交流会について ・その他・情報交換 	8名

ウ お掃除ボランティア「さわやか」交流会

開催日	場 所	内 容	参加者
11月16日(水) 10:00~12:30	尾三地方森林組合事務所から大和ロバス停までの国道184号沿い、大和ロバス停から旧大和小学校(3ルート)	・令和4年度環境ウォーキング&交流会 目的地を目指して歩きながら、道端や溝などに落ちているゴミを拾い、会員同士のコミュニケーションを図った。清掃活動後、旧大和小学校グラウンドで昼食を食べながら交流を行った。	30名

エ お掃除ボランティア「さわやか」活動実績

実施月	旧尾道地区		御調地区		向島地区		因島地区		瀬戸田地区		合 計	
	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア
4月			1	3							1	3
5月	1	1									1	1
7月							1	5			1	5
9月			1	12							1	12
1月	2	3			2	4					4	7
2月					1	5					1	5
3月					2	10					2	10
合計	3	4	2	15	5	19	1	5	0	0	11	43

※尾道クリーンセンターのパッカー車利用： 8 回

【成果】

- ・ 尾道市内全域において11件の活動を実施し、利用者宅の衛生環境を整えるとともに、ボランティア自身の充実感を高めることができた。
- ・ 尾道市清掃事務所によるパッカー車の派遣により、ゴミ処理がスムーズに行えた。
- ・ 環境ウォーキングを通して、市内の環境美化及びお掃除ボランティア会員同士の交流を図ることができた。

【課題】

- ・ 一人暮らしの高齢者が、ますます増えていく中で、複合的な課題を抱えているケースもあり、関係機関と連携を図り、対応をしていかなければならない。
- ・ 地区社協や民生委員、地域包括支援センター、ケアマネジャー等と連携を深め、幅広い情報発信を行い、活動を周知していく必要がある。
- ・ 会員の高齢化や担い手不足という課題があり、今後は新規会員の発掘や育成について検討していく。
- ・ 清掃活動をする際は、当日スムーズな活動が行えるよう、ゴミの分別や運び出しの動線確認など、事前の調整を丁寧に行う。

6. 高齢者福祉事業

(1) 第48期尾道いきいき大学

尾道市在住、60歳以上の方を対象に、生涯学習として尾道いきいき大学を開講した。

《大学の概要》

期 間：令和4年4月8日（入学式）～令和5年3月10日（修了式）

会 場：尾道市総合福祉センター・尾道市人権文化センター・おのみち生涯学習センター・しまなみ交流館

学生数：実技講座 256名、教養講座 92名、合計 348名

教養講座：8講座（下表参照）

実技講座：9講座（次頁表参照）

その他の主な行事

- ・ 実技講座講師会 : 11月 7日(月)
- ・ 運営委員会 : 12月 23日(金)
- ・ 実技講座作品展示 : 1月 16日(月)～3月 19日(日)

教養講座

開催日	テーマ・演題	講 師
4/8	心豊かに生きる智慧 ～地域のつながりが最大の防災力！～	茨城県社会福祉協議会 防災活動アドバイザー 茨城県つくばみらい市 高雲寺 住職 米沢智秀さん
5/13	うるしの器、暮らしと共に	尾道市立大学 芸術文化学部 准教授 林 宏さん
6/10	特殊詐欺対策～次はあなたが騙される～	尾道警察署 生活安全課 杉山健太郎さん
9/9	笑って、元気に、介護予防	介護芸人 鹿見勇輔さん
10/14	東洋医学で健康に暮らそう	松本病院 薬剤部長 岡崎裕美枝さん
11/25	身近な相続問題～法律知識を学ぼう～	弁護士法人広島みらい法律事務所 尾道支所 弁護士 佐藤邦男さん
2/3	今日から始めよう！ 楽に、楽しく生きるための整理収納	整理収納アドバイザー1級 表 美映さん
3/10	近世尾道の発展と来訪者の力～行商・医療・芸能の動向から～	尾道市立大学 経済情報学部 准教授 森本幾子さん

第48期尾道いきいき大学 修了生数

講座名	講師名	修了生			合計	3年間 皆勤者
		1年生	2年生	3年生		
書道かな	友宗 杉径	6	9	12	27	2
書道漢字	國貞 紅鶴	5	21	8	34	1
絵 画	山根 悦	7	13	2	22	0
自 由 花	進來 せい子	7	3	7	17	2
野 菜	金野 省三	11	4	11	26	1
英 会 話	能登セドリック	18	11	6	35	0
俳 句	郷坪 敏幸	5	15	18	38	3
茶 道	武田 宗純	4	5	6	15	0
パソコン	百島 裕司	16	/	/	16	/
実技講座合計		79	81	70	230	9
教養講座		92				
合 計		322				

修了証書授与者数・・・実技講座 3年生70名、パソコン講座 1年生16名 合計 86名

皆勤賞授与者数・・・ 9名

(2) 敬老会

尾道市と連携し、コロナ禍での地域住民の安全面を考慮しながら、地区社協や町内会が主体となって地域の実情に応じた可能な取り組みがなされるよう事業を展開した。

開催概要

- ・開催地区及び箇所数

地域名	地区社協または町内会単位等で式典開催した地区（箇所数）	地区社協単位で記念品配付した地区	町内会単位等で記念品配付した地区（箇所数）
旧尾道	土堂 栗原・久山田（2）	筒湯、山波、新高山、久保、長江、日比崎、吉和、三成、木頃、木ノ庄西、木ノ庄東、原田、西藤、高須、百島、向東	栗原・久山田（15）、栗原北（12）、向東（6）
御調		菅野、上川辺、市、河内、今津野、綾目、大和	
向島		兼吉、江奥、東富浜1・2区、東富浜3区、小歌島、中富浜、西富浜、田尻、川尻、土井、宇立、有道、津部田、岩子島、立花	
因島	大浜	土生、田熊、重井、東生口	三庄（2）、中庄（4）
瀬戸田		御寺、宮原、荻、田高根、垂水、福田、港、瀬戸田、高根、沢、鹿田原、中野、林、名荷	

- ・箇所数において、2箇所以上の地区社協又は町内会が合同で実施した場合は、1箇所としている。この為、地区社協数及び町内会数と箇所数は必ずしも同数とはならない。
- ・招待者年齢・・・75歳以上
- ・委託料・・・運営費として、一人あたり1,500円（地区社協が尾道市と直接契約する）
- ・招待者数・・・27,076人（男性10,895人、女性16,181人）
- ・出席者数・・・183人

令和4年度 敬老会実施状況（招待者人数）

(人)

	地区名	開催日	開催時間	会 場	男性	女性	合計	出席者
旧尾道	山波	記念品のみ配布			299	452	751	—
	新高山				143	190	333	—
	久保湯				306	480	786	—
	筒湯				168	287	455	—
	長江				249	449	698	—
	土堂	9月18日(日)	13:00~15:30	しまなみ交流館 大ホール	165	320	485	125
	日比崎	記念品のみ配布			435	727	1,162	—
	吉和				562	815	1,377	—
	栗原・久山田	【別表参照】			947	1,429	2,376	15
	栗原北				463	663	1,126	—
	三成	記念品のみ配布			231	352	583	—
	木頃				145	201	346	—
	木ノ庄西				94	115	209	—
	木ノ庄東				70	117	187	—
	原田				107	151	258	—
	西藤				113	152	265	—
	高須				460	714	1,174	—
	浦崎				317	453	770	—
	百島				61	143	204	—
	向東				【別表参照】			766
小計				6,101	9,307	15,408	140	
御調	菅野	記念品のみ配布			30	58	88	—
	上川辺				84	110	194	—
	市				172	249	421	—
	河内				122	203	325	—
	今津野				58	81	139	—
	綾目				53	80	133	—
	大和	36	39	75	—			
小計				555	820	1,375	—	
向島	兼吉	記念品のみ配布			132	207	339	—
	江奥				190	296	486	—
	東富浜1・2区				37	50	87	—
	東富浜3区				26	50	76	—
	小歌島				22	33	55	—
	中富浜				95	145	240	—
	西富浜				62	74	136	—
	田尻				61	97	158	—
	川尻				85	124	209	—
	土井				13	29	42	—
	宇立				96	120	216	—
	有道				154	206	360	—
	津部田				117	184	301	—
	岩子島	61	104	165	—			
立花	72	98	170	—				
小計				1,223	1,817	3,040	—	
因島	土生	記念品のみ配布			416	729	1,145	—
	田熊				388	504	892	—
	三庄	【別表参照】			419	569	988	—
	中庄				457	630	1,087	—
	大浜	9月11日(日)	13:00~15:00	大浜公民館	78	121	199	43
	重井	記念品のみ配布			304	411	715	—
	東生口				131	166	297	—
小計				2,193	3,130	5,323	43	
瀬戸田	御寺	記念品のみ配布			40	56	96	—
	宮原				43	61	104	—
	荻				39	47	86	—
	田高根				27	37	64	—
	垂水				60	70	130	—
	福田				99	128	227	—
	港				17	26	43	—
	瀬戸田				59	112	171	—
	高根				52	98	150	—
	沢				47	49	96	—
	鹿田原				14	22	36	—
	中野				67	88	155	—
	林				112	126	238	—
	名荷	147	187	334	—			
小計				823	1,107	1,930	—	
合計				10,895	16,181	27,076	183	

(人)

	町内会等	開催日	開催時間	会 場	男性	女性	合計	出席者									
旧 尾 道	栗 原 久 山 田	下組北	記念品のみ配布		27	49	76	—									
		本通り第2			56	90	146	—									
		本通り第3			44	65	109	—									
		本通り第4			6	9	15	—									
		本通り第5			2	8	10	—									
		則末町内			167	257	424	—									
		則末第4			2	4	6	—									
		向ヶ峠			93	147	240	—									
		向 山			54	84	138	—									
		竹 屋			80	124	204	—									
		川 上			125	176	301	—									
		大 地			25	26	51	—									
		緑ヶ丘			5	14	19	—									
		門 田			137	237	374	—									
	竜王台	10月2日(日)	10:00~11:30	竜王台集会所	25	29	54	6									
	大 迫	9月18日(日)	10:00~12:00	中央公民館久山田分館	7	9	16	9									
	久山田	記念品のみ配付			92	101	193	—									
		小 計				947	1,429	2,376	15								
	栗 原 北	三美園団地	記念品のみ配布			121	184	305	—								
		大迫団地				78	110	188	—								
		三成ヶ丘				49	64	113	—								
		松岡団地				34	47	81	—								
		堂 面				11	27	38	—								
		三美園住宅				18	28	46	—								
		竹屋東				19	24	43	—								
		松 岡				36	65	101	—								
		竹屋団地				63	79	142	—								
内 郷		1				1	2	—									
幸が丘		25				28	53	—									
幸ヶ丘		8				6	14	—									
		小 計							463	663	1,126	—					
向 東	彦ノ上二	記念品のみ配布			42	69	111	—									
	堤				20	42	62	—									
	寺 内				79	117	196	—									
	谷 水				18	24	42	—									
	古江奥				19	22	41	—									
	向 東				588	823	1,411	—									
	小 計				766	1,097	1,863	—									
因 島	三 庄	三 庄	記念品のみ配布					407	551	958	—						
		棕 浦						12	18	30	—						
	小 計							419	569	988	—						
	中 庄	中 庄						記念品のみ配布						334	427	761	—
		鏡 浦												15	23	38	—
		外 浦												41	65	106	—
西 浦	67	115	182	—													
	小 計				457	630	1,087	—									

7. 障害者福祉事業

障害者が地域で安心して暮らせるよう、ボランティア活動の促進、福祉人材の育成等を行った。

また、当事者団体への支援等を行い、あらゆる機会を通じて障害者の自立と社会参加の促進を図った。

(1) 障害者社会参加促進事業

障害者の自立と社会参加を推進するため、各種講座やボランティアの養成を行った。

① 各種養成講座

ア 手話奉仕員養成講座

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
市 域	5月19日～3月9日	毎週木曜日 37回	11名	6名

イ 手話講習会 (※講師は、いずれも手話サークル会員とろうあ協会会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	5月20日～9月16日	毎週金曜日 17回	6名	4名
御 調	5月7日～7月9日	毎週土曜日 10回	2名	2名
向 島	5月25日～9月14日	毎週水曜日 17回	4名	4名
因 島	5月24日～7月26日	毎週火曜日 10回	2名	2名

ウ 尾道市登録手話通訳者学習会〈専門研修〉

外部講師：広島県ろうあ連盟、尾道ろうあ協会、尾道市健康推進課、総務課

受講者：延べ85名 12回

対象者：手話通訳派遣に登録している方

エ 点字一日体験講座 (※講師は、点字サークル会員)

日 時：5月10日(火)

受講者：5名

オ 点字講習会 (※講師は、点字サークル会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
尾 道	5月17日～7月19日	毎週火曜日 10回	4名	4名
向 島	6月10日～12月9日	第2・4金曜日 12回	2名	2名

カ 朗読録音講習会 (※講師は、朗読ボランティア会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	10月11日～2月28日	第2・4火曜日 10回	5名	2名
御 調	7月7日～9月15日	毎月木曜日 5回	2名	2名
向 島	6月10日～11月4日	第2・4金曜日 10回	1名	1名

キ 朗読録音講習会〈専門研修〉

講 師：武田智子さん

受講者：80名 11回

対象者：旧尾道地域朗読録音ボランティア会員

ク 要約筆記者養成講座

申込者なしのため、開講されなかった。

② 手話奉仕員、要約筆記者派遣事業

ア 手話奉仕員派遣

地域名	派遣件数	派遣時間	派遣内容	派遣者数	依頼者数
旧尾道	114 件	169 時間	病院・学校行事等	9 名	10 名
御 調	9 件	25 時間	病院	4 名	2 名
向 島	0 件	—	—	—	—
因 島	16 件	23 時間	病院・手続き等	5 名	2 名
市 外	6 件	17 時間	病院・手続き等	6 名	3 名

イ 手話奉仕員派遣（尾道市手話通訳者設置事業）

設 置 日：毎月第3火曜日 13時～16時

設置場所：尾道市役所社会福祉課

通訳者数：2名

ウ 要約筆記者派遣

地域名	派遣件数	派遣時間	派遣内容	派遣者数	依頼者数
旧尾道	1 件	1 時間	講演会	1 名	1 名

③ 障害者スポーツ教室開催事業

地域名	教室等の行事名	参加人数
旧尾道	水中ウォーキング	中止
	スポーツ吹き矢	中止
	ボッチャ	90 名
	カローリング	12 名
御 調	障害者ふれあい交流会	28 名
因 島	水泳教室	22 名
	ふれあい運動会	中止
	グラウンドゴルフ大会	26 名
	卓球教室	約 350 名
瀬戸田	スポーツ大会（ボッチャ）	13 名

④ 啓発普及事業

第 29 回「障害者週間」尾道福祉大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止ため、講演と事業所紹介がオンラインによる動画配信で行われた。また、啓発活動として、市内の障害者施設利用者が作成された絵画等の作品展を尾道市役所、総合福祉センターの 2 会場で行った。

	内 容	期 間
講 演	◇2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島大会出場選手へのインタビュー ◇講演「ありのままの姿でいい」 リズムトレーナー 西 利範さん	12月1日～ 12月31日
事業所 紹介	◇仕事とくらしの福祉事業所紹介	12月1日～ 12月31日
作品展示	◇市内障害児・者施設を利用している方が作成した絵画、書道等の作品展示 場所：尾道市役所1階交流スペース 総合福祉センター1階ロビー	12月14日～ 12月20日

⑤ 生活訓練事業

ア 介助ボランティア養成講座（障害者福祉）

開催日時	内 容
1月15日(日) 13:30～15:00	テーマ：「傾聴」～安心の関係づくり～ 講 師：臨床心理士・公認心理師 藤澤真智さん
1月22日(日) 13:30～15:00	テーマ：「知的障害の理解」 講 師：社会福祉法人 萌え木の里 ばすぽーと管理者 魚谷由紀子さん ワークアップ管理者 三宅 篤さん
1月29日(日) 13:30～15:00	テーマ：①介助を実際に体験しよう ～車いすの扱い方、白杖体験など～ ②「どんぐりの会について」 講 師：介助ボランティア「どんぐりの会」

イ チャレンジタイム（10回） 参加者 106名

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も料理教室は中止にし、代替えの教室を開催した。知的障害者を対象に介助ボランティアと一緒にレクリエーションや創作活動の教室を通して達成感、充実感を味わい、休日の居場所づくり・仲間づくりの場となった。

ウ は一とらんど（9回） 参加者 67名

知的障害者の休日の居場所づくりや仲間づくりのために開催した。障害者同士の交流がもてるように支援した。

エ 簡単料理教室（向島：6回、瀬戸田：1回）

向島と瀬戸田地域で知的障害者を対象に料理教室を行った。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、地元の野菜を使った料理を作るなど工夫し、調理を重ねていくことで日常生活につながる活動となった。

参加者：向島 110名、瀬戸田 9名

⑥ 障害者IT総合推進事業

- ア パソコン入門（47回） 参加者 310名
障害者を対象に、日常生活の向上及び社会参加の促進を図る目的で開催。参加者のレベルにあわせた講座で、パソコンの操作技術を習得した。
- イ タブレット体験会（2回） 参加者 12名
広島県障害者ITサポートセンターによるデジタル活用ワークショップを開催した。デジタルアースのアプリを習得し、疑似旅行を体験した。

⑦ 芸術文化講座開催事業

- ふでふで工房（12回） 参加者 130名
月1回知的障害者を対象に習字教室を11回、絵手紙教室を1回開催。知的障害者の休日の居場所づくり、仲間づくりに役立つ教室となった。尾道市役所1階市民交流スペースで作品展を行い、日頃の成果を多くの方に見て頂くことで、参加者の意欲向上につながる機会となった。

(2) 障害者当事者団体への支援・協力

- ア 障害者団体等に協力した。
- イ 地域で活動する障害者関係団体のスポーツ大会、研修会等を支援した。
- ウ 尾道市身体障害者福祉連合会及び福祉協会の各活動の支援を行った。

8. 児童福祉事業

(1) 子育て支援

ブックスタートから始まる子育て支援を推進し、おやこタイムやおやこ広場、子育てサロンの充実や子育て支援ネットワークへの協力を行った。

① ブックスタート事業（4カ月児健診の乳児へ絵本の読み聞かせとプレゼント）

社協、図書館、健康推進課、読み語りボランティアなどが協力して実施し、593人の赤ちゃんへ絵本等のプレゼントを行った。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7～8月は絵本の読み聞かせを中止し、絵本のプレゼントのみ行った。また、昨年度に引き続き、保育ボランティア等による赤ちゃんの抱っこは中止した。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田
実施回数	年間28回	年間4回	年間6回	年間6回
場所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター
対象児数	508名	10名	56名	19名
役割	健診	健康推進課	健康推進課	健康推進課
	受付等	民生児童委員	民生児童委員	民生児童委員

	絵本の紹介	中止	みつぎ子ども図書館	中止	中止
	読み語り	「なのはな」	「おはなしラッコ」	「さざなみ会」	「ひよこちゃん」
	赤ちゃんの抱っこ	中止	中止	中止	中止

② ブックスタート・プラス事業

1歳6カ月児健診の幼児 662 人に絵本をプレゼントした。各地域で読み聞かせを再開した。

地域名		旧尾道・向島	御 調	因 島	瀬戸田
実施回数		年間 32 回	年間 4 回	年間 6 回	年間 6 回
場 所		総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター
対象児数		557 名	16 名	60 名	29 名
役割分担	健 診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	絵本の紹介	中止	みつぎ子ども図書館	中止	中止
	読み語り	なのはな	おはなしラッコ	さざなみ会	ひよこちゃん

③ ブック・ステップアップ事業

3歳児健診の幼児 752 人に絵本をプレゼントした。各地域で読み聞かせを再開した。

地域名		旧尾道・向島	御 調	因 島	瀬戸田
実施回数		年間 42 回	年間 6 回	年間 6 回	年間 6 回
場 所		総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター
対象児数		627 名	26 名	74 名	25 名
役割分担	健 診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	絵本の紹介	中止	みつぎ子ども図書館	中止	中止
	読み語り	なのはな	おはなしラッコ	さざなみ会	ひよこちゃん

④ ブックスタート関連取組み

ア 会議

11月25日（金）ブックスタート絵本選定会議の開催

イ 研修会

11月29日（火）ブックスタート全国研修会 2022（オンライン）

2月20日（月）ブックスタート研修会

ウ 講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

【成果】

- ・ 事業のアンケートにおいて、ブックスタート事業を受けた方は、家庭で絵本を読む機会

が増え、親子で向き合う時間が増えていると感じる割合が高い。また、図書館を利用されるきっかけになっている。

- ・今年度より、ブックスタートに民生児童委員に再度ご参加頂いている。民生委員児童委員協議会のご案内や子育て支援情報をお伝えいただくことで、親子に地域で見守ってられる存在を周知することが出来ている。

【課題】

- ・読み聞かせを再開しているが、保育ボランティア等による抱っこや一部の地域では図書館の参加を中止している。

⑤ 子育てサロンの推進事業

市内 15 カ所で原則毎月 1 回以上サロンを開催した。新型コロナウイルス感染予防のため、遵守項目に沿って、感染防止対策を講じて活動を行った。

子育てサロン連絡協議会の総会は 2 年ぶりに集合形式で開催した。また、サロン同士の情報交換や連絡調整を目的に行う子育てサロン交流会も、2 年ぶりに開催し、サロン同士の交流を図った。

役員会は 6 回開催し、コロナ禍での活動状況等の情報交換を行った。

[子育てサロン一覧]

サロン名	場 所	回 数	参加人数
高須子育てサロン「らっこクラブ」	東部公民館	月 1 回	108
山波子育てサロン「クローバー」	山波公民館	月 1 回	90
土堂子育てサロン「たいよう」	土堂公民館	月 1 回	130
日比崎子育てサロン「ひびきっず」	日比崎公民館	月 4 回	361
吉和子育てサークル「ドレミサークル」	吉和公民館	月 1 回	71
栗原子育てサークル「お日さまクラブ」	栗原公民館	月 1 回	29
栗原子育てサロン「ちえりいクラブ」	いきいきサロン栗原	中 止	0
栗原北子育てサロン「日だまりカフェ」	栗原北公民館	月 1 回	50
三成子育てサロン「にこにこ」	才原なごみ館	月 1 回	40
西藤子育てサークル「ぞうさんクラブ」	福田ふれあい館	月 1 回	193
浦崎子育てサークル「ほっとにこにこ」	浦崎公民館・浦崎認定こども園	月 2 回	230
向東子育てサロン「びよびよ」	向東公民館	月 1 回	100
向島子育てサロン「すくすく」	愛あいセンター	月 1 回	194
因島子育てサロン「うきうき」	中庄公民館	月 2 回	233
瀬戸田子育てサロン「バンビ」	瀬戸田福祉保健センター	月 4 回	433

⑥ おやこタイム、おやこ広場等子育て支援事業（母子・父子福祉センター事業参照）

乳幼児の親子の子育て支援を行った。

⑦ 関係機関との連携

- ア 医師会少子化対策等検討委員会への参加
- イ 「尾道子育て支援ネットワーク」の会議へ月1回の参加、活動への協力
- ウ Let's 食育！御調グループのイベント（1回）、協働会議（年3回）への参加

【成果】

- ・ 近年、地域のつながりの希薄化が進み、さらに新型コロナウイルスの影響で子育てへの不安や孤立感が高まる中、子育てサロンの必要性が再認識され、つながり、支え合いの場となり、地域と家庭の子育て力の向上等の役割を担っている。

【課題】

- ・ 少子化、共働き家庭の増加の影響で、子育てサロンへ参加する親子が減少しており、活動継続が困難となってきた子育てサロンが数カ所ある。

（２）子どもの居場所づくり

① こどもサポート事業

近年、社会構造や家族形態、働き方の変化などにより、「たくさんの経験をわが子にさせたいが、思いが叶わない」「家庭の事情で子どもと関われる時間が十分でない」「子どもの成長や家族のことで、周囲に相談できる人がいない」といった悩みをもつ親が増えている。

本事業は、そのような社会課題を受け、平成29年7月に旧尾道市域でスタートした（尾道拠点）。同31年2月には、因島にも市内2拠点目が開設。平日の放課後から夜間までを開設時間とし、主に小学校低学年を対象に、学習支援や夕食提供をはじめとした生活習慣形成の支援、体験機会の提供などを行っている。

令和4年度は、尾道拠点が10世帯15人、因島拠点が7世帯9人の登録があり、子どもたち一人ひとりに寄り添ったサポートを実施した。日々の生活支援に加え、野外活動や企業見学など、年間を通じて様々な活動を実施し、児童の成長を後押しした。

また同年度より、前年度に助成終了していた尾道拠点に続き、因島拠点も公益財団法人日本財団（東京都）の助成による運営から、尾道市の委託事業に変更となった。これを機に、地元の団体などに体験活動の受け入れを依頼し、より地域に根差した運営を実施することができた。

② 子どもの居場所づくりネットワーク事業

子どもたちが健やかに育つ地域環境づくりのため、子ども食堂や学習支援等の居場所づくりに取り組む団体の連携体制の整備、活動支援を行った。

ア 意見交換会、研修会の開催

新型コロナウイルスの影響でオンライン2回、対面4回で計画通り年間6回の意見交換会を開催し、情報や課題の共有を行った。消防局の救命救急講習や㈱ハローズから担当の方を招き、「ハローズモデル」による食品の有効活用について、また、尾道市の市民向けのNPO 法人全国子ども食堂むすびえの湯浅理事長の講演会をネットワークの研修と位置

づけ、活動の活性化につなげることができた。

イ フードドライブの実施

今年度も4回の期間を設定したフードドライブ事業を行い、延べ130件の食品寄付を受けたほか、期間外にも延べ76件の寄付をいただいた。これらに加え、個人・企業等の昨年度からの継続的食品提供のほか、困っている子どもを助けたいという社会貢献への気持ちをもたれた個人、企業から、お米、製造や販売している食品、自社で行ったフードドライブからの食品寄贈を受けるなど、事業に協力いただいている個人・企業等の増加につながった。

ウ 相談支援

子ども食堂等の開設を検討している個人・団体への相談対応を行い、本年度は2団体が本ネットワークに参加いただくこととなった。

9. 母子・父子福祉事業

尾道市総合福祉センター事業のうち、「(4) 母子・父子福祉センター事業」を参照

10. 尾道市総合福祉センター等の管理

(1) 尾道市総合福祉センターの管理

総合福祉センター利用状況 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

階	室名等		市社協	福祉センター	無料登録団体	市	有料	合計	件数	総合計
1階	作業室	午前	0	0	0	0	0	0	(件) 0	(人) 0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	会議室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	小会議室	午前	359	539	568	2,131	69	3,666	610	6,710
		午後	755	136	314	1,382	24	2,611		
		夜間	8	70	251	0	104	433		
	和室	午前	174	3,802	863	698	19	5,556	508	9,095
		午後	640	574	966	898	45	3,123		
		夜間	31	0	375	0	10	416		
	ボランティア室	午前	0	0	676	0	0	676	259	1,160
		午後	0	0	484	0	0	484		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
機能回復訓練室	午前	600	1,419	0	0	0	2,019	579	2,532	
	午後	20	491	0	2	0	513			
	夜間	0	0	0	0	0	0			
2階	会議室	午前	2,871	1,601	952	624	0	6,048	587	14,343
		午後	1,144	3,018	1,066	2,136	119	7,483		
		夜間	266	0	379	167	0	812		
	小会議室	午前	950	157	406	360	61	1,934	539	3,877
		午後	289	58	496	870	0	1,713		
		夜間	3	0	152	45	30	230		
	教養娯楽室	午前	872	0	0	0	0	872	307	1,930
		午後	1,058	0	0	0	0	1,058		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	創作室	午前	43	150	900	69	0	1,162	349	2,013
		午後	195	20	421	193	0	829		
		夜間	2	0	18	2	0	22		
	技能習得室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
児童センター	午前	0	10,439	0	0	0	10,439	293	13,546	
	午後	0	3,107	0	0	0	3,107			
3階	保育室	午前	897	1,037	0	2,644	0	4,578	312	8,264
		午後	391	550	0	2,745	0	3,686		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	調理実習室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
	集會会議室	午前	1,580	227	403	1,629	59	3,898	518	8,185
午後		367	45	429	2,958	30	3,829			
夜間		27	0	308	30	93	458			

	健康相談室	午前	0	0	0	2,497	0	2,497	406	5,473
		午後	0	0	0	2,976	0	2,976		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	栄養指導室	午前	122	0	199	1,797	24	2,142	393	5,181
		午後	91	0	42	2,518	7	2,658		
		夜間	0	0	378	3	0	381		
	保健指導室	午前	0	0	0	2,457	0	2,457	402	5,450
		午後	0	0	0	2,993	0	2,993		
	4階	集団指導室	午前	0	0	0	0	0	0	0
午後			0	0	0	0	0	0		
夜間			0	0	0	0	0	0		
会議室		午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
大会議室		午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
共有	全館	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
	1Fロビー	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
合計			13,755	27,440	11,046	34,824	694	87,759	6,062	87,759

※毎日、福祉センター館内の消毒作業を行い、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた。

(2) 向島福祉支援センター（愛あいセンター）の管理

愛あいセンター使用状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

室名等	利用件数（件）	利用人数（人）
第1会議室	77	302
第2会議室	181	3,954
第3会議室	118	888
ロビー	30	293
ひまわり	30	521
コチョウラン	19	44
コスモス	27	150
カーネーション	45	267
はなみずき	50	245
アーモンド	53	339
相談室	163	340
合計	793	7,343

(3) 因島総合福祉保健センターの管理

因島総合福祉保健センター使用状況 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

室名	利用件数(件)	利用人数(人)
調理室・和室	143	2,523
プレイルーム	93	983
相談室	129	718
会議室	188	2,693
合計	553	6,917

11. 尾道市総合福祉センター事業

(1) 障害者福祉センター事業

市内在住の障害者手帳(身体、療育、精神)を持つ人を対象に、障害者福祉センター事業として各種の教室、講座を開催した。

平日の教室は、主として身体・精神の障害者への外出支援と社会参加の促進、リハビリに役立つ講座や場の提供を、土・日曜日の教室は、知的障害者の安心安全な居場所と、仲間づくりに役立つ教室を開催した。安定して教室等に参加する障害者同士の交流が深まり、身体のリハビリだけでなく生活に張りが出て、他行事への参加意欲にも繋がっている様子が伺えた。昨年度と同様に今年度も、福祉センターが新型コロナウイルスのワクチンの接種会場となり、1階作業室・3階調理実習室・4階フロアが使用できなかった。コロナの流行前に開催していた料理教室「あったかクッキング」「チャレンジクッキング」の再開を希望する声が多かったが、今年度も代替の教室で開催した。

スポーツ教室「スポーツを楽しもう」では「ボッチャ」「カローリング」を開催し、体を動かしながら頭の体操にもなって爽快感を楽しんだ。新規の参加者も加わり、顔なじみになり利用者間の和が広がっている。他の教室にも参加するなどの効果が見られた。介助ボランティアの資質や人数を充実するために「介助ボランティア養成講座」を2年振りに開催した。新規受講者向けと現在活動中のどんぐりの会会員向けにスキルアップを図れるよう配慮した講座内容で行った。新規受講者は熱心に受講し、数人がどんぐりの会に入会することとなり、引き続き連携していく。知的障害者のための習字教室「ふでふで工房」では今年度も市役所での作品展を開催した。たくさんの方に1年間の成果を見てもらい、寄せ書きに励ましの言葉や作品展を見た恩師から連絡があった参加者もいるなど達成感を味わった。

引き続き、障害者に寄り添い、安心・安全に教室を開催し、日頃から気軽に相談などができる関係を築けるよう努める。

障害者福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能訓練	日常生活動作、歩行訓練	289回	(障害者) 428名
	あったかタイム	2回	16名

IT総合推進事業	パソコン入門	47回	310名
芸術文化講座	ふでふで工房（知的障害者のための習字クラブ）	12回	130名
本人支援事業	チャレンジタイム	10回	106名
	はーとらんど	9回	67名
社会参加活動	うたの花束	9回	71名
	つどい	3回	30名
スポーツを楽しもう	かるやか水中ウォーク 中止	0回	0名
	スポーツ吹き矢 中止	0回	0名
	ボッチャ	7回	90名
	カローリング	1回	12名
更生相談	福祉生活相談	3回	4名
創作・趣味活動	楽しむハーモニカ	12回	100名
	交流会「まんまるの会」	1回	21名
	介助ボランティア養成講座	3回	64名
同好会	友遊パソコン	45回	213名
	栗クラブパソコン	39回	242名
	習字同好会	17回	63名

（２）老人福祉センター事業

市内在住の60歳以上の方を対象に体力の維持・増進、生きがいや仲間づくり、出かけるきっかけづくりを目的に各種教室や行事を企画・実施した。

前年度は教室休止が幾度となく繰り返されたが、今年度は感染拡大があったものの、1年を通して教室開催ができた。しかし、福祉センターが新型コロナウイルスワクチン接種会場となり、開催できる会場が限られた。

高齢者は長引くコロナ禍の外出制限で体操する機会や人と会う機会が減り活動意欲の低下や、フレイルや認知症の進行など健康状態の悪化などの課題が見つかった。そのことを受け、外出支援や社会参加の促進、活動の場や人との交流の場になる教室を提供した。

コロナ禍3年目になっても新型コロナウイルス感染症の広がりほとどまることはなく毎日不安に感じる方も少なくなかったが、体操や脳を刺激する脳トレ教室、歌を唱う教室など様々な教室を企画し、感染対策を講じてフレイル予防、介護予防・認知症予防のために多くの利用者が利用された。その中でも体操の教室は、コロナに負けない身体づくりになると言って熱心に参加される方が多かった。

男性の外出支援では、「男のストレッチ」を開催、出かけることが億劫な男性が気兼ねなく集まれる雰囲気づくりをし、交流を深め体操に励んだ。「囲碁・将棋クラブ」は毎週水曜を開催日とし、共通の娯楽を楽しむ大事な居場所となり、認知症の改善にもなった。さらに囲碁に数名の女性も加わり意欲的に知の競技を学ぶ姿が見られた。「うたを楽しもう」音楽療法では、童謡・唱歌・懐かしの歌謡曲など幅広いジャンルの曲を生伴奏に合わせて楽しそうにリズムを取りながら手拍子や身体を揺らして歌った。曲が作られた時代や背景、作詞家や作曲家が込めた思いなどを知り、あの頃の感情を再び蘇らす回想法の効果もあった。歌うことで免疫力向上、口腔機能の維持など健康面で様々な効果をもたらし、音楽を通してリラ

ックス効果や不安やストレスの軽減に繋げた。他では多様化するニーズにも応え、「春のリースづくり」・「正月飾り」など創作活動も行った。指先を使うことで脳を活性化させるとともに、趣味を通して生きがいや完成という達成感が味わえたと好評だった。

毎年の恒例行事になりつつある高齢者と子ども、親が触れ合う三世代交流「V S 夏&盆踊り」は、いろいろなゲームを手作りで準備し、世代を超えて盛り上がり、良い思い出づくりになったと喜ばれ、次年度も引き続き多世代が交流できる内容を検討していく。

高齢者は感染リスクが高く外出を控える方もいたが、健康維持のため多くの方が教室を求めて積極的に活用された。さらに開催曜日を決めて教室を行うことで生活リズムが付き、曜日感覚の乱れも防いだ。毎回、仲間と体操に励んだり、歌を唄ったりして楽しい時間を共有し合い、他者とつながりを持つことに生きがいを見出し、友だちの輪を広げる機会になった。

新たな日常においても、高齢者が健康な状態を維持できるよう介護予防・フレイル予防(運動・栄養と口腔・社会参加)、遅発性障害の予防など健康寿命を延伸する取り組みを引き続き実施していく。

老人福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能回復訓練事業	機能回復訓練	289回	1,909名
一人暮らし高齢者に対する事業	むつみ会	10回	212名
男性の自立支援事業	囲碁・将棋クラブ	52回	1,959名
	男のストレッチ	21回	570名
音楽療法	うたを楽しもう	40回	1,041名
啓発事業	心を癒すヨーガ	2回	58名
	健康年齢を上げる呼吸法と体操	6回	190名
	クリスマス☆コンサート	1回	57名
	脳もいきいき	22回	787名
	心も身体も温まるハンドマッサージ	2回	27名
創作・趣味活動	切り絵を作ろう(蝶)	1回	24名
	着物帯で壁飾り	1回	7名
	春のリース	1回	15名
	正月飾りを作ろう	1回	30名
	小物づくり	1回	13名
	スクラッチ	1回	11名
心と体の健康づくり事業	うたごえ体操	44回	1,197名
	ここからケア	12回	175名
	ぽかぽか体操	22回	650名
	じんわりストレッチ	22回	575名
三世代交流	V S 夏&盆踊り	2回	117名
同好会	絵手紙同好会	12回	160名
	クッキング同好会	休止	0名
	男の手料理同好会(火・水コース)	休止	0名

(3) 児童センター事業

今年度も引き続き1日の開館時間を3回に区切り、利用制限の措置を実施した。予約なしで自由来館できることが利用者から大変喜ばれた。換気や玩具の消毒、検温、手指消毒等を徹底し、安心・安全に遊べるように配慮した。

主に小・中学生を対象とした健康・体力増進・情緒育成・創作意欲を育てる目的の教室や行事を開催した。日常的な遊びの中で子どもたちは、友人や地域の方達とカプラ・ボードゲーム・すごろく・トランプなどのアナログな遊びで時間を共有した。一輪車や卓球、竹馬などの体を使った遊び、コマ回し・けん玉などの昔遊びを通して交流が生まれていた。

初開催の三世代交流「卓球大会」では、地域の方と繋がり親睦を深めた。卓球の礼儀やルール知識を高め、様々な年代の方と真剣勝負することによる交流を図った。

また、四季折々の工作・歳時記体験でゆかたの着付け・しめ縄作り・茶道なども行い、日本の伝統文化に親しんだ。その中でも華道は定例の教室に加え、発表の場を設け、多くの方に観てもらい、褒めてもらう事で自信や達成感に繋がった。そして、平日の午前中の時間を利用した子育て支援事業「あーと・らぼ」では、子どもの体験だけではなく、親もリフレッシュやストレス発散できる活動を取り入れ、親子で絆を深める支援を行った。

保護者の子育ての不安や日常生活に寄り添うことで、安心して子育てができる場所、信頼できる関係性を結んだ。子どもの遊びの拠点・居場所となり、子どもの活動の様子から必要に応じた機能や役割の充実と関係機関との連携を密にし、適切に対応することができた。

今後も世代、年齢、立場を超え、複合施設の利点を生かし地域ボランティアの方々との連携を図りながら、いかに子どもたちと関わるかを最優先にし、実施できることに一つ一つ取り組む。「あそび」を通して体験・発見・喜び・悔しさなどを体験し、家族や友だちと人間関係を築き、ルールやマナーなどの社会性を育てて逞しく生きていく学ぶ場を提供し、子どもたちの健全育成を継続していく。

児童センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
子育て支援事業	えほん・よみかたり	24回	235名
	あーと・らぼ	31回	404名
	親子あそび(ぬりえ・ままごと・知育玩具)	293回	9,237名
児童・生徒の健康・体力に関すること	卓球	220回	2,251名
	一輪車	154回	533名
	竹馬	147回	545名
	カプラ	109回	505名
	けん玉教室・けん玉	191回	963名
	ボードゲーム (オセロ・人生ゲーム・カロム・将棋)	287回	5,728名
	コマ	130回	577名
	ねころびシアター	60回	561名
他学年・他校との交流	子どもいけばな教室	10回	369名
	新年おたのしみ会	1回	77名
	カプラであそぼ～	2回	60名
	夏休みチャレンジ教室	5回	90名

	世界のボードゲームであそぼ～!	10回	215名
三世代交流	新年おたのしみ会	1回	77名
	卓球大会	1回	24名
健全な情緒育成に関すること	ワクワクお化け屋敷	4回	75名
	コンサート(クリスマス・七夕)	2回	60名
	家族がチームになるアイデア部屋作り	1回	7名
	けん玉大会	0回	0名

年間登録者数

小学校	中学校	高校生	乳幼児	合計
463名 (324)	112名 (90)	11名 (22)	652名 (866)	1,238名 (1,302)

* () 内は前年度

① 防犯・不審者対策について

子どもたちへ不審者対処法を指導した。他の職員に定期的に見回りしてもらった。
また、毎月1回、災害や火災の想定で避難訓練を実施した。

② 安全対策について

点検チェック表を作成し、蛍光灯、おもちゃ、本棚、カーテン、机、イス、ベッド、遊具などを定期的に点検した。

③ 相談や要配慮児童への対応

相談に応じるときは、常に子ども・子育て家庭の置かれている状況や緊急性・重要度に注意し、関係機関との連携を密にした。また、要配慮児童については土・日曜日、長期休暇の様子を注視し、職員間での対応の仕方、言葉掛けなどに留意したほか、学校や地域、各関係機関と連携を図った。

(4) 母子・父子福祉センター事業

ひとり親(母子・父子)家庭及び寡婦の方々、乳幼児の親子を対象に、就労支援事業や子育て支援講座を通して福祉の向上に努めた。就労支援講座として、医療事務講座・簿記入門講座・日商簿記3級検定対策講座・パソコン教室を開催した。今年度は医事コンピュータ講座と調剤薬局事務講座も企画していたが、受講生が集まらず開講できなかった。他の講座は開講したが全体的に参加受講人数は少なかった。その分一人ひとりに目が行き届き、丁寧な指導を受けることができた。また、前回受講生が集まらず個別対応したパソコン教室は、今回は5名揃い福祉センターで開催した。回数を重ねるたびに講師を交え親しくなり、勉強だけでなくいい交流が図れた。

また、今年度から就職活動時の託児を設けた。子育て支援課からの紹介で5件の託児を行った。ハローワークでの面談や面接を集中して受けることができたことと好評だった。

子育て支援事業としては、おやこタイム・おやこ広場を開催し、乳幼児の親子の子育て支援に力を入れた。4カ月健診後のおやこタイムでは、同じ月齢の子を持つ父・母達が集まり、子育ての楽しさや悩みを共有している。コロナ禍でも他の親子とのつながりを求める母達が積極的に参加している。父親の参加も増え、主体的に子育てに関わっている様子

が伺える。少子化の影響で参加人数自体は減少しているが、少人数は一つの輪になりやすく、全体的に落ち着いて交流できている。おやこ広場ではゆったりと遊びながら、親子の時間を過ごしている。毎週続けて来る方が多く、安心して楽しく遊べる場所になっている。離乳食や卒乳の話、また保育所選びや手続きなど、いい情報交換の場になっている。

ひとり親家庭の親子交流会は、今年度は6回の開催となった。パステルアートや陶芸、多肉植物の寄せ植えなど、幅広い内容の交流会を開催した。男の子の参加もあり、集中して作品作りに取り組んでいた。続けて参加する方が増えて顔なじみになり、笑顔で挨拶する様子が見られた。

また、昨年度好評だった児童センター・b & g尾道との合同企画のお化け屋敷を今年度も開催した。2日にわたって行い、150名以上の参加があった。父親の参加も多く、家族揃って楽しんでいた。一組ずつ進むので密にならず、コロナ禍でも安心して参加することができた。

母子・父子福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
就労支援事業	パソコン教室（入門編）	10回	47名
	医療事務講座	21回	120名
	簿記入門講座	10回	45名
	日商簿記3級検定対策講座	10回	40名
	託児	5回	7名
子育て支援	おやこタイム	43回	937名
	おやこ広場	43回	412名
	ひとり親家庭の親子交流会	6回	70名
その他	特別企画「ワクワクお化け屋敷」	2回	153名

（5）福祉センター事業「よりあい広場」

障害者、高齢者の区別なく尾道市在住の方ならどなたでも参加できる「よりあい広場」を開催した。引き続き福祉センターが新型コロナウイルスワクチン接種会場となり、人数制限を設けて限られた会場での開催となった。新型コロナウイルス感染症の広がりがあったものの、基本的な感染対策を講じて教室を行った。どの企画も多くの市民から申し込みがあり人気の高さがうかがえた。更に申し込みが多かった企画は、対応できる範囲で定員の枠を増やした。音楽鑑賞や普段見る機会が無いフラダンス、初企画で陶芸も行った。2年ぶりに「たおるマジック」を企画すると、多くの市民が心待ちにされていた。物を制作する楽しさや達成感に加え、講師のユーモア溢れる話術に参加者の気持ちが高揚する様子が見られた。不安でいっぱいなコロナ禍ではあったが、一瞬でも市民の方に明るい気分になってもらえる時間を提供し喜んでいただけた。次年度も市民の方々を対象に楽しんでいただける講座を検討していく。

事業（よりあい広場）の内容

事業名	開催日	参加人数
いやしのハワイアン・フラ	6月30日（木）	58名
ひねろー陶芸～干支を作ろう～【兎】	10月9日（日）	31名
よみがえれ！中高年のフォークソング	11月20日（日）	63名
たおるマジック～干支の“ウサギ”を作ろう～	1月20日（金）	33名
『空』の演奏会	3月3日（金）	77名
合計		262名

12. 共同募金事業

各地区・自治会からの戸別募金をはじめ、尾道駅や店舗前での街頭募金、法人や学校・団体からの募金及び募金箱の設置などの募金活動を実施した。コロナ禍で活動が制限される中ではあったが、様々な工夫をしながら活動を展開し、募金実績額は前年度より増加した。

令和3年度募金実績による令和4年度配分金は、各地区社協やボランティア団体等へ還元し、地域福祉活動に役立てられた。

ア 監査・実施委員会会議の開催

- ・ 監査 5月27日（金）
- ・ 審査委員会会議 8月23日（火）
- ・ 運営委員会会議 9月20日（火）
- ・ 目標額と実績 令和4年度 [参考] 令和3年度

目標額	21,500,000円	目標額	21,500,000円
実績額	18,327,143円	実績額	18,202,195円

イ 募金実績の内訳 (単位：円)

地域名	旧尾道	御調	向島	因島	瀬戸田	合計
戸別	6,943,390	607,500	1,388,400	2,136,900	1,051,800	12,127,990
街頭	558,461	122,289	138,600	590,677	63,144	1,473,171
法人	1,311,110	251,500	484,000	138,000	320,000	2,504,610
学校	144,176	15,239	22,208	19,611	17,322	218,556
職域	1,026,704	125,653	123,257	335,046	392,156	2,002,816
合計	9,983,841	1,122,181	2,156,465	3,220,234	1,844,422	18,327,143

ウ 令和4年度配分実績（令和3年度の募金を、令和4年度の事業費として活用）

- 1 地区社協に配分 (63地区社協) 5,773,600円
 - (1) 募金実績助成金 (3,495,600円)
 - (2) 自主事業助成金 (2,278,000円)
- 2 ボランティア・福祉団体等に配分 1,432,000円
 - (1) ボランティア・福祉団体助成金
 - 手話・朗読・点字・介助・読み語りボランティア団体等 28団体
 - (2) 当事者団体助成金
 - 尾道市老人クラブ連合会、身体障害者福祉連合会等 11団体
 - (3) 地域福祉団体助成金
 - 尾道市連合民生委員児童委員協議会、因島地区区長連合会 2団体
- 3 市社協事業費に配分 3,036,595円
 - 福祉総合相談、福祉まつり、福祉教育、ボランティア養成、子育て支援、ふれあいサロンの6事業
- 4 広島県共同募金会より県内の福祉活動に配分 7,960,000円

13. 災害支援事業

(1) 被災者生活サポートボラネット推進事業

災害時において迅速な連携のもと被災者支援が行えるよう、会議や勉強会の開催、マニュアル改正等の取り組みを行った。

また、災害時における尾道市内の企業との連携強化につなげるため、尾道地区ライオンズクラブと災害協定を締結した。

《会議・勉強会》

開催日	場 所	内 容	参加者
12月5日(月)	総合福祉センター	「マニュアル改定ワーキング会議」 ・尾道地区ライオンズクラブ協定に伴う マニュアル修正について ・勉強会の内容協議	6名
2月15日(水)	総合福祉センター	「尾道市被災者生活サポートボラネット 推進会議」 ・尾道市被災者生活サポートボラネット 推進マニュアルと設置要綱の改正 ・勉強会「日常のつながりこそ減災力」 講師：NPO 法人さくらネット 代表理事 石井 布紀子さん	13名

《尾道地区ライオンズクラブとの災害協定締結》

6月22日締結(4団体)

- ・尾道ライオンズクラブ
- ・尾道因島ライオンズクラブ
- ・尾道瑠璃ライオンズクラブ
- ・尾道御調ライオンズクラブ

12月16日締結(1団体)

- ・尾道向島ライオンズクラブ

14. 地域包括支援センター事業

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、感染に対する不安から地域での活動制限や縮小を余儀なくされたが、「つながり」を維持し、取組を絶やさないようにするため、換気や十分な距離を保つなどの基本的な感染対策を行い、職員9人体制で、介護予防支援及び包括的支援事業（介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）、介護予防普及啓発事業、介護予防把握事業、認知症地域支援・ケア向上事業を実施した。

(1) 総合相談・支援業務

相談内容														
	認知症	高齢者虐待	権利擁護	困難事例	入退院時連携	入院入所支援	介護保険	総合事業	一般介護予防	精神	社会資源等	介護離職防止	その他	計
実件数	109	17	17	95	71	41	602	88	56	19	28	3	45	1,191
延件数	292	59	54	248	229	90	1,391	154	98	61	55	7	119	2,857
区域外	1	0	1	0	0	1	5	0	0	0	0	0	1	9

(2) 介護プラン作成件数（延べ） 4,904件

介護予防		総合事業	
直営作成	1,864件	直営作成	1,627件
委託作成	815件	委託作成	598件
合計	2,679件	合計	2,225件

(3) 介護予防普及啓発事業

月 日	事業	参加者数
4月6日(水)	平原はつらつサロン「タオル体操」 講師：兼長亜実 住田八重	18名
4月21日(木)	シルバーリハビリ吉浦教室「口腔体操」「脳トレ体操」 講師：兼長亜実 土橋健太郎	16名
4月27日(水)	いきいきサロン新浜「フレイル予防について」「予防体操」 講師：兼長亜実 小林雅子	8名
5月16日(月)	門田ほほえみサロン「熱中症予防について」 「介護保険制度について」「詐欺について」 講師：兼長亜実 有元 愛 小林雅子	38名
5月18日(水)	平原台ぽかぽかサロン「熱中症予防について」 講師：野田知子 兼長亜実 土橋健太郎	10名
5月18日(水)	ふれあいサロン吉和「熱中症予防について」 講師：野田知子 有元 愛	17名
5月26日(木)	シルバーリハビリ西部地区定例会「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	15名
6月1日(水)	第4区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：住田八重 吉國陽子	23名

6月2日(木)	平原はつらつサロン「熱中症予防について」 講師：兼長亜実	15名
6月2日(木)	第9区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 小林雅子	13名
6月3日(金)	老人センターうたごえ体操「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	45名
6月6日(月)	第10区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：赤瀬真由美 楠千賀子	9名
6月6日(月)	ふれあいサロンもみじ「成年後見制度について」 「エンディングノートについて」 講師：赤瀬真由美 小林雅子	23名
6月7日(火)	第3区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：野田知子 土橋健太郎	27名
6月8日(水)	老人センター男のストレッチ「熱中症予防について」 講師：兼長亜実	24名
6月9日(木)	川上さくらんぼ会「熱中症予防について」 「フレイル予防について」「消費者被害について」 講師：兼長亜実 有元 愛 赤瀬真由美	10名
6月16日(木)	老人センターむつみ会「熱中症・食中毒予防について」「フレイル予防について」「頭と体の体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	20名
6月17日(金)	老人センターうたごえ体操「熱中症予防について」 講師：兼長亜実	64名
6月21日(火)	福寿会「認知症を知ろう」 講師：住田八重 楠千賀子 吉國陽子	20名
7月6日(水)	尾道健志塾「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	20名
7月8日(金)	吉浦さくらクラブ「熱中症予防について」「フレイル予防について」「ACPについて」「生活支援体制整備事業について」 講師：兼長亜実 有元 愛 尾道市社会福祉協議会 西部圏域生活支援コーディネーター 柏原有利菜	26名
7月9日(土)	ふれあいサロンぼたん「認知症について」「フレイル予防について」「地域包括支援センターの紹介」「予防体操」 講師：兼長亜実 住田八重 尾道市地域包括支援センター 小郷園子さん	23名
7月19日(火)	福寿会「熱中症予防について」「社協事業について」 講師：野田知子 土橋健太郎 尾道市社会福祉協議会 くらしサポートセンター 藤本里沙 木本 凌 西部圏域生活支援コーディネーター 柏原有利菜	16名
7月21日(木)	シルバーリハビリ吉浦教室「食中毒について」「栄養について」 「脳トレ体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	13名
7月21日(木)	高頭ふれあいサロン「熱中症予防について」「ACP・エンディングノートについて」「消費者被害について」「予防体操」 講師：兼長亜実 楠千賀子	11名
8月10日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友「熱中症予防・口腔ケアについて」 講師：野田知子	23名

9月20日(火)	モリング「地域包括支援センターの紹介」「終活について」 講師：楠千賀子 土橋健太郎	12名
9月28日(水)	平原台ぼかぼかサロン「コグニサイズ」「予防体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	8名
11月1日(火)	第3区民生委員・児童委員定例会「インフルエンザ予防について」 講師：野田知子 土橋健太郎	26名
11月2日(水)	第4区民生委員・児童委員定例会「インフルエンザ予防について」 講師：住田八重 吉國陽子	21名
11月7日(月)	第10区民生委員・児童委員定例会「インフルエンザ予防について」 講師：赤瀬真由美 楠千賀子	7名
11月9日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友「インフルエンザ予防について」 講師：吉國陽子 楠千賀子	22名
11月15日(火)	福寿会「インフルエンザ予防について」 「衛生的な手洗いの実践」「頭と体の体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	19名
11月16日(水)	尾道健志塾「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実	20名
11月17日(木)	老人センターむつみ会「インフルエンザ予防について」 「フレイル予防について」「予防体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	17名
11月24日(木)	シルバーリハビリ西部地区定例会「インフルエンザ予防について」 講師：有元 愛	25名
11月30日(水)	男のストレッチ「インフルエンザ予防について」 講師：有元 愛	25名
1月26日(木)	竹屋ほほえみサロン「消費者被害について」 講師：小林雅子 土橋健太郎	14名
2月8日(水)	平原はつらつサロン「インフルエンザ予防について」 「フレイル予防について」「予防体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	11名
2月14日(火)	いきいきサロンひまわり「インフルエンザ予防について」 「オーラルフレイルについて」「予防体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	11名
2月17日(金)	則末ふれあいサロン「ACP・終活について」 講師：兼長亜実 赤瀬真由美	25名
3月1日(水)	尾道健志塾「心と体の健康を保つためのポイント」 講師：兼長亜実 有元 愛	20名
3月16日(木)	シルバーリハビリ吉浦教室「コグニサイズ」「予防体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	13名
3月22日(水)	平原台ぼかぼかサロン「コグニサイズ」「脳トレ体操」 講師：有元 愛	11名

(4) 地域活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月5日(火)	第3区民協定例会	新年度挨拶・介護保険の申請について	30名

4月6日(水)	第4区民協定例会	新年度挨拶・介護保険の申請について	22名
4月7日(木)	第9区民協定例会	包括職員自己紹介・尾道市の人事異動について	14名
5月6日(金)	第10区民協定例会	令和4年度のオレンジカフェの開催について	13名
5月10日(火)	第3区民協定例会	オレンジカフェの案内・介護予防講演会	28名
5月11日(水)	第4区民協定例会	介護予防講演会について	25名
6月1日(水)	第4区民協定例会	熱中症予防について	22名
6月2日(木)	第9区民協定例会	オレンジカフェの案内・熱中症について	13名
6月6日(月)	第10区民協定例会	熱中症について	12名
6月7日(火)	第3区民協定例会	高齢者がペットを飼う時の注意点	29名
6月28日(火)	ねんりんほうす運営会議	利用者の状況について	8名
7月4日(月)	第10区民協定例会	家族介護者支援会について	13名
7月5日(火)	第3区民協定例会	なんでも相談会について	29名
7月6日(水)	第4区民協定例会	なんでも相談会について	24名
7月7日(木)	第9区民協定例会	尾道市社会福祉協議会 事業説明	12名
7月15日(金)	介護予防一体化事業	吉和さわやか大学 栄養・体調について	54名
8月1日(月)	第10区民協定例会	後期高齢者医療制度について	12名
8月2日(火)	第3区民協定例会	後期高齢者医療制度について	29名
9月28日(水)	にしぎこの家運営会議	コロナウイルス感染症の発生状況について	7名
10月3日(月)	第10区民協定例会	詐欺被害防止の啓発	30名
10月4日(火)	第3区民協定例会	認知症ガイドブックについて	30名
10月5日(水)	第4区民協定例会	在宅介護者の集いについて	23名
10月6日(木)	第9区民協定例会	認知症ガイドブックについて	14名
10月24日(月)	ねんりんほうす運営会議	コロナウイルス感染予防対策について	8名
11月1日(火)	第3区民協定例会	インフルエンザ予防について	28名
11月2日(水)	第4区民協定例会	ふれあいサービスの紹介	23名
11月7日(月)	第10区民協定例会	インフルエンザ予防について	11名
11月18日(金)	介護予防一体化事業	吉和さわやか大学 栄養・健康面へのアドバイス	48名
11月26日(土)	栗原・久山田地区社会福祉協議会敬老会反省会	生活支援体制整備事業について	32名

12月1日(木)	第9区民協定例会	認知症にやさしいまちづくり講演会について	15名
12月6日(火)	第3区民協定例会	認知症にやさしいまちづくり講演会について	27名
12月7日(水)	第4区民協定例会	認知症にやさしいまちづくり講演会について	23名
12月11日(日)	栗原本通り町内会	地域の見守りについて	12名
1月5日(木)	第9区民協定例会	インフルエンザ予防について	15名
1月6日(金)	第10区民協定例会	在宅介護者の集いについて	12名
1月6日(金)	第3区民協定例会	在宅介護者の集い・オレンジカフェについて	32名
1月25日(水)	にしぎこの家運営会議	小規模多機能・グループホームの外部評価について	8名
2月1日(水)	第4区民協定例会	「市民のためのがん最前線」講演会について	24名
2月2日(木)	第9区民協定例会	在宅介護者の集いについて	16名
2月6日(月)	第10区民協定例会	終活のススメ	12名
2月7日(火)	第3区民協定例会	なんでも相談会の案内	30名
2月27日(月)	ねんりんはうす運営会議	身体拘束・高齢者虐待防止の取り組みについて	9名
3月1日(水)	第4区民協定例会	避難行動要支援者支援事業について	22名
3月2日(木)	第9区民協定例会	避難行動要支援者支援事業について	16名
3月6日(月)	第10区民協定例会	避難行動要支援者支援事業について	10名
3月7日(火)	第3区民協定例会	避難行動要支援者支援事業について	29名
3月14日(火)	令和4年度小地域ネットワーク活動実践報告会	「さりげない見守り～持続可能な体制づくり～」報告者：木頃地区社会福祉協議会会長田淵達夫さん他	54名
3月29日(水)	にしぎこの家運営会議	事業所の運営状況について	6名

(5) 認知症地域支援推進員の活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月5日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名
4月7日(木)	個別支援会議	今後の支援方法及び関わり方について	6名
4月7日(木)	個別支援会議	関係機関との情報共有と連携について	7名

4月13日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	22名
4月19日(火)	個別支援会議	状況確認と今後の支援方法について	4名
4月23日(土)	グループホームねんりんはうす運営推進会議	コロナ対策について	6名
4月26日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について	23名
5月6日(金)	個別支援会議	関係機関との情報共有及び連携について	5名
5月11日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	24名
5月25日(水)	個別支援会議	現状確認と支援方法について	9名
5月26日(木)	個別支援会議	現状確認と支援方法について	10名
5月31日(火)	チームオレンジについて会議	今後の研修の仕方や立ち上げ方について	7名
6月7日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	9名
6月8日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	23名
6月17日(金)	イオンなんでも相談会について	相談会立ち上げについて	6名
6月21日(火)	介護予防事業	福寿会「認知症を知ろう！」講演	20名
6月28日(火)	グループホームねんりんはうす運営推進会議	熱中症について 認知症の人の対応について	8名
6月28日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について	22名
6月30日(木)	個別支援会議	サービス提供の確認及び今後の対応について	9名
7月4日(月)	認知症講座打ち合わせ	銀行行員に対しての認知症勉強会開催について	6名
7月5日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	7名
7月9日(土)	介護予防事業	ふれあいサロンぼたん「認知症について」講話	23名
7月13日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	29名
7月13日(水)	個別支援会議	認知症初期集中支援チーム導入について	6名
7月22日(金)	認知症講座	銀行行員対象講座 「認知症について・認知症の対応について」	11名
7月27日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
8月2日(火)	認知症について啓発活動	郵便局へ認知症啓発事業について説明	4名

8月2日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名
8月4日(木)	個別支援会議	利用者の現状と今後の支援について	9名
8月10日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	19名
8月22日(月)	認知症について啓発活動	アルツハイマーデー月間普及啓発・パネル展示について	4名
8月23日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について	26名
8月24日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
8月30日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	9名
9月5日(月)	認知症について啓発活動	アルツハイマーデー月間普及啓発・パネル展示について	5名
9月5日(月)	福祉まつり打ち合わせ	高齢者(認知症)相談会について	20名
9月14日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	20名
9月28日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	3名
9月28日(水)	星の里・にしぎこの家運営推進会議	災害時の対応について 地域とのかかわりについて	7名
9月29日(木)	個別支援会議	現状確認と今後の支援方法について	5名
10月4日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名
10月12日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	22名
10月13日(木)	個別支援会議	関係機関等と状況共有について	9名
10月16日(日)	おのみち福祉まつり	高齢者(認知症)相談会	5名
10月25日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について	26名
10月26日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	5名
11月1日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	7名
11月4日(金)	個別支援会議	現状確認と退院後の生活について	7名
11月9日(水)	個別支援会議	状態確認と各種支援申請及び今後の生活について	7名
11月9日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	27名
11月24日(木)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
12月6日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名

12月7日(水)	認知症見守り訓練	尾道福祉専門学校で見守り訓練実施	47名
12月14日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	34名
12月15日(木)	認知症講演会	認知症にやさしいまちづくり講演会 認知症疾患医療センターの活動について	85名
12月20日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について	20名
1月11日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	25名
1月24日(火)	個別支援会議	成年後見制度等について	9名
1月25日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
1月25日(水)	星の里・にしぎこの家運営推進会議	事業所外部評価実施	8名
1月31日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名
2月8日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	25名
2月13日(月)	チームオレンジについて勉強会	チームオレンジの設置について	18名
2月22日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	5名
2月28日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について	30名
3月6日(月)	オレンジカフェ連絡会(講演会)	講演会「認知症を理解し地域で支え合うために」～認知症カフェの役割について～ 講師：認知症介護研究・研修仙台センター研修部長 東北福祉大学総合福祉学部准教授 矢吹知之さん	156名
3月7日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名
3月8日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	36名
3月14日(火)	個別支援会議	サービス内容の見直し検討	7名
3月22日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	5名
3月29日(水)	星の里・にしぎこの家運営推進会議	事業所外部評価報告	7名

(6) 包括支援センター担当者会議

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月11日(月)	権利擁護部会	令和4年度の目標について	16名
4月14日(木)	介護予防・生活支援部会	令和4年度重点課題について	19名

4月15日(金)	認知症施策推進部会	令和4年度の活動目標について	16名
4月19日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	令和4年度の活動目標と計画について	15名
4月21日(木)	管理者会議	地域包括ケアシステム自己評価について	15名
5月13日(金)	権利擁護部会	高齢者虐待研修について	16名
5月20日(金)	認知症施策推進部会	認知症パネル展について	16名
5月23日(月)	介護予防・生活支援部会	地域課題集約シートについて	17名
5月23日(月)	管理者会議	運営協議会について	13名
5月24日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	障害から介護保険移行手続きのチラシ・フローチャートについて	16名
6月9日(木)	介護予防・生活支援部会	協議体について	19名
6月10日(金)	権利擁護部会	虐待マニュアル見直しについて	16名
6月16日(木)	管理者会議	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について	11名
6月20日(月)	認知症施策推進部会	初期集中支援チーム検討委員会について	17名
6月21日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	障害福祉から介護保険への移行の協議・新体制について	18名
6月27日(月)	尾道市より介護予防一体化事業について	北部圏域での介護予防一体化事業の実施報告について	40名
7月8日(金)	権利擁護部会	研修会と担当者会議の合同開催について	16名
7月8日(金)	介護予防・生活支援部会	地域課題集約シートについて	15名
7月13日(水)	尾道市内包括担当者会議	障害から介護保険移行に向けての支援体制・連携について	37名
7月19日(火)	認知症施策推進部会	認知症ガイドブックについて	16名
7月19日(火)	広島県東部認知症疾患医療センターと認知症施策推進部会連携会議	認知症疾患がある方の相談の仕方について	16名
7月21日(木)	管理者会議	各圏域での自立支援型地域ケア会議開催について	8名
8月12日(金)	権利擁護部会	高齢者虐待研修について	15名
8月12日(金)	介護予防・生活支援部会	地域ケア個別会議分類表について	15名
8月16日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	介護予防一体的実施事業「多重服薬高齢者への通知」について	17名
8月17日(水)	管理者会議	介護予防一体化事業について	9名
8月18日(木)	権利擁護部会(臨時)	高齢者虐待研修の役割分担について	15名
8月18日(木)	認知症施策推進部会	アルツハイマーデー月間取り組みに関する調査について	17名

9月7日(水)	在宅医療・介護連携推進部会 第1回障害ワーキング会議	障害福祉制度の説明とフローチャート(移行支援)説明について	9名
9月8日(木)	介護予防・生活支援部会	生活支援体制整備事業について市HPの掲載について	16名
9月12日(月)	尾道市内包括担当者会議	高齢者虐待対応事例について意見交換会	38名
9月15日(木)	管理者会議	第9期介護保険計画について	10名
9月27日(火)	認知症施策推進部会	認知症講演会について	20名
10月12日(水)	在宅医療・介護連携推進部会 第2回障害ワーキング会議	障害福祉制度から介護保険へ移行するフローチャート研修について	7名
10月13日(木)	在宅医療・介護連携推進部会	ACPワーキンググループの活動経過について	16名
10月14日(金)	権利擁護部会	高齢者・障害者虐待情報交換会について	16名
10月14日(金)	介護予防・生活支援部会	地域ケア個別会議の「定義」について	19名
10月20日(木)	認知症施策推進部会	市内包括担当者会議について	18名
10月21日(金)	管理者会議	令和5年度の介護予防一体的事業実施のハイリスクアプローチについて	10名
11月11日(金)	権利擁護部会	広報へ掲載する記事について	16名
11月15日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	障害研修会の役割分担について	16名
11月15日(火)	在宅医療・介護連携推進部会 第3回障害ワーキング会議	障害福祉制度から介護保険へ移行するフローチャート研修内容について	9名
11月17日(木)	介護予防・生活支援部会	市内包括担当者会議について	18名
11月17日(木)	認知症施策推進部会	認知症講演会について	15名
11月18日(金)	管理者会議	令和5年度自立支援型地域ケア会議について	10名
12月9日(金)	権利擁護部会	ご遺族のための「おくやみ手続きハンドブック」について	16名
12月12日(月)	認知症施策推進部会	認知症カフェ連絡会について	20名
12月13日(火)	在宅医療・介護連携推進部会 第4回障害ワーキング会議	障害福祉制度から介護保険へ移行するフローチャート研修役割分担について	9名
12月19日(月)	介護予防・生活支援部会	地域課題に結び付きそうな事例について	12名
12月23日(金)	在宅医療・介護連携推進部会	障害福祉制度についての研修会～介護保険への移行に向けて～	15名
12月23日(金)	管理者会議	包括と短期集中事業所の意見交換会について	10名

1月12日(木)	介護予防・生活支援部会	担当者会議(地域課題に結び付きそうな事例)について	12名
1月13日(金)	権利擁護部会	つなぐテラス広島研修の振り返り	16名
1月16日(月)	管理者会議	地域課題について	10名
1月17日(火)	認知症施策推進部会	認知症講演会の振り返り	18名
1月23日(月)	尾道市内包括担当者会議	オレンジカフェ、チームオレンジについて	37名
1月27日(金)	在宅医療・介護連携推進部会	障害福祉制度についての研修会～介護保険への移行に向けて～の振り返り	13名
2月9日(木)	介護予防・生活支援部会	担当者会議の役割分担について	17名
2月10日(金)	権利擁護部会	つなぐテラス広島研修について	16名
2月13日(月)	認知症施策推進部会	チームオレンジ研修会について	17名
2月15日(水)	在宅医療・介護連携推進部会 第5回障害ワーキング会議	障害から介護保険への移行に関するQ&A作成について	8名
2月17日(金)	令和4年度尾道市短期集中 中型通所サービス事業合同意見交換会	短期集中型通所サービスの運営の仕方について	25名
2月24日(金)	管理者会議	今年度の成果と来年度の目標について	10名
2月27日(月)	在宅医療・介護連携推進部会	令和4年度の主な成果について	16名
3月10日(金)	権利擁護部会	令和4年度の目標と経過確認と令和5年度の取り組みについて	12名
3月13日(月)	尾道市内包括担当者会議	事例から探る「生活課題から地域課題へ」	38名
3月13日(月)	介護予防・生活支援部会	担当者会議振り返り	20名
3月15日(水)	認知症施策推進部会	尾道市認知症初期集中支援チーム員市内連絡会協議内容について	16名
3月16日(木)	管理者会議	介護予防ケアマネジメント追加契約について	10名
3月23日(木)	在宅医療・介護連携推進部会	令和4年度の成果と令和5年度の目標について	16名

※尾道市西部地域包括支援センター定期会議を毎月1回開催
西部圏域生活支援コーディネーターとの共同会議を毎月1回開催
在宅サービス課介護事業所会議に月1回出席

(7) 研修等

ア 尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催

月 日	内 容	参加者数
5月17日(火)	第234回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「ZOOM操作研修 第2弾」 講師：邑岡志保さん	3名
6月20日(月)	第235回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「令和4年度防災研修(災害支援リーダー養成研修伝達講習)」 講師：要垣内智子さん 村上友宏さん 江馬明美さん 邑岡志保さん 菅近憲文	3名
6月22日(水)	第24回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「循環器疾患の診断と治療」 講師：JA尾道総合病院 森島信行先生	4名
7月26日(火)	第236回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「援助職のための対人関係改善」 講師：公立みつぎ総合病院臨床心理士 野津 愛さん	3名
8月1日(月)	尾道市健康推進課研修会 「後期高齢者の服薬情報通知事業のお知らせ」	9名
8月19日(金)	第237回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「LIFEの基本的な知識の習得」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 越部恵美さん	2名
9月14日(水) 10月28日(金)	第238回・第239回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 主任介護支援専門員研修 「スーパービジョン型の事例検討を実践形式で学ぶ」 講師：訪問看護花の森管理者 東美奈子さん	3名
10月12日(水)	第25回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 福祉用具研修会「最新機器から是非知ってほしい便利な福祉用具」 講師：日本福祉用具協会広島ブロック事務局 角南琢磨さん	4名
11月25日(金)	第240回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 野中式事例検討会「精神疾患があり孤立し、ひきこもり傾向にある利用者支援を学ぶ」 講師：訪問看護花の森管理者 東美奈子さん	6名
1月13日(金)	広島県薬剤師会研修会「在宅医療推進に向けた研修会」 講師：広島県薬剤師会副会長 青野拓郎さん	3名
1月27日(金)	第241回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「尾道市ふれあい収集(資源物訪問戸別収集研修事業)」 講師：尾道市市民生活部清掃事務所長 作田 太さん 「尾道市社会福祉協議会の事業について」 講師：尾道市社会福祉協議会 地域福祉課 佐藤友亮 榎 麻美 くらしサポートセンター 高橋 望 藤本里沙	7名
2月15日(水)	尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「限定企画!施設ケアマネで繋がろう」意見交流会	1名
3月10日(金)	第242回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 看取り期おけるケアマネへの心構えと支援への助言・指導方法・ACPについて 講師：広島県看護協会居宅介護支援事業所「こい」所長 道法和江さん	1名
3月15日(水)	第26回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「精神疾患(認知症を含む)と対応」 講師：きやすクリニック院長 木保正彦先生	5名

イ 広島県・その他

月 日	内 容	参加者数
4月15日(金)	尾道市自立支援型地域ケア会議 「変形性膝関節症があっても、買い物や外出したい」 事例提供者：尾道市地域包括支援センター 河本れいかさん 「癌があっても家で自分のペースでできる運動を教えてください」 事例提供者：尾道市南部地域包括支援センター 戸田清貴さん	8名
4月24日(日)	全国若年性認知症家族会・支援者連絡協議会主催 「若年性認知症施策の方向性について」 講師：厚労省認知症施策地域介護推進課 谷内一夫さん	1名
5月30日(月)	地域包括ケアシステム初任者セミナー研修 「令和4年度地域づくり加速化事業について」 講師：中国四国厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課 課長補佐 吉原貞典さん	1名
6月～7月	広島県介護支援専門員更新研修 専門研修課程 I	1名
6月17日(金)	尾道市自立支援型地域ケア会議 「状態悪化していく病状のかかわり方や食事に関して助言がほしい」 事例提供者：尾道市向島地区包括支援センター 則清和美さん 「運動意欲向上や食事の減量について助言が欲しい」 事例提供者：尾道市北部地域包括支援センター 鎌倉光良さん	8名
6月30日(木)	「養護者による高齢者虐待対応の基本(実践編)」 講師：吉本律子さん 松谷恵子さん	1名
7月14日(木) 7月15日(金)	令和4年度認知症地域支援推進員研修 「地域の課題の整理と解消に向けた具体策の検討」 講師：永田久美子さん	1名
7月21日(木)	令和4年度市町等苦情処理ブロック別連絡会議 「国保連合会の苦情・相談の現状について」	1名
7月26日(火)	「生活支援コーディネーターの活動と包括・在宅の連携」 講師：一般社団法人コミュニティーネットハピネス代表理事 土屋幸巳さん	1名
7月29日(金)	令和4年度認知症セミナー「認知症を理解する」 講師：高知大学保健管理センター医学部分室准教授 上村直人先生	3名
8月4日(木) 8月5日(金)	令和4年度認知症地域支援推進員新任研修	1名
8月19日(金)	自立支援型地域ケア会議 「泌尿器の手術を控えているが、その後できる運動について アドバイスがほしい」 事例提供者：尾道市東部地域包括支援センター 下村恵梨子さん 「腰部脊椎間狭窄症の術後、勝手口の昇降が楽に行える方法 について」 事例提供者：尾道市西部地域包括支援センター 楠千賀子	8名
8月25日(木)	令和4年度ケアマネジメント向上研修 「ACPを考える上での医療・介護連携」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 越部恵美さん	1名

8月25日(木)	広島県地域包括・在宅介護支援センター現任研修 「8050問題の支援にあたっての理解と実践について」 講師：福山市社会福祉協議会障がい者基幹相談支援センター 相談支援員 川上峰子さん	1名
8月29日(月)	「健康寿命延伸のため知っておきたい整形外科的疾患・脊椎 椎体骨折」 講師：尾道市立市民病院副院長 廣岡孝彦先生	1名
9月12日(月)	高齢者虐待対応研修会 「高齢者虐待における法的視点からの支援ポイント」 講師：広島みらい法律事務所尾道支所 成廣貴子さん	6名
9月29日(木)	令和4年度ACP研修会「今宵、家族でお酒を飲みながらACP」 講師：JA尾道総合病院 緩和ケアセンター長 則行敏生先生 「意思決定支援とACP」 講師：JA尾道総合病院がん性疼痛看護認定看護師 大田原めぐみさん	5名
10月5日(水)	2022年度広島県東部認知症疾患医療センター研修会 「睡眠と認知症」 講師：みんなの睡眠・ストレスケアクリニック院長 山下英尚先生	1名
10月12日(水)	高齢者・障害者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修」 講師：有限会社トツツ 橋高裕行さん	9名
10月26日(水)	健康ひろしま21圏域推進研修会「フレイル予防まちづくりの 視点で取組む地域での口腔と食支援」 講師：香川県まんのう町国民健康保険造田歯科診療所所長 木村年秀先生	1名
11月22日(火)	福祉・介護職員の管理職向け人材育成研修会 「いつまでも安心して働ける職場を目指して」 講師：公益財団法人介護労働安定センター広島支部 介護人材育成コンサルタント 中村恵美さん	1名
12月14日(水)	令和4年度ケアマネジメント質の向上研修 「高齢者の運転における法的視点からの支援ポイント」 講師：尾道警察署交通課交通総務係警部補 上甲大作さん	8名
12月15日(木)	尾道市認知症にやさしいまちづくり講演会 「認知症とともに自分らしく暮らすために大切なこと」 講師：県立広島大学保健福祉学部作業療法学科教授 西田征治さん	2名
12月16日(金)	令和4年度広島県地域包括・在宅介護センター協議会リーダ ー研修「包括的・継続的ケアマネジメント業務における環境整 備について」 講師：広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長 小山峰志さん 広島県三和地域包括支援センターセンター長 黒木勇治さん	1名
12月16日(金)	自立支援型地域ケア会議「糖尿病があり、右足を引きずって歩 いているが、転倒しないように歩く運動方法を知りたい」 事例提供者：尾道市西部地域包括支援センター 赤瀬真由美	7名
12月22日(木)	令和4年度地域包括ケアシステム評価報告 「保険者機能強化推進交付金評価指標について」 報告：広島県地域共生社会推進課	1名

1月15日(日)	令和4年度広島県 ACP 普及推進員フォローアップ研修 講師：呉市大宇根内科呼吸器科クリニック 下光千夏先生	1名
1月16日(月)	「社会資源に結び付きにくい人への相談支援」 講師：岡山県精神保健福祉センター所長 野口正行さん 「尾道市のアウトリーチについて」 報告者：尾道のぞみ会ソーシャルワーカー 西川浩司さん	1名
1月19日(木)	「これから手帳」の説明会 講師：広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長 小山峰志さん	1名
1月19日(木)	障害福祉制度についての研修会 講師：尾道市障害者サポートセンターはなはな 神尾光美さん	8名
1月19日(木)	令和4年度広島県循環器病(脳卒中・心血管疾患)地域連携セミナー「ひろしま脳卒中地域連携パスによる地域連携」 講師：脳神経センター太田記念病院作業療法士 柳生英子さん	1名
1月23日(月)	孤独・孤立フォーラム 講師：内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与 村木厚子さん	4名
1月24日(火)	「移動支援セミナー」 講師：株式会社富士通総研行政グループ 竹内幹太郎さん	1名
1月30日(月)	令和4年度厚生労働省「地域づくり加速化事業」ブロック研修「中国5県地域づくり応援研修」 講師：倉敷市社会福祉協議会地域福祉課主幹 倉敷市第1層生活支援コーディネーター 松岡武司さん	1名
2月1日(水)	令和4年度認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援チーム員合同研修会 講師：社会福祉法人東北会認知症介護研究研修仙台センター 矢吹知之さん	2名
2月14日(火)	2024年制度改正とケアプランデータ連携システム 講師：株式会社シルバー産業編集課長 橋村寿人さん	1名
2月17日(金)	自立支援型地域ケア会議「転倒のリスクを軽減できるようにアドバイスが欲しい」 事例提供者：尾道市向島地域包括支援センター 栗本恵美さん 「少しでも歩いて外出したい」 事例提供者：尾道市南部地域包括支援センター 檜原奈美枝さん	4名
2月21日(火)	「PDCAサイクルに沿った取組の推進に資する研修会」 講師：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターグループ統括 倉岡正高さん	1名
2月24日(金)	認知症地域支援員推進員の機能強化に関する報告会 「地域の特徴を活かした推進員の配置と機能強化の工夫」 報告者：新潟県湯沢町認知症地域支援推進員 國松明美さん	1名
3月9日(木) 3月23日(木)	令和4年度広島県介護支援専門員実務研修 小規模研修 講師：尾道市福祉専門学校校長 邑岡志保さん	1名
3月26日(日)	令和4年度第22回ケアマネジメント広島大会 「新たな飛躍に向けてケアマネジメントの未来を考察する」 講師：長寿社会開発センター事務局長 遠藤征也さん	3名

15. 介護保険事業

令和4年度事業計画で定めた事業所目標にそって、全7事業所（本所4事業所・因島支所1事業所・瀬戸田支所2事業所）で、介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業を実施した。

(1) 居宅介護支援事業

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、質の高いケアマネジメントを行うことにより、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他の保健医療サービス等を適切に利用できるように、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行った。また、要介護認定調査、住宅改修等の委託事業を実施した。

① 居宅介護支援事業所

事業所の長期目標を「災害が生じても業務を持続可能にすることができるようになる」短期目標を「全員が事業所内の利用者の名前を把握し、副務者が一度は、同行訪問して把握する。自然災害時における業務継続計画の策定を行う。」と定め、ケアマネジャー4名で業務を行った。

特に、新型コロナウイルス感染症の影響拡大・長期化を踏まえ、発症した際にも事業が継続できるようテレワークを取り入れ、研修会等は感染症対策の整ったものやオンライン研修へ、広島県介護支援専門員実務研修実習生の受け入れは日程調整しながら行った。

ア 利用者の状況

居宅サービス計画作成依頼件数 172 件、要介護認定調査実施件数 39 件

介護保険

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
3	9	57	50	20	21	8	168

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	3	1	4

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 法人、事業所内研修・会議

月 日	内 容	参加者数
10月12日(水)	「高齢者・障害者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修」 講師：有限会社トツツ 橋高裕行さん	4名
11月1日(火)	「法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修」 事業所内伝達研修	4名
12月14日(水)	令和4年度尾道市西部圏域ケアマネジメントの質の向上研修	3名
2月13日(月)	令和4年度尾道市西部包括圏域事例検討会 講師：居宅介護支援事業所きらら 片岡智子さん	4名
2月22日(水)	令和4年度職員研修「パワーハラスメントについて」	1名

事業所内利用者把握と諸連絡については毎週1回開催した

(イ) 事業所外研修 (尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催)

月 日	内 容	参加者数
4月20日(水)	尾道市介護支援専門員連絡協議会総会・研修会 高齢者福祉課 幸齢社会おのみちをめざして 「自立支援型ケアマネジメント」「自立支援型地域ケア会議」	4名
5月17日(火)	第234回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「ZOOM操作研修 第2弾」 講師：邑岡志保さん	3名
6月20日(月)	第235回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「令和4年度防災研修(災害支援リーダー養成研修伝達講習)」 講師：要垣内智子さん 村上友宏さん 江馬明美さん 邑岡志保さん 菅近憲文	1名
6月22日(水)	第24回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「循環器疾患の診断と治療」 講師：JA尾道総合病院 森島信行先生	2名
7月26日(火)	第236回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「援助職のための対人関係改善」 講師：公立みつぎ総合病院臨床心理士 野津 愛さん	1名
9月14日(水) 10月28日(金)	第238回・第239回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 主任介護支援専門員研修 「スーパービジョン型の事例検討を实践形式で学ぶ」 講師：訪問看護花の森管理者 東美奈子さん	1名
3月15日(水)	第26回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「精神疾患(認知症を含む)と対応」 講師：きやすクリニック院長 木保正彦先生	1名

事業所外研修 (広島県、その他)

月 日	内 容	参加者数
5月20日(金)	「適切なケアマネジメント手法」実践研修報告会 講師：日本総合研究所 辻本まりえさん 齊木 大さん	1名
5月27日(金)	適切なケアマネジメント手法の理解 講師：広島県介護支援専門員協会常任理事 久保田竜二さん	1名
8月3日(水)	令和4年度広島県介護支援専門員更新・専門研修課程I ファシリテーター	1名
9月1日(木)	令和4年度広島県主任介護支援専門員更新研修(全46時間)	1名
9月12日(月)	高齢者虐待における法的視点からの支援ポイント 講師：広島みらい法律事務所尾道市支所弁護士 成廣貴子さん	1名
10月5日(水)	2022年度広島県東部認知症疾患医療センター研修会 「睡眠と認知症」 講師：みんなの睡眠・ストレスケアクリニック院長 山下英尚先生	1名
10月18日(火)	令和4年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」 講師：広島県介護支援専門員協会 渡部貴則さん 久保田秀樹さん 坂下宗生さん	1名

11月22日 (火)	福祉・介護職員の管理職向け人材育成研修会 「いつまでも安心して働ける職場を目指して」 講師：公益財団法人介護労働安定センター広島支部 介護人材育成コンサルタント 中村恵美さん	1名
11月24日 (木)	令和4年度居宅支援事業者・介護予防支援事業者集団指導	1名
1月16日 (月)	「社会資源に結び付きにくい人への相談支援」 講師：岡山県精神保健福祉センター所長 野口正行さん 「尾道市のアウトリーチについて」 報告者：尾道のぞみ会ソーシャルワーカー 西川浩司さん	1名
1月19日 (木)	障害福祉制度についての研修 講師：尾道市障害者サポートセンターはな・はな 神尾光美さん 梨和晴奈さん 宮地美由紀さん 尾道市社会福祉課保健師 佐藤千浪さん 尾道市西部地域包括支援センター 小林雅子	3名
1月27日 (金)	令和4年度尾三圏域地域包括ケア推進にかかる圏域内研修 講師：広島県健康福祉局健康づくり推進課主任保健師 塩田真麻さん	1名
8月27日 (土) 10月3日 (月) 11月18日 (金) 1月27日 (金)	「適切なケアマネジメント手法」実践研修 講師：広島県介護支援専門員協会理事 望月まり子さん他	1名
2月21日 (火)	令和4年度実務研修実習指導者養成研修 講師：広島県介護支援専門員指導者	4名
3月26日 (日)	令和4年度第22回ケアマネジメント広島大会 「適切なケアマネジメント手法の活用」 講師：長寿社会開発センター事務局長 遠藤征也さん シンポジスト：尾道市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 岡田しのぶ	2名

(ウ) その他・交流会・会議

月 日	内 容	参加者数
4月15日 (金)	令和4年度自立支援型地域ケア会議 (第6回) 傍聴	1名
10月21日 (金)	令和4年度自立支援型地域ケア会議 (第9回) 傍聴	1名
2月9日 (木)	第5区民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員の意見交換会	1名
2月17日 (金)	令和4年度自立支援型地域ケア会議 (第11回) 傍聴	1名

(エ) 実習生の受入れ

月 日	内 容	参加者数
5月17日 (火) 24日 (火) 31日 (火)	広島県介護支援専門員実務研修受講者	1名

② すずらん居宅介護支援事業所

事業所の目標を、「感染症対策・高齢者虐待防止の取り組みをしていく」「業務継続に向けた研修・訓練の計画を策定する」「自立支援に向けたケアマネジメントプロセスを基礎から学んで指導できるようになる」と定め、ケアマネジャー3名で業務を行った。

ア 利用者の状況

居宅サービス計画作成依頼件数 113件、要介護認定調査実施件数 74件

利用者 要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	1	5	47	38	12	8	2	113

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 法人・事業所内研修・会議

月 日	内 容	参加者数
10月12日(水)	高齢者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修」 講師：有限会社トッツ 橘高裕行さん	3名
11月16日(水)	「法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修」 事業所内伝達研修	3名

※事業所内でのケアマネ会議は週1回（月曜日）に実施

※生口島のケアマネ会議は2カ月に1回（第3火曜日）に実施（偶数月）

※因島のケアマネ会議は2カ月に1回（第1月曜日）に実施（奇数月）

(イ) 事業所外研修（尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催）

月 日	内 容	参加者数
4月20日(水)	尾道市介護支援専門員連絡協議会総会・研修会 高齢者福祉課 幸齢社会おのみちをめざして 「自立支援型ケアマネジメント」「自立支援型地域ケア会議」	2名
5月17日(火)	第234回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「ZOOM操作研修 第2弾」 講師：邑岡志保さん	2名
6月20日(月)	第235回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「令和4年度防災研修(災害支援リーダー養成研修伝達講習)」 講師：要垣内智子さん 村上友宏さん 江馬明美さん 邑岡志保さん 菅近憲文	3名
7月26日(火)	第236回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「援助職のための対人関係改善」 講師：公立みつぎ総合病院臨床心理士 野津 愛さん	2名
1月27日(金)	第241回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「尾道市ふれあい収集(資源物訪問戸別収集研修事業)」 講師：尾道市市民生活部清掃事務所長 作田 太さん 「尾道市社会福祉協議会の事業について」 講師：尾道市社会福祉協議会 地域福祉課 佐藤友亮 榎 麻美 くらしサポートセンター 高橋 望 藤本里沙	3名

事業所外研修（広島県、その他）

月 日	内 容	参加者数
9月12日（月）	「高齢者虐待における法的視点からの支援のポイント」 講師：広島みらい法律事務所尾道支所弁護士 成廣貴子さん	1名
9月～11月	令和4年度広島県主任介護支援専門員更新研修	1名
10月14日（金）	令和4年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」「法令遵守」「倫理」 講師：渡部貴則さん 久保田秀樹さん 坂下宗生さん	1名
11月24日（木）	令和4年度居宅支援事業者・介護予防支援事業者集団指導	1名
12月15日（木）	尾道市認知症にやさしいまちづくり講演会 「認知症とともに自分らしく暮らすために大切なこと」 講師：県立広島大学保健福祉学部作業療法学科教授 西田征治さん	2名
1月19日（木）	障害福祉制度についての研修 講師：尾道市障害者サポートセンターはな・はな 神尾光美さん 梨和晴奈さん 宮地美由紀さん 尾道市社会福祉課保健師 佐藤千浪さん 尾道市西部地域包括支援センター 小林雅子	2名
2月20日（月）	令和4年度実務研修実習指導者養成研修 講師：広島県介護支援専門員指導者	2名
2月22日（水）	介護事業者のための業務継続計画（BCP）作成セミナー 講師：一般社団法人中部産業連盟 前田和彦さん	1名

（ウ） その他、交流会・会議

月 日	内 容	参加者数
4月15日（金）	令和4年度自立支援型地域ケア会議（第6回）傍聴	1名
6月17日（金）	令和4年度自立支援型地域ケア会議（第7回）傍聴	1名
8月19日（金）	令和4年度自立支援型地域ケア会議（第8回）傍聴	1名
10月21日（金）	令和4年度自立支援型地域ケア会議（第9回）傍聴	1名
12月16日（金）	令和4年度自立支援型地域ケア会議（第10回）傍聴	1名
2月17日（金）	令和4年度自立支援型地域ケア会議（第11回）傍聴	1名
2月21日（火）	生口島ケアマネ会議（事例検討会）	2名

（エ） 実習生の受入れ

月 日	内 容	参加者数
5月17日（火） 5月24日（火） 5月31日（火）	広島県介護支援専門員実務研修受講者	1名

(2) 訪問介護事業

引き続き、新型コロナウイルスの感染予防の対策を続けながら、緊張感の強いられた1年間であったが、職員個々の個性を生かしつつ、要介護者や要支援者等に対し、介護福祉士等の資格を有する訪問介護員が居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施した。

① 訪問介護事業所

事業所の目標を、「コロナに負けるな！！一人ひとりの思いやり、手に手を取って明るい未来」「チームワークに取り組み、より良い支援につなげましょう」と定め、5名の常勤ヘルパーと12名の嘱託ヘルパー、25名の登録ヘルパーが在宅での身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 165名、総合事業 132名、合計 297名

ブロック	1	2	3	4	5	6	市外	合計
介護	3	16	40	32	46	28	0	165
総合事業	0	9	23	36	44	20	0	132
合計	3	25	63	68	90	48	0	297

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
56	61	26	14	8	165

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
2	46	84	132

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月13日(水)	事業所目標・個人目標 酒気帯び確認業務マニュアル 法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護 ヤングケアラーの現状と課題について ～私たちはいま何をすべきなのか～	40名
5月11日(水)	災害時の安否確認登録方法について 認知機能低下を支援する方法 ～早期より心と認知機能低下を支援する～ みんなが誰かのゲートキーパー ～ご存じですか??「ゲートキーパー」～ ストレスとの上手な付き合い方 ～介護職が身につけたい「レジリエンス」	38名

6月8日(水)	食中毒を防ぐ3つの原則・6つのポイント 発達障害のある人のライフステージの支援を考える。 ～幼児・学齢期編～ 尾道市ひきこもり支援ステーション「みらサポ」について	39名
7月13日(水)	全国安全週間・夏の交通安全運動・プラス10分てくてく運動 災害が起こったら、避難の方法 災害時の避難について ～新型コロナウイルス感染症に備えて～ 大阪発! 87歳現役ヘルパー「川の流れるままに、素直に生きているだけですわ ～ヘルパー千福幸子さんの人生～」	34名
9月14日(水)	介護職員等ベースアップ(処遇改善)について 移動時間の入力について ヒヤリ・ハット事故報告 全国老人週間 9月15～21日 ～みんなで築こう安心と活力ある健康長寿社会～ 全国交通安全運動 9月21～30日 ～手を上げる 子どもはあなたを信じてる～ ～スマホじゃない! 見るのは前でしょ 周りですょ～	34名
10月12日(水)	高齢者・障害者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む! 不適切ケア研修」 講師: 有限会社トツツ 橘高裕行さん	35名
11月9日(水)	新型コロナウイルスの行動制限に伴う今後の対応について 安全運転の心構えと心得10か条 秋の全国火災予防運動「お出かけは マスク戸締り 火の用心」 インフルエンザかからないうつつさない大作戦! 広島県高齢者・障害者施設等の従事者に係る抗原検査の実施について	35名
2月8日(水)	初心とプロ意識を忘れない「接遇」の心得 高齢者の安全と安心な暮らしを目指して 高齢者の安全確保に関する防犯指針 ～安全確保に向けた自主的な取り組み～ ご家庭でも省エネに取り組みましょう 令和5年度個人目標	36名
3月8日(水)	今後の新型コロナウイルス感染拡大防止のための対処方針について 統合失調症について～より詳しく知って関わる～	35名

サービス提供責任者会議は毎月1回開催した

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
6月22日(水)	第24回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「循環器疾患の診断と治療」 講師: JA尾道総合病院 森島信行先生	4名
9月12日(月)	高齢者虐待対応研修会 「高齢者虐待における法的視点からの支援のポイント」 講師: 広島みらい法律事務所尾道支所弁護士 成廣貴子さん	3名
9月22日(木)	ひろしま社会活動推進会議 顔の見える場	1名
10月12日(水)	第25回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 福祉用具研修会「最新機器から是非知ってほしい便利な福祉用具」 講師: 日本福祉用具協会広島ブロック事務局 角南琢磨さん	2名

10月20日（木）	令和4年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」 講師：広島県介護支援専門員協会 渡部貴則さん 久保田秀樹さん 坂下宗生さん	1名
11月22日（火）	福祉・介護職員の管理職向け人材育成研修会 「いつまでも安心して働ける職場を目指して」 講師：公益財団法人介護労働安定センター広島支部 介護人材育成コンサルタント 中村恵美さん	1名
12月15日（木）	尾道市認知症にやさしいまちづくり講演会 「認知症とともに自分らしく暮らすために大切なこと」 講師：県立広島大学保健福祉学部作業療法学科教授 西田征治さん	2名
12月23日（金）	令和4年度職員研修「交通安全研修」	1名
1月16日（月）	令和4年度精神保健福祉研修会 「社会資源に結びつきにくい人への相談支援」 講師：岡山県精神保健福祉センター所長 野口正行さん	1名
2月21日（火）	令和4年度職員研修「パワーハラスメントについて」	1名
3月15日（水）	第26回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「精神疾患（認知症を含む）と対応」 講師：きやすクリニック院長 木保正彦先生	5名

(ウ) 定例会議への出席

尾道市地域自立支援協議会「生活支援部会」 主催：尾道市社会福祉課障害福祉係	1名
尾道市地域包括ケア連絡協議会「医療・介護連携推進部会」 主催：尾道市地域包括ケア連絡協議会	1名
おのみちこころネットワーク会議 主催：おのみちこころネットワーク協議会	1名

② すずらん訪問介護事業所

事業所の目標を、「援助内容を把握し利用者のことを考えて援助する」「健康に過ごす（利用者・自分・家族）」「安全に事故のないよう行動する」「利用者のペースに合わせた介護を行う」と定め、2名の常勤ヘルパーと6名の登録ヘルパーが在宅の身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 34名、総合事業 23名、合計 57名

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
15	12	5	2	0	34

総合事業

事業対象	要支援1	要支援2	合計
0	3	20	23

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月20日(水)	令和4年度事業所目標について・個人情報保護について・BCPの確認と対応について・アルコールチェック実施	8名
5月18日(水)	ヒヤリ・ハット事例検討・熱中症及び食中毒対策について 援助内容に関する要望について・利用者の状態について	8名
6月15日(水)	熱中症・食中毒について・利用者の状態について	7名
7月20日(水)	認知症(物盗られ・幻視・幻聴)の対応について・困難事例 検討(訪問時に虐待と感じたこと、言葉遣い、援助内容にな いことへの断り方など)	8名
8月24日(水)	緊急時の対応について(マニュアルで確認)・熱中症につい て(室温調整と水分補給、食事摂取状況の確認)	6名
9月21日(水)	高齢者虐待研修・BCPについて・台風訪問時の対応とタブレ ット入力確認・障害サービス実地指導と入力について	7名
10月19日(水)	高齢者虐待研修・BCPについて・コロナ感染症の対応と感染 状況の確認について・抗原検査キット配布・買い物の現金確 認と記入について	5名
11月16日(水)	個人情報・プライバシー保護・倫理・法令遵守について コロナ感染症の濃厚接触者となった際の訪問について	7名
1月18日(水)	「虐待の芽を摘む!不適切ケア研修」伝達研修・利用者の状 態について、掃除援助後の物の場所について	7名
2月13日(月)	感染症対策の基礎知識について・サービス提供記録記入時 のポイント・タブレット記入について	6名
3月15日(水)	1年間の振り返り・令和5年度の目標・新型コロナウイルス 感染症の対処方針について・収支報告と新規訪問について	6名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
7月21日(木)	自立支援 防災研修会 (zoom) 災害に備えよう 災害の基礎知識と事業所の防災	1名
10月12日(水)	高齢者・障害者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む!不適切ケア研修」 講師: 有限会社トツツ 橋高裕行さん	1名
3月7日(火)	介護BCP作成セミナー	1名
3月18日(土)	令和4年度介護サービス事業者集団指導研修	1名

(3) 訪問入浴介護事業

自宅で入浴が困難な要介護者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、特殊浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを行なった。

① 訪問入浴介護事業所

事業所の目標を、「確認しながら、利用者の安全に留意した移乗動作を確実にやり、協力してサービス提供を行う。」と定め、1名の常勤職員と、4名の嘱託職員、6名の臨時職員

が、在宅での訪問入浴介護にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 14名 利用実績 542回

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	51	60	52	43	50	43	42	44	35	36	40	46	542

利用者 要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	0	0	0	1	2	7	4	14

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月日	内 容	参加者数
5月20日(金)	夏季入浴の注意事項検討会議	3名
10月12日(水)	事故発生等緊急時対応に関する研修	4名
10月18日(火)	接遇研修	4名
10月24日(月)	認知症高齢者の対応についての研修	4名
10月27日(木)	感染症研修	4名
11月3日(木)	冬季入浴の注意事項検討会議	4名
11月7日(月)	令和4年度満足度アンケート調査結果についての検討会議	4名
2月8日(水)	令和5年度事業所目標について	4名
2月10日(金)	個人情報・プライバシー保護、倫理、法令遵守伝達研修	4名
3月29日(水)	ヒヤリ・ハット事例検討会議	4名

※ ケース検討会議については計画に沿って毎月1～2回開催した。

(イ) 事業所外研修

月日	内 容	参加者数
9月16日(金)	広島県認知症介護基礎研修 (eラーニング)	1名
10月14日(金)	広島県認知症介護基礎研修 (eラーニング)	1名
11月4日(金)	高齢者・障害者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修」 講師：有限会社トツツ 橘高裕行さん	6名

(4) 通所介護事業

デルタ株流行時は、利用者・職員の感染にもつながらず事業を継続することができたが、令和4年度のオミクロン株流行時には、感染拡大の影響を受け、事業の休止や制限せざるを得ない状況となった。そのような中で、早期に感染拡大を終息することができるよう、全職員が一丸となり感染対策に尽力し、通所介護計画に沿って、「趣味」「レクリエーション」「機能訓練」「入浴」「食事」その他必要な介護等などを通して、「楽しみ」の中で、日常的な機能を維持・向上できるよう実施した。

① ふれ愛デイサービスセンター

事業所の目標を、「笑顔を絶やさず、ご利用者様、職員共にデイサービスを和やかな雰囲気にする。心に余裕を持ち周りを見て行動できるようになる。」と定め、3名の常勤職員と3名の嘱託職員、15名の臨時職員で事業を展開した。

また、これまでの比較的大人数で行うレクリエーションから、小集団かつ個別の利用者が個別のニーズに沿ったものを提供できる機能訓練体制を整えて、加算の取得に努めた。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 59名、総合事業 9名、合計 68名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者延数	468	461	463	450	431	435		
開設日数	26	26	26	26	27	26		
平均利用者数	18.0	17.7	17.8	17.3	15.9	16.7		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者延数	403	389	330	327	339	381	4,877	
開設日数	26	26	22	24	24	27	306	
平均利用者数	15.5	14.9	15.0	13.6	14.1	14.1	15.9	

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
18	16	9	9	7	59

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	1	8	9

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月8日(金)	サービス向上担当委員・年間計画・業務改善会議	6名
7月20日(水)	レクリエーション夏祭り	5名
8月25日(木)	敬老会開催について	4名
10月1日(土)	ヒヤリ・ハットについて	4名
10月6日(木)	敬老会反省・避難訓練について	5名
10月7日(金)	倫理及び法令順守	4名
10月19日(水)	プライバシー保護の重要性・接遇	5名
10月25日(火) 10月26日(水)	避難訓練	20名
10月28日(金)	感染対策・職員の健康管理	5名
11月～12月	認知症介護実践者研修 自施設実習	1名

12月6日(火) 12月7日(水)	高齢者・障害者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修」 講師：有限会社トツツ 橋高裕行さん	20名
1月16日(月)	2月の行事(ふれ愛カフェ)について	5名
2月10日(金)	満足度調査について	5名
3月17日(金) 3月18日(土)	南海トラフ地震を想定した垂直避難訓練	19名
3月22日(水)	花見・花見ドライブ・満足度調査について	5名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
8月10日(水)	第1回尾道ブロックデイサービス部会研修	1名
9月12日(月)	高齢者虐待対応研修会 「高齢者虐待における法的視点からの支援ポイント」 講師：広島みらい法律事務所尾道支所 成廣貴子さん	1名
10月13日(木)	適切な業務を行うためのハラスメント対策 介護現場におけるハラスメントオンラインセミナー 講師：株式会社ねこの手 代表取締役 伊藤亜記さん	1名
10月13日(木) 10月14日(金)	認知症介護実践者研修①	1名
10月24日(月)	ひろしま社協活動推進会議 顔の見える場	2名
10月28日(金)	令和4年度尾道ブロック職員研修会	1名
11月1日(火) 11月2日(水)	認知症介護実践者研修②	1名
11月9日(水)	第2回尾道ブロックデイサービス部会研修	1名
11月22日(火)	福祉・介護職員の管理者向け人材育成研修 講師：ケアラーサポート尾道合同会社 中村恵美さん	1名
12月16日(金)	認知症介護実践者研修③実習報告会	1名
2月15日(水)	LIFE フィードバック 事例で学ぶデータの見方と活用方法 講師：日本経営グループ介護副事業部次長 本島傑さん	2名

ウ 行事等

季節にそった行事やレクレーションを行い、五感を使い四季を感じることができた。

午前中は、それぞれ得意な手芸や、共同作品作りを行った。

○ 年間行事

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 4月 花見ドライブ・花見会 | 6月 買い物ツアー(中止) |
| 7月 尾道大学吹奏楽コンサート(中止) | 8月 夏祭り |
| 9月 敬老会 | 10月 ミニ運動会・避難訓練 |
| 12月 鍋パーティー(中止)・クリスマス会 | |
| 2月 ふれ愛カフェ・節分会 | 3月 ひな祭り会・防災訓練 |
- ※誕生日会(利用者に合わせて)

○ レクリエーション

連想ゲーム ボール送り ボール入れ おじゃみなげ 輪投げ ボーリング
 風船つり ゲートボール 新聞ふみふみゲーム ピンポンゲーム
 カップインワン テーブルカーリング もぐらたたき 傘入れゲーム
 バスケット プレゼント集めゲーム カップ麺ホッケー ポンポンゲーム
 キングズカップ 新おじゃみいれ 競馬ゲーム スナイパーゲーム
 ポン投げ（新作） テーブルピンポンゲーム（新作） 床ホッケー（新作）
 ナイスキャッチ（新作） ボール分けゲーム（新作） ふな焼き作り
 たこ焼き作り どら焼き作り ピザ焼き作り

※カラオケ、密になるレクリエーションはコロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

○ ボランティアのみなさん

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

② 因島デイサービスセンター

事業所の目標を『明るい笑顔と言葉かけ 安心して過ごせるデイに』と定め、3名の常勤職員と7名の嘱託職員、20名の臨時職員で事業を展開した。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 89名、総合事業 12名、合計 101名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者延数	522	533	506	526	469	509		
開設日数	26	26	26	26	25	25		
平均利用者数	20.0	20.5	19.4	20.2	18.7	20.3		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者延数	544	463	516	453	458	493	5,992	
開設日数	26	23	26	24	24	26	303	
平均利用者数	20.9	20.1	19.8	18.8	19.0	18.9	19.7	

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
32	24	27	6	0	89

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	4	8	12

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
6月15日(水)	防災避難訓練	15名
6月22日(水)	感染症・食中毒について	26名
11月28日(月)	防災避難訓練	12名
3月10日(金)	マニュアルの見直し、事業所短期目標について その他	12名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
9月30日(金)	交通安全管理者講習会	1名
11月18日(金)	BCP 研修	2名
10月～11月	高齢者・障害者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修」 講師：有限会社トッツ 橋高裕行さん	14名

ウ 行事等

○ 年間行事

4月 お抹茶会 6月 七夕短冊づくり 8月 夏祭り週間
9月 敬老表彰 12月 クリスマス会 1月 甘酒週間
毎月 コーヒー週間

※誕生日会（利用者に合わせて）

○ レクリエーション

手遊び歌 サイコロしりとり 血液サラサラ体操 ラジオ体操
言葉遊び ジャンケンゲーム ボール遊び 輪投げ
カラオケ 唱歌など他 音楽レクリエーション
椅子に座ってできる身体や頭を働かせるレクリエーション

○ ボランティアのみなさん

ハーモニカ演奏（1回） オカリナ演奏(年2回)
健康体操（年1回）
踊りグループ（クリスマス行事に合わせて）
トーンチャイム演奏（クリスマス行事に合わせて）
新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い状況に応じて対応した。

16. 障害福祉サービス事業

障害のある人も普通に暮らし、地域の一員としてともに生きる社会作りを目指して、障害福祉サービスによる居宅介護等の「介護給付」と、移動支援等の「地域生活支援事業」を行い、障害者の自立を支えた。

(1) 障害者訪問介護事業

在宅の障害者宅をホームヘルパーが訪問し、家事・介護・移動介護の援助を行い、自立支援を図った。

① 訪問介護事業所

利用者数 48名 延利用回数 6,418回

② すずらん訪問介護事業所

利用者数 7名 延利用回数 280回

(2) 障害者訪問入浴介護事業

在宅の障害者宅を入浴車で訪問し、ベッド横に浴槽を運んで入浴していただくことで清潔を保ち、快適な在宅生活が送れるようにサービス提供を行った。

○尾道市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所

利用者数 2名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	22	17	21	22	23	18	22	21	21	20	20	21	248

(3) 障害者通所介護事業

在宅の障害者がデイサービスを利用することにより外出の機会をつくり、社会的孤立感の解消と家族の身体的・精神的な介護負担の軽減を図った。

○尾道市社会福祉協議会ふれ愛デイサービスセンター

利用者数 6名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	32	31	31	33	30	19	21	20	18	18	19	21	293